

目 次

目 次	...	...	...	1
1. 1998年度の主な活動	...	...	...	3
2. 1999年度の主な活動	...	...	...	5
*入館者一覧	...	...	...	6
3. 資料の収集・利用	...	...	...	7
3-1 資料の収集				
(1) 受 贈				
(2) 購 入	...	...	...	8
(3) 保管換え				
(4) 寄 託				
3-2 資料の利用				
(1) 貸 与				
(2) その他	...	...	...	10
4. 展示活動	...	...	...	11
4-1 常設展示				
(1) 歴史展示				
(2) 美術・工芸展示	...	...	...	12
(3) 別館展示	...	...	...	20
4-2 特別展示	...	...	...	22
(1) 自主企画展				
(2) 共催展等	...	...	...	26
*特別展の開催状況一覧	...	...	...	30
(3) 特別陳列	...	...	...	31
(4) 京都府民ギャラリー事業への協力	...	...	...	32
4-3 映画・ハイビジョン				
(1) 映画常設上映				
(2) 映画特別上映・共催事業	...	...	...	34
(3) ハイビジョン上映	...	...	...	35
(4) 映像ギャラリー常設展示				
(5) 京都府映像文化センター運営委員	...	...	...	36
5. 調査研究活動	...	...	...	37
5-1 調 査				
(1) 埋蔵文化財の発掘と整理				
5-2 学芸員の活動				
(1) 博物館研究費による研究				
(2) 外部研究費・共同研究等による研究				
(3) 出講・委嘱	...	...	...	38
(4) 学芸員の業績				
(5) 研修等	...	...	...	42

6. 普及活動	...	...	...	43
6-1 出版物				
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』				
(2) 京都文化博物館調査研究報告				
(3) 展覧会図録				
(4) その他	...	...	...	44
6-2 講演会・音楽会				
(1) 講演会など				
(2) 音楽会	...	...	...	45
6-3 博物館実習	...	...	...	47
6-4 その他の活動				
(1) 資料閲覧室				
(2) 文化情報コーナー				
(3) 生涯学習ボランティア	...	...	...	48
(4) 京都文化博物館友の会				
7. 国際交流	...	...	...	49
7-1 陝西歴史博物館友好交流事業				
7-2 その他の交流事業				
8. ギャラリー事業	...	...	...	50
8-1 5・6階展示室				
(1) 京都文化財団展示室運営委員会				
(2) 美術・工芸作家の利用				
(3) 生涯学習的発表の利用	...	...	...	52
(4) 一般の利用	...	...	...	53
8-2 別館ホール				
9. 管理・運営	...	...	...	55
9-1 組織と職員				
(1) 組 織				
(2) 京都文化財団役員				
(3) 京都文化博物館職員				
(4) 職員表彰等	...	...	...	57
9-2 施 設				
(1) 本館関係				
(2) 別館関係				
(3) 主な改修・増設工事	...	...	...	58
9-3 ろうじ店舗				
10. 1998年度のあゆみ	...	...	...	59
11. 1999年度のあゆみ	...	...	...	60

1. 1998年度の主な活動

この年10月1日、開館10周年を迎えた。前年から館内に設けられた「開館10周年事業検討委員会」で積極的に多彩な企画が提案され、検討を重ねたが、予算的な問題もあって、最終的には「10周年記念誌の編纂」と「10周年記念特別展の開催」を主要な事業として推進することとなった。記念特別展は、「京の江戸時代一町人の社会と文化」と、「京の絵師は百花繚乱―『平安人物志』にみる江戸時代の京都画壇―」の本年度の2本の自主企画展と、次年度の「冷泉家の至宝展」を当てることとした。

この年の入場者数は、常設展示が58,899人、特別展示が161,095人と、前年度を下回ったが、5・6階の貸室が103,441人と好調であったため、総合計では323,435人を数えた。埋蔵文化財については、平安京右京二条二坊十六町（西円町遺跡）の発掘調査を実施した（12月14日～1999年2月10日）。

◇別館三条通側入口の閉鎖（4月1日）

高倉通に面した本館側と三条通に面した別館側の2カ所に入口があることによる動線の複雑さの解消、身体障害者の出入りに不適切な構造、運営改善の一環としてのコンパニオン配置の見直し等の理由により、1990年6月以来開けていた別館の入口を閉鎖した。

◇ロータリー財団研究グループ交換1997年度研修参加（5月12日～6月22日）

鈴木忠司学芸第二課主任学芸員は、ロータリー財団研修グループ交換（GSE）の1997年度研修に参加した。本研修では、フィンランドにおいて50ヶ所以上の博物館や展示施設を訪れて同国の博物館事情を調査し、多くの成果を得た。また、合間をみて、自身の専門分野である旧石器文化の遺跡の調査も行った。

◇京都文化博物館ホームページの開設（5月17日）

当館の概要、常設展示の内容、特別展の案内、5階・6階の貸展示室の空き室状況などの情報を提示し、より多くの人たちに京都文化博物館を知ってもらい、利用してもらうために、インターネット上に当館のホームページを開設した。ただ、情報の更新等に課題を残したままのスタートとなった。ホームページのアドレスは、<<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/bunpaku/>>である。

◇7月の休館日を第2水曜日に変更（7月8日）

当館では、開館以来、毎月第3水曜日を休館日としてきたが、7月は祇園祭の宵山や巡行日と重なることが多く、これまでも観光客等からこの日を開館するよう希望が寄せられていた。このため本年度から、7月だけは第2水曜日を休館日とすることにした。

◇開館10周年記念感謝状の贈呈（10月1日）

開館以来10年の間、当館の歴史常設展示に多大なご協力を頂いた能楽金剛流26世宗家・金剛永謹氏、狂言大蔵流茂山家13世当主・茂山千五郎氏及び文友会（会長 芳村誠二氏）、ならびに運営面で支えて頂いた吉忠株式会社（代表取締役社長 吉田忠嗣氏）と京都文化博物館ボランティアグループMOKの会（会長 榎堀勝氏）に対して、開館10周年を記念して岡本館長から感謝状を贈呈した。贈呈式は、10周年記念特別展「京の絵師は百花繚乱」のレセプションに先立って、別館ホールで行われた。

◇開館10周年記念特別展「京の絵師は百花繚乱」を開催（10月2日～11月10日）

10月1日で開館10周年を迎えるのを記念して、自主企画展「京の絵師は百花繚乱」を開催した。この

展覧会は江戸時代の京都で刊行された『平安人物志』という文化人名録を手がかりに、そこに登場する画家の作品を可能な限り一堂に集め、まさに百花繚乱と呼ぶにふさわしい近世京都画壇の全貌に迫ろうと企画された。展覧会の内容や構成、広報等については、学識経験者と本展を共催する京都府・京都新聞社・NHK 京都放送局から構成される実行委員会（委員長一佐々木丞平京都大学教授）を組織し、1997（平成9）年3月から3回にわたって検討と協議を重ねて進められた。特に、具体的な内容や作品の選定などについては、近隣の博物館・美術館の学芸員および大学の若手教員など10名の学識委員に負うところが大きく、その成果は350頁からなる展覧会図録となった。展覧会は33,156人の入場者があった。今後はこの展覧会で集積されたデータをより充実させ、当館が近世京都画壇研究の中心的存在のひとつとしてその役割を果たして行くことが課題となる。

◇ろうじ店舗博和会の10周年記念協賛イベント「ろうじの古本市」開催（10月2日～4日）

ろうじ店舗博和会では、当館の開館10周年に協賛して、ろうじ店舗の二筋の通りで京都古書組合加盟の6店の参加を得て、「ろうじの古本市」を開催した。10周年記念特別展「京の絵師は百花繚乱」に合わせて、古今の京都画壇に関するものを中心に美術関係の古書が並べられ、約4,200人の来客で賑わった。

◇「追悼 黒澤明監督特集」映画の上映（10月23日・24日／1999年1月8日～3月8日）

わが国を代表する映画監督の黒澤明氏が1998年9月6日に逝去された。当館では黒澤氏を追悼して、2度にわたる追悼特集を企画し、「羅生門」や「用心棒」など、氏の代表作20数本の作品を上映した。鑑賞者は延べ6,000人を超えた。

◇友好交流事業による陝西歴史博物館研修員の招聘（11月5日～18日）

京都文化博物館と陝西歴史博物館との間の友好提携は、相互の館員が隔年ごとに訪問し合う形で交流を行ってきている。第4回目となる今回の交流では、陝西歴史博物館から2名の研修員を秋の京都に招聘した。京都及び近隣府県の博物館・美術館や史跡、埋蔵文化財の発掘現場、建造物文化財修理現場などを視察するとともに、当館の職員との意見交換も行って、相互の友好交流を深めた。

◇『京都文化博物館10年のあゆみ』刊行（1999年3月31日）

1997年10月に、開館10周年記念事業の一つとして「10周年記念誌の編纂」を実施することを決定し、館内に各課の代表からなる編纂委員会を設けて、「記念誌」の内容や体裁の検討を行ってきた。その結果、「記念誌」は、「館の沿革」と、これまで刊行できずにきた「年報」の集成を兼ねた「館の活動の記録」とを柱として構成することとなった。10年間の資料を探し出し、整理し、これを取りまとめるという作業は、思った以上に困難なものではあったが、自主企画展のポスターの写真や10年間のあゆみをたどる写真を巻頭に添えて、何とか形も整い、館員全員の協力で刊行に漕ぎ着けることができた。誌名は『京都文化博物館10年のあゆみ』とした。

2. 1999年度の主な活動

この年度の冒頭に、「京の雅・和歌のこころ 冷泉家の至宝展」を、当館の開館10周年記念特別展と位置づけ、学芸第二課の自主企画展扱いとして開催した（4月3日～5月16日）。学芸第一課の自主企画展は、「京都洋画のあけぼの」であった（9月25日～10月24日）。11月12日には、天皇陛下の在位10年を記念して、常設展示を無料公開した。また、近年、館内において教育・普及活動の充実の必要性を求める声が挙がってきていたのを受けて、3月に「教育・普及プロジェクト」を発足させ、具体的な活動の検討に入った。永く京都府の文化財保護に寄与してきた（財）京都府文化財保護基金が、本年度から（財）京都府文化財団に統合されることとなり、文化財保護基金室は4月から京都文化博物館内で活動を開始した。

「冷泉家の至宝展」の開催に始まった本年度の特別展は、「ポルトガルー栄光の500年展」「美の精華 上村松園展」「茶の湯ーにほんの心」展、「悠久の大インカ展」など、好評を博した展覧会が続いて、総入場者数は420,089人を数え、開館以来の最高を記録した。前年度落ち込んだ常設展示の入場者も回復傾向を示し、5・6階の貸し展示室も比較的好調で、総入館者数の582,956人も過去最高となった。

なお、本年度は埋蔵文化財の調査は実施しなかった。

◇「追悼 木下恵介監督特集」（4月2日～5月31日）ならびに「追悼 撮影監督宮川一夫特集」

（11月12日～12月25日）の開催

昨年黒澤明監督に続いて、本年度、日本映画界は木下恵介氏と宮川一夫氏を失った。春の木下恵介監督の特集では、「カルメン故郷に帰る」や「二十四の瞳」「喜びも悲しみも幾歳月」など約20作品を上映し、5,000人近い鑑賞者があった。また、秋の宮川一夫氏の特集では「無法松の一生」「山椒大夫」「用心棒」など13作品を上映し、約2,800人の鑑賞者があった。なお、宮川氏には、1988年12月以来、「京都府映像文化センター運営委員会」の委員として、当館の映像活動にご尽力頂いてきた。

◇全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック主担者会議の開催（7月8日）

埋蔵文化財の調査・研究を業務の一つとする当館では、1988年以来、「京都文化財団・京都文化博物館」として、その全国組織である全国埋蔵文化財法人連絡協議会に加盟してきた。同協議会の近畿ブロックでは、毎年度夏と冬の2回、技術者の集まりである「主担者会議」を各法人が持ち回りで実施しており、本年度の夏の会議の開催を当館で引き受けた。加盟14法人のすべてから23名が出席し、各法人の現況報告ののち、近畿ブロック埋蔵文化財研修会、情報誌、海外研修などについて協議された。

◇6階和室展示室のピクチャーレール設置工事（7月21日～27日）

従来、主に京物と称される京都の伝統産業製品の展示会や、染織・華道などの展覧会の会場にほぼ限定して利用されてきた6階和室展示室を、書道・絵画・写真などの展覧会をはじめとして、より多くの分野の会場として供することができるように、ピクチャーレールの設置工事を行った。これにより和風を生かした展覧会、また生涯学習的な発表会の会場としての利用が増えることが期待される。

◇フィルム収蔵庫設置工事（2000年1月7日～3月24日）

映像資料の管理環境の向上を図るため、地下の資料室内に専用のフィルム収蔵庫を設置することとなり、その工事を行った。収蔵庫内は、常時、温度5度、湿度40％というフィルムの最適保管環境に保つことが

できる構造で、フィルム3,000巻（約1,000作品）の収容が可能となった。

◇教育・普及プロジェクトの発足と第1回会議（2000年3月23日）

当館では、開館以来、教育・普及活動について特に担当者も置かず、必ずしも積極的に取り組んでこなかった。しかし、最近になってようやく館員の中からその必要性を主張する声が出はじめ、課長会議で検討した結果、昨今の状況から専任の担当者を配することはできないが、館内にプロジェクトチームを設けて、活動していくことが決定された。これを受けて各課から1名が選任され、まとめ役として課長会議のメンバー1名が加わって、チームが発足し、2000年3月23日に第1回の会議を開いた。プロジェクトチーム発足までの経過等の確認と、今後の活動の進め方や課題について協議されたが、予備会議的な内容にとどまり、具体的な活動計画の立案とその実行は新年度に持ち越された。

1998年度の入館者一覧

（単位：人）

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1998.4	3,561	1,153	4,714	6,617	7,502	14,119	10,178	8,655	18,833	2,423	6,911	0	9,334	28,167
5	4,281	938	5,219	7,641	9,533	17,174	11,922	10,471	22,393	6,059	3,502	0	9,561	31,954
6	2,855	1,098	3,953	5,479	5,383	10,862	8,334	6,481	14,815	5,658	2,583	0	8,241	23,056
7	3,528	1,789	5,317	4,303	2,852	7,155	7,831	4,641	12,472	2,506	3,579	50	6,135	18,607
8	4,443	1,085	5,528	7,084	4,615	11,699	11,527	5,700	17,227	5,331	1,431	350	7,112	24,339
9	3,632	1,078	4,710	9,409	9,992	19,401	13,041	11,070	24,111	3,336	5,076	1,132	9,544	33,655
10	4,124	1,061	5,185	10,080	9,726	19,806	14,204	10,787	24,991	4,749	7,157	750	12,656	37,647
11	5,067	1,079	6,146	9,396	9,313	18,709	14,463	10,392	24,855	5,512	7,095	550	13,157	38,012
12	2,576	1,071	3,647	4,302	5,423	9,725	6,878	6,494	13,372	698	4,877	2,930	8,505	21,877
1999.1	3,149	1,211	4,360	1,687	2,800	4,487	4,836	4,011	8,847	2,707	200	0	2,907	11,754
2	3,447	1,482	4,929	4,232	2,660	6,892	7,679	4,142	11,821	3,450	2,420	150	6,020	17,841
3	3,929	1,262	5,191	10,622	10,444	21,066	14,551	11,706	26,257	4,203	5,555	511	10,269	36,526
年度計	44,592	14,307	58,899	80,852	80,243	161,095	125,444	94,550	219,994	46,632	50,386	6,423	103,441	323,435
1日平均	129	41	170	234	232	466	363	273	636					

1999年度の入館者一覧

（単位：人）

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
1999.4	2,997	1,217	4,214	48,520	13,141	61,661	51,517	14,358	65,875	5,193	6,260	150	11,603	77,478
5	5,585	1,549	7,134	50,383	20,074	70,457	55,968	21,623	77,591	5,886	7,183	200	13,269	90,860
6	3,134	1,220	4,354	80,788	14,099	94,887	83,922	15,319	99,241	1,894	3,797	0	5,691	104,932
7	4,229	1,590	5,819	1,876	3,388	5,264	6,105	4,978	11,083	5,701	120	215	6,036	17,119
8	4,451	1,417	5,868	18,738	6,683	25,421	23,189	8,100	31,289	4,534	1,711	479	6,724	38,013
9	3,561	2,010	5,571	23,170	8,956	32,126	26,731	10,966	37,697	3,214	1,244	1,408	5,866	43,563
10	5,367	2,291	7,658	2,658	3,605	6,263	8,025	5,896	13,921	5,499	4,698	1,370	11,567	25,488
11	4,388	1,628	6,016	21,975	13,563	35,538	26,363	15,191	41,554	5,706	7,766	1,934	15,406	56,960
12	2,607	1,003	3,610	6,113	7,037	13,150	8,720	8,040	16,760	978	3,554	920	5,452	22,212
2000.1	2,426	1,207	3,633	5,403	2,983	8,386	7,829	4,190	12,019	2,393	200	0	2,593	14,612
2	2,341	1,438	3,779	42,656	13,090	55,746	44,997	14,528	59,525	3,898	1,925	1,587	7,410	66,935
3	3,745	1,306	5,051	4,662	6,528	11,190	8,407	7,834	16,241	2,885	5,378	280	8,543	24,784
年度計	44,831	17,876	62,707	306,942	113,147	420,089	351,773	131,023	482,796	47,781	43,836	8,543	100,160	582,956
1日平均	129	52	181	1,158	427	1,585	1,014	378	1,391					

3. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的に

は同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、1998年度末での管理資料は42,151件、寄託資料が358件、一時保管資料が510件であり、1999年度末では、管理資料は42,431件で、寄託資料が358件、一時保管資料が491件であった。

映画資料は京都府の管理資料となっている。

3-1 資料の収集

(1) 受 贈

種別	年度	分野	作 者	資 料 名	点数		小 計
館 資 料	1998年度	歴 史 歴 史 図 書		「阪急沿線」ほか 「東海道」ほか 「京都古写真集」ほか	2点 4点 89点		3件95点
	1999年度						該当なし
管理資料	1998年度	日本画 洋 画 陶 芸 陶 芸 陶 芸 陶 芸 陶 芸 陶 芸 陶 芸 染 織 金 工 人 形 人 形 工 芸 民 具 歴 史 歴 史	田能村竹田 西川 純 加藤 和宏 叶 光夫 叶 光夫 叶 光夫 叶 光夫 浅見 隆三 市川 通三 三浦 景生 二代平野吉兵衛 西村 喜代	「虫の行列図」ほか 「老人スケッチ」ほか 「灰釉鍋一輪生」 「玻璃釉釉彩水指」ほか 「叢釉壺」ほか 「鉄釉面取花瓶」ほか 「紅血釉窯変」ほか 「羊歯文花瓶」ほか 「赫釉花器」ほか 「花菖蒲島の虹」ほか 「黄銅手焙」ほか 「跳ぶ」ほか 陶器雛 大将人形ほか 足踏脱穀機 毒物標本 軍用行李	78点 4点 1点 4点 2点 4点 3点 54点 2点 2点 2点 2点 3点 1点 5点 1点 1点 1点		17件168点
	1999年度	日本画 日本画 日本画 版 画 陶 芸 木 竹 人 形 人 形 歴 史	水田 慶泉 赤松 燎 勝山 琢如 森 三美 中島 清 村山 明 福島 秀子 丸平大木人形店	「干潟」ほか 「舞妓」ほか 「寿老人図」ほか 「須佐能袁神社図」 「耳付象眼花瓶」ほか 「櫛拭漆渦線盛器」 「火焰」 「内裏雛」 「女学入門」ほか	2点 3点 3点 1点 3点 1点 1点 1点 21点		9件36点

(2) 購 入

種別	年度	分野	作 者	資 料 名	点数	小 計
管理資料	1998年度	染 織	福田 喜重	「刺繍訪問着『立鼓亀甲文(四季)』」	1点	4件 5点
		人 形	林 駒夫	「右方楽人」	1点	
		人 形	福嶋 秀子	「浮世の又平」	1点	
		人 形	村岡登志一	「薬玉 行」ほか	2点	
	1999年度	日本画	塩川 文麟	「百老図」	1点	1件 1点

(3) 保管換え

種別	年度	分野	作 者	資 料 名	点数	旧保管者	小 計
管理資料	1998年度	美術工芸	北村 純子	「陶文<秋庭歌を聞いて>」ほか	107点	京都府文化芸術室	1件 107点
	1999年度						該当なし

(4) 寄 託

種別	年度	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小計
館 資 料	1998年度	日本画	1件 1点	古文書	21件 22点	典 籍	21件233点	167件 804点
		絵 図	17件 19点	貴重遺物	99件517点	一般遺物	3件 7点	
		複製模本	1件 1点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	
	1999年度	日本画	1件 1点	古文書	21件 22点	典 籍	21件233点	167件 804点
		絵 図	17件 19点	貴重遺物	99件517点	一般遺物	3件 7点	
		複製模本	1件 1点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	
管理資料	1998年度	日本画	7件 18点	陶 器	2件 98点	民 俗	3件237点	14件 358点
		武 具	1件 4点	染 織	1件 1点			
	1999年度	日本画	7件 18点	陶 器	2件 98点	民 俗	3件223点	14件 344点
		武 具	1件 4点	染 織	1件 1点			

3-2 資料の利用

(1) 貸 与

①館資料

・ 1998年度

分 野	資 料 名	点数	申 請 者	使用目的
歴 史	比叡山延暦寺鳥瞰図原画	1点	京阪百貨店	吉田初三郎展
考 古	西寺跡出土陶磁器類ほか	29点	五島美術館ほか	日本の三彩と緑釉展
考 古	豊楽院跡出土瓦ほか	2点	斎宮歴史博物館	斎王群行と伊勢への旅展
考 古	西賀茂瓦窯跡出土瓦	2点	吹田市立博物館	常設展示
考 古	西賀茂角社群瓦窯跡出土瓦	2点	向日市文化資料館	常設展示

計 5件 36点

・ 1999年度

分 野	資 料 名	点数	申 請 者	使用目的
考 古	平尾城山古墳出土石釧ほか	15点	池田市教育委員会	古代国家胎動展
絵 画	天徳内裏歌合図	1点	斎宮歴史博物館	斎宮女御展
考 古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	吹田市立博物館	常設展示
考 古	西賀茂瓦窯跡出土軒丸瓦ほか	2点	向日市文化資料館	常設展示

計 4件 20点

②管理資料

・1998年度

分 野	資 料 名	点数	申 請 者	使用目的
日本画ほか	佐々木豊「風景(農)」ほか	29点	京都府文化芸術室	京都府庁内展示
日本画	秋野不矩「初冬」ほか	2点	毎日新聞社	秋野不矩展
日本画	中野弘彦「方丈記」ほか	2点	京都市美術館	中野弘彦展
日本画	宇田荻邨「鴨川の夕立」ほか	2点	京都市美術館	京都の100年・パリの100年
日本画	三橋節子「余呉の天女」ほか	2点	三橋節子美術館	三橋節子・湖の伝説シリーズ展
日本画	小松均「赤富士」	1点	鳥取県立博物館	戦後日本画の歩み
日本画	山口華楊「白鷺」ほか	2点	朝日新聞社	山口華楊回顧展
日本画	田能村直外「竹田荘図」ほか	4点	田能村直外遺作展実行委員会	田能村直外遺作展
日本画	西川祐信「衣通姫図」ほか	2点	NHK放送	元禄繚乱
陶芸ほか	河合卯之助「金鳳花肉彫白磁花瓶」ほか	17点	京都国立近代美術館	京都の工芸1910—1940
陶 芸	古清水「色絵笠形掛花生」ほか	10点	NHK放送	乾山と京のやきもの
陶 芸	鈴木治「弥生」ほか	2点	日本経済新聞社	鈴木治展
染 織	羽織	1点	毎日新聞社	幕末明治の天才絵師・河鍋暁斎
染 織	三浦景生「去来」ほか	2点	目黒区美術館	三浦景生展
染 織	白身碧髪百獣王躍舞図意匠紋様図	1点	西陣織物館	美術織物の精華
染 織	丸帯	9点	島田市博物館	帯コレクション
染 織	皆川泰蔵「ベナレスの月」ほか	2点	京都新聞社	皆川泰蔵とその芸術展
木 竹	竹内碧外「中啓硯箱」	1点	東京国立近代美術館	竹内碧外展
民 具	堂宮大工上棟式具	20点	京都府立丹後郷土資料館	造営にこめる願い
民 具	祇園祭月鉦模型	1点	福井県立若狭歴史民俗資料館	おまつり・おはやし・おどり
風 俗	桶	2点	目黒区美術館	色の博物誌・白と黒
風 俗	「小笠原書礼大全」ほか	3点	亀岡市文化資料館	花嫁のいろいろ
歴 史	坂本龍馬所用鐔	1点	産経新聞社	司馬遼太郎展
考 古	銅鐔	3点	野洲町立歴史民俗資料館	銅鐔を造る
郷土玩具	おもちゃ絵・掛絵	55点	向日市教育委員会	おもちゃ絵展
郷土玩具	独楽ほか	229点	亀岡市文化資料館	昔の遊びの風景

計 26件405点

・1999年度

分 野	資 料 名	点数	申 請 者	使用目的
日本画ほか	島津徹「水ぬるむ」ほか	28点	京都府文化芸術室	京都府庁内展示
日本画	西川祐信「衣通姫図」ほか	2点	NHK放送事業局	元禄繚乱
日本画	安田虚心「松韻」	1点	安田虚心	「安田虚心喜寿」展
日本画	小野竹喬「曇り日の海」ほか	2点	毎日新聞社	小野竹喬展
日本画	池大雅「柳下童子図屏風」	1点	島根県立美術館	島根の美術
日本画	小野竹喬「はざまの路」	1点	三重県立美術館	20世紀日本美術再見
日本画	三島上龍「扇美人図」	1点	京都国立博物館	花洛のモード
日本画	田能村直入「三十六歌仙」ほか	3点	京都造形芸術大学芸術館	折り畳まれた美の世界
日本画	三輪晃久「道」ほか	4点	京都府立文化芸術会館	開館30周年特別展
日本画	六代清水六兵衛「人物画置時計」ほか	3点	東京都庭園美術館	アール・デコと東洋
日本画	吉村孝敬「雲龍図」ほか	2点	尾道市立美術館	龍の国・尾道
洋 画	向井潤吉「またぎの家」ほか	19点	園部町	府民ギャラリー事業
洋 画	安田謙「アトリエ静物」ほか	5点	安田曜	安田謙遺作展
陶 芸	古清水「椿若松絵茶碗」ほか	9点	NHK放送事業局	乾山と京のやきもの(京都・大阪)
陶 芸	五代清水六兵衛「青華山水花瓶」ほか	7点	木津町教育委員会	府民ギャラリー事業
陶 芸	粟田焼「舟形向付」ほか	3点	NHK放送事業局	乾山と京のやきもの(島根)
陶 芸	御菩薩焼「錆絵染付芦に千鳥手皿」ほか	8点	NHK放送事業局	乾山と京のやきもの(茨城)
陶 芸	鈴木治「弥生」	1点	日本経済新聞社	鈴木治展
陶 芸	三代清水六兵衛「色絵正倉院文花瓶」ほか	40点	園部町	府民ギャラリー事業
陶芸ほか	林康夫「Far entrance」ほか	2点	中信美術奨励基金	第12回京都美術文化賞受賞記念展
陶 芸	古清水「色絵笠形掛花生」ほか	15点	読売新聞社	日本の器を訪ねて
陶 芸	山田光「塔」ほか	2点	岐阜県美術館	山田光展

陶 芸	乾山伝七「松絵金彩水差し」ほか	9点	愛知県陶磁資料館	万国博覧会と近代陶芸の黎明展
染 織	小紋小袖「黒縮緬地槍松小紋」ほか	8点	渋谷区立松涛美術館	江戸小紋と型紙
染 織	皆川泰蔵「ベナレスの月」ほか	3点	京都新聞社	皆川泰蔵とその芸術展
染 織	鼠羽二重地四季花束繡染裾文様振袖	1点	龍野市教育委員会	折る一折り紙の歴史
染 織	福田喜重「刺繡訪問着 立鼓亀甲文」	1点	群馬県	絹の染織工芸展
染 織	板締染道具	1点	京都造形芸術大学芸術館	京紅板締め展
染 織	皆川泰蔵「チベット・ポタラ宮」	1点	京都府立文化芸術会館	開館30周年特別展
漆 芸	壁面装飾額「紋章」	1点	小林博	華麗なる漆芸の美・小林博の世界展
人 形	立雛ほか	3点	栗東歴史民俗博物館	人形展
歴 史	坂本龍馬所用鐔	1点	産経新聞社	司馬遼太郎展
歴 史	坂本龍馬所用鐔	1点	京都国立博物館	坂本龍馬展
歴 史	七卿落図屏風	1点	若松城天守閣	幕末の会津一若松市の成立
				計 34件 190点

(2) その他

種別	年度	撮影	観覧	寄 託 資 料 一 時 持 ち 出 し					
				分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館 資 料	1998年度	55件 96点	15件						該当なし
	1999年度	61件 75点	9件	考 古	埴輪頭部	1点	古代学協会	研 究	6件 18点
				考 古	ルリスタン青銅器	11点	古代学協会	研 究	
				考 古	ミノス文化青銅器	3点	古代学協会	研 究	
				考 古	頭椎太刀	1点	古代学協会	研 究	
				考 古	中広形銅戈	1点	古代学協会	研 究	
				考 古	馬形埴輪	1点	古代学協会	研 究	
管理資料	1998年度	39件 85点	19件 428点	民 俗	祇園祭大船鉾資料	24箱	大船鉾保存会	展 示	2件 28点
				民 俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭 礼	
	1999年度	41件 77点	15件 54点	民 俗	祇園祭放下鉾染織品	5点	放下鉾保存会	展 示	2件 9点
				民 俗	鞍馬火祭資料	4点	鞍馬火祭保存会	祭 礼	



1998年度受贈資料
(三浦景生「花菖蒲島の虹」)



1999年度受贈資料
(水田慶泉「干潟」)

4. 展示活動

4-1 常設展示

(1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開し、京都の未来を展望するエピローグで結ぶ。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれて

きた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

展示は基本的には大きな変化は無いので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示・集中展示ならびに歴史情報の詳細については『京都文化博物館 10 年のあゆみ』（1999 年）を参照されたい。

◇展示替え

①1998年度

展示テーマ	展示項目	資 料 名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器（協力：門脇氏）		随時
京洛四季	京の商い	看板・暖簾・算盤箱・一斗杓・天秤（*）	5点	1998. 4. 16 ～1998.10.20
		看板（2点）・売薬手提箱・五合杓・一升杓・糸秤（*）	6点	1998.10.22 ～1999. 4.20
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様スープ皿（2点）・染付草花模様小水差・染付草花模様砂糖入（以上、幹山伝七作）／染付草花模様紅茶碗（2点／三代清風与平作）／染付草花模様ソース鉢（和気亀亭作）（*）	8点	1998. 4. 16 ～1998. 7. 7
		染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小判形皿（以上、幹山伝七作）／染付ブドウ酒呑（5点）・染付草花模様ソース鉢（以上、和気亀亭作）／染付四季花卉模様スープ皿（2点／三代清水六兵衛作）（*）	11点	1998. 7. 9 ～1998.10.20
		染付草花模様台付盛皿・染付草花模様小判形皿・染付草花模様蓋付鉢（以上、幹山伝七作）／染付草花模様蓋付平鉢（三代清風与平作）／染付ブドウ酒呑（5点／和気亀亭作）染付草花模様皿（四代高橋道八作）（*）	11点	1998.10.22 ～1999. 1.19
		染付草花模様小水差・染付草花模様台付盛皿（2点）・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢（以上、幹山伝七作）／染付草花模様紅茶碗（2点／三代清風与平作）／染付四季花卉模様肉皿（三代清水六兵衛作）（*）	8点	1999. 1.21 ～1999. 4.20
集中展示	宗家の地	和歌の家一冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角盥（**/*）	3点	1998. 6. 19 ～1998. 9. 15
		蹴鞠の家一蹴鞠（3点）・関係写本（3件）（*）	6点	1998. 9. 17 ～1998.12.15
		琵琶の家一楽琵琶・源氏物語絵巻（複製）（*/**）	2点	1998.12.17 ～1999. 3.16
		琴の家一琴・源氏物語絵巻（複製）（*/**）	2点	1999. 3.18 ～1999. 6.15
	能と狂言	狂言面一犬・延命冠者・鬼ヶ宿（協力：茂山家）	3点	1998. 6. 19 ～1998. 9. 15
		褪朱地雛二菊文様鬘帯・納戸地秋草文様色無鬘帯・萌黄地秋草文様色無腰帯・赤地菊唐草文様腰帯（協力：金剛家）	4点	1998. 9. 17 ～1998.12.15
		狂言面一猿・祖父・石神（協力：茂山家）	3点	1998.12.17 ～1999. 3.16
		中啓（桜文様葛扇）・赤地桜二琴柱文様腰帯・納戸地藤文様色無腰帯（協力：金剛家）	3点	1999. 3.18 ～1999. 6.15
	匠の世界	番匠式具・型板・添引き用具・板図（協力：三上皓造氏）／桂離宮模型（**）	一式	1998. 4. 16 ～1998.10.20
		伝統建築一三条大橋部分模型・和田倉橋部分模型・仕口と継手模型・懸魚六葉複製ほか（協力：奥谷組）	一式	1998.10.22 ～1999. 4.20
	京のまつり	祇園祭長刀鉾模型（**）	1点	1998. 6. 18 ～1998. 9. 15
		久多花笠祭花笠（*）	1点	1998. 9. 17 ～1998.12.15
		祇園祭月鉾模型（大）（**）	1点	1998.12.17 ～1999. 3.16
		祇園祭月鉾模型（小）（*）	1点	1999. 3.18 ～1999. 6.15

※（ ）内の*印の資料は京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）、**印の資料は当館蔵

②1999年度

展示テーマ	展示項目	資 料 名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器(協力:門脇氏)		随時
	町衆の力	平安京八条三坊七町出土埋納銭 (**)		1999. 7. 15 ~
京洛四季	京の商い	看板・暖簾・算盤箱・一斗枰・天秤 (*)	5点	1999. 4. 22 ~1999.10.19
		看板(2点)・売薬手提箱・五合枰・一升枰・糸秤 (*)	6点	1999.10.21 ~2000. 4. 18
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様砂糖入・染付草花模様小水差(以上、幹山伝七作)／染付草花模様蓋付平鉢・染付草花模様紅茶碗(以上、三代清風与平作)／染付草花模様皿(四代高橋道八作) (*)	6点	1999. 4. 22 ~1999. 7. 13
		染付草花模様スープ皿・染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿(3点)(以上、幹山伝七作) (*)	7点	1999. 7. 15 ~1999.10.19
		染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様台付盛皿・染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小判形皿(以上、幹山伝七作)／染付四季花卉模様スープ皿(2点)・染付四季花卉模様肉皿(以上、三代清水六兵衛作)／染付草花模様ソース鉢・染付ブドウ酒呑(5点)(以上、和気亀亭作) (*)	11点	1999.10.21 ~2000. 1. 18
		染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様砂糖入・染付草花模様小水差・染付草花模様小判形皿(以上、幹山伝七作)／染付草花模様蓋付平鉢・染付草花模様紅茶碗(以上、三代清風与平作)／染付草花模様皿(2点／四代高橋道八作) (*)	8点	2000. 1. 20 ~2000. 4. 18
集中展示	宗家の地	和歌の家一冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角盥 (**) (*)	3点	1999. 6. 17 ~1999. 9. 15
		琵琶の家一楽琵琶・源氏物語絵巻(複製) (*) (*)	2点	1999. 9. 17 ~1999.12.14
		蹴鞠の家一蹴鞠(3点)・関係写本(3件) (*)	6点	1999.12.16 ~2000. 3. 14
		琴の家一琴・源氏物語絵巻(複製) (*) (*)	2点	2000. 3. 16 ~2000. 6. 20
	能と狂言	狂言面一武悪・塗師・猿(協力:茂山家)	3点	1999. 6. 17 ~1999. 9. 15
		中啓(籬二菊文様葛扇)・萌黄地秋草文様色無腰帯・白地胴箔紅葉文様鬘帯・赤地籬二撫子文様鬘帯(協力:金剛家)	4点	1999. 9. 17 ~1999.12.14
		狂言面一福の神・武悪・塗師(協力:茂山家)	3点	1999.12.16 ~2000. 3. 14
		中啓(西王母図葛扇)・茶地水二杜若文様腰帯・紫地檜垣二桜文様鬘帯・赤地朝顔文様鬘帯(協力:金剛家)	4点	2000. 3. 16 ~2000. 6. 20
	匠の世界	屋根葺き一聖徳太子像・檜皮葺き屋根模型・檜皮葺き関係道具類(協力:宮川工務店)	一式	1999. 4. 22 ~1999.10.19
		瓦造り一瓦製作関係道具類・瓦成形台・軒瓦木型・軒丸瓦・軒平瓦・鬼瓦など(協力:寺本甚兵衛製瓦)	一式	1999.10.21 ~2000. 4. 18
	京のまつり	祇園祭長刀鉾模型 (**)	1点	1999. 6. 17 ~1999. 9. 15
		久多花笠祭花笠 (*)	1点	1999. 9. 17 ~1999.12.14
		祇園祭月鉾模型(大) (**)	1点	1999.12.16 ~2000. 3. 14
		祇園祭月鉾模型(小) (*)	1点	2000. 3. 16 ~2000. 6. 20

※ () 内の*印の資料は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)、**印の資料は当館蔵

(2) 美術・工芸展示

①1998年度

◇京都の美術・工芸展 《春の収蔵品展》

概 要：京都府所蔵の美術・工芸作品の中から、日 たる作品を展示

本画、洋画、彫刻、染織、陶芸各分野にわ 期 間：1998年2月19日～5月19日

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
日本画	堤	池田 達郎	1969	日本画	野の花	猪田 青以	1970
日本画	彩裳	磯田又一郎	1962	日本画	若い松	猪原 大華	1974

日本画	草丘	岩倉 寿	1970	染 織	CARNIVAL	兼先 恵子	1984
日本画	春装	海老名正夫	1967	染 織	游	佐野 猛夫	1979
日本画	曇り日の海	小野 竹喬	1969	染 織	萌	佐野 猛夫	1983
日本画	明けゆく比良	金島 桂華	1971	染 織	双噴煙	中井 貞次	1992
日本画	萌	川島 睦郎	1974	染 織	行雲	西嶋 武司	1983
日本画	春を待つ	河村 源三	1975	染 織	流文	羽田登喜男	1971
日本画	湖北晴日	久保 嶺爾	1970	染 織	潮音	羽田 登	1981
日本画	春	幸田 暁治	1970	染 織	沫雪流る	福本 潮子	1982
日本画	少女	鹿見 喜陌	1974	染 織	襲(かさね)	福本 繁樹	1984
日本画	青麦	重岡 良子	1977	染 織	WORK'80—Ⅳ	藤本 哲夫	1979
日本画	春隣	城 登	1966	染 織	かりふらわとうど	三浦 景生	1983
日本画	家	八田 哲	1985	染 織	朧	山崎 生士	1971
日本画	花	水野 深草	1970	陶 芸	朝暎	三代伊東 陶山	1967
日本画	野草	三橋 節子	1967	陶 芸	白磁花瓶	井上 治男	1971
日本画	皇寺春暁	武藤 彰	1980	陶 芸	光琳雜置物	五代清水六兵衛	1923
日本画	聖域	山本 知克	1975	陶 芸	錆湧早蕨飾皿	六代清水六兵衛	1970
日本画	ハルノノゲシ	渡辺 信喜	1973	陶 芸	茶盃早春	楠部 彌弑	1959
洋 画	こったいさん	猪田 七郎	1985	陶 芸	梅染付香爐	近藤 悠三	不詳
洋 画	一隅	今井 憲一	1986	陶 芸	鼓動	鈴木 健司	1973
洋 画	朝露	川端弥之助	1966	陶 芸	白燿花器	寺池 静人	1974
洋 画	ラブ・ラブ・ミィ・ミィ	小牧源太郎	1989	陶 芸	釉彩椿水仙文皿	徳力孫三郎	1980
洋 画	赤山	齋藤 真成	1991	陶 芸	青白磁春告盤	深見 陶治	1974
洋 画	よろこびの声をあげよ	津田 周平	1976	漆 芸	花の宮	伊藤 邦	1981
洋 画	京都民家写生水彩画(京の家々集)	西川 純	1960~70	漆 芸	海渡る蝶(螺鈿銀彩蒔絵)	伊藤 裕司	1978
洋 画	作品	南大路 一	1960	漆 芸	漆額 冷たい春	服部 峻昇	1973
洋 画	奥多摩春景	向井 潤吉	1963	漆 芸	硯箱 草の露	東端 真笹	1972
洋 画	ドンキホーテの折り	安田 謙	1980	漆 芸	彩漆額 カトレア	南 祥輝	1967
洋 画	シガレットを持つマリーズ	山田 新一	1968	金 工	駿駒文置物	小林 尚珉	1973
彫 刻	すわる	笹山 幸徳	1968	截 金	交菱文飾筥	斎田 梅亭	1965
彫 刻	コスチームの娘	柴田 篤男	1970	人 形	児戯	尼川みやこ	1982
彫 刻	待ったのに	宮瀬 富之	1968	人 形	青衣少女	大林 蘇乃	1963
染 織	サンクルーの森	春日井秀大	1975	人 形	陽だまり	西村 喜代	1966

※作品はすべて京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

▽併催 《池大雅の人と作品》

期 間：1998年4月16日～5月19日

5月2日 佐々木もと子

列品解説：3階展示室

(池大雅美術館館長)

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
書	金山(大雅三歳の書)	池 大雅	1729	日本画	老樹波浪図	池 大雅	江戸時代
書	杜甫「江亭」	池 大雅	江戸時代	日本画	天産奇葩図	池 大雅	江戸時代
日本画	高士訪隠図屏風	池 大雅	1750	日本画	蕙石図	池 大雅	江戸時代
日本画	墨竹図	池 大雅	江戸時代	日本画	慶子老舞踊図	池 大雅	江戸時代
日本画	金鶏落照図	池 大雅	江戸時代	日本画	池大雅肖像	伝・月峰	江戸時代
日本画	王羲之書扇図	池 大雅	江戸時代	日本画	池大雅居室図	野呂介石	1792
日本画	一富士二鷹三茄子図	池 大雅	江戸時代	彫 刻	如意輪観世音像(大雅堂伝来)	不詳	江戸時代

※作品はすべて京都府蔵池大雅美術館コレクション(京都府京都文化博物館管理)

◇京都の美術・工芸展 《第16回京都府文化賞受賞者展》

概 要：平成9年度の第16回京都府文化賞受賞者の

期 間：1998年5月21日～7月7日

中から、9名の造形作家の作品を展示

部門	作 品 名	作 者	制作年	備考	部門	作 品 名	作 者	制作年	備 考
陶 芸	鉄絵うず文花入	清水 卯一	1948		陶 芸	鉄釉うず文瓶	清水 卯一	1948	

陶 芸	灰釉壺	清水 卯一	1955		陶 芸	雲の風姿	宮永 理吉	1997	
陶 芸	柿釉鉢	清水 卯一	1963		染 織	友禪訪問着「漸層文様」	森口 邦彦	1976	
陶 芸	鉄釉柿十字文大鉢	清水 卯一	1964		染 織	友禪訪問着「網代文」	森口 邦彦	1978	
陶 芸	青瓷輪花大鉢	清水 卯一	1973		染 織	友禪訪問着「われもこう」	森口 邦彦	1984	
陶 芸	青瓷大鉢	清水 卯一	1974	※	染 織	友禪訪問着「楔形花片漸層文」	森口 邦彦	1990	
陶 芸	蓬萊鉄耀茶盤	清水 卯一	1980		染 織	友禪訪問着	森口 邦彦	1993	
陶 芸	萌黄瓷輪花鉢	清水 卯一	1981			「漸層黄唐茶格子文」			
陶 芸	蓬萊磁堆線水指	清水 卯一	1983		染 織	友禪訪問着「位相櫛文様」	森口 邦彦	1993	清流会蔵
陶 芸	蓬萊掛分月花扁壺	清水 卯一	1996		染 織	buoyancy	森口 邦彦	1993	
陶 芸	蓬萊赤土彩掛分扁壺	清水 卯一	1998		染 織	友禪訪問着「菱の葉文様」	森口 邦彦	1996	
	(花紅)				染 織	風爐先屏風「風神」・「雷神」	森口 邦彦	1997	
陶 芸	蓬萊掛分茶盤	清水 卯一	1998		染 織	友禪訪問着「七宝花水木文」	森口 邦彦	1997	
洋 画	森の道	三尾 公三	1995		洋 画	アンドロメダ	渡辺 惇三	1994	
洋 画	北の旅	三尾 公三	1995		洋 画	〇〇通り、×小路	渡辺 惇三	1995	
洋 画	ヴェネツィアの女	三尾 公三	1995		洋 画	慈悲深きM	渡辺 惇三	1995	
洋 画	北白川幻想	三尾 公三	1996		洋 画	オギョーの松近く	渡辺 惇三	1996	
日本画	柳図	岩倉 寿	1972		洋 画	火	渡辺 惇三	1996	
日本画	木の風景	岩倉 寿	1991		洋 画	ドキナ・ドキナワ	渡辺 惇三	1997	
日本画	茂る季節	岩倉 寿	1992		洋 画	感覚	渡辺 惇三	1997	
日本画	葉桜	岩倉 寿	1994		日本画	餅(こだま)	猪熊 佳子	1992	
日本画	湿地帯	岩倉 寿	1995		日本画	落葉	猪熊 佳子	1993	
彫 刻	鹿	番浦 有爾	1958		日本画	青い杜	猪熊 佳子	1994	
彫 刻	鳥 A	番浦 有爾	1969		日本画	木霊(こだま)	猪熊 佳子	1995	
彫 刻	赤い鷺	番浦 有爾	1995		日本画	木霊(こだま)	猪熊 佳子	1995	
彫 刻	風	番浦 有爾	1996		日本画	迷宮の森	猪熊 佳子	1996	
彫 刻	小鳥	番浦 有爾	1997		日本画	青い森へ	猪熊 佳子	1996	京都新聞社蔵 京都新聞社蔵
陶 芸	雲の彼方	宮永 理吉	1996		日本画	木霊(こだま)	猪熊 佳子	1998	
陶 芸	山の雲	宮永 理吉	1996		彫 刻	Untitled	松井 紫朗	1989	
陶 芸	雲の行方	宮永 理吉	1997		彫 刻	Channel	松井 紫朗	1994	
陶 芸	雲の波頭	宮永 理吉	1997		彫 刻	Channel	松井 紫朗	1994	

※の作品は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

◇京都の美術・工芸展 《京都府所蔵品から》

概 要：京都府所蔵の美術・工芸作品の中から、日

たる作品を展示

本画、洋画、彫刻、染織、陶芸各分野にわ

期 間：1998年7月9日～9月22日

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
日本画	雲母坂	麻田 辨白	1979	洋 画	夏の子No.2	小牧源太郎	1951
日本画	山の灯	池田 遥邨	1975	洋 画	化	斎藤 真成	1978
日本画	はざまの路	小野 竹喬	1933	洋 画	UCHU	笹瀬 悦子	1989
日本画	洛東祇園夜桜	河野 秋邨	1986	洋 画	午後のお茶	霜鳥 之彦	1929
日本画	洛西嵐峡夕照	河野 秋邨	1986	洋 画	夜の庭	津田 周平	1954
日本画	裾野風景	小松 均	1988	洋 画	ハヶ岳快晴	向井 潤吉	1969
日本画	時の秘鍵	堂本 印象	1965	洋 画	魚市場	安田 謙	1952
日本画	閑	中路 融人	1977	洋 画	リスボンのジュディット	山田 新一	1968
日本画	さい果て	西山 英雄	1971	彫 刻	悠	信ヶ原良和	1994
日本画	古壺再び	浜田 観	1960	彫 刻	四間五柱”	柴田 純生	1995
日本画	北山杉	福田 翠光	1965	彫 刻	サボテン	田中 太郎	1990
日本画	湖の伝説(余呉の天女)	三橋 節子	1974	染 織	彩花	阿部 緑	1989
日本画	道	三輪 晃久	1988	染 織	古都有情(京都)	伊砂久二雄	1994
日本画	山湖	三輪 晃勢	1965	染 織	HAND IN HAND No.2	兼先 恵子	1990
洋 画	広隆寺太秦牛祭	井沢 元一	1980	染 織	風韻	小林 祥晃	1990
洋 画	平	伊藤久三郎	1971	染 織	僧侶シリーズ 1 祈祷	中堂 憲一	1980
洋 画	水中花	今井 憲一	1986	染 織	僧侶シリーズ 2 修法	中堂 憲一	1980
洋 画	白い自画像	金田 辰弘	1992	染 織	僧侶シリーズ 3 僧堂座禅	中堂 憲一	1980
洋 画	雪後	黒田重太郎	1925	染 織	僧侶シリーズ 4 勤業	中堂 憲一	1980
洋 画	夏の子No.1	小牧源太郎	1951	染 織	僧侶シリーズ 5 法要	中堂 憲一	1980

染織	僧侶シリーズ 6 読経	中堂 憲一	1980	陶芸	塩釉鸛鴦陶額	森野 嘉光	1942
染織	僧侶シリーズ 7 托鉢	中堂 憲一	1980	陶芸	陶額「アトリエ」	森野 嘉光	1953
染織	僧侶シリーズ 8 禅問答	中堂 憲一	1980	陶芸	緑釉窯変鶴首花瓶	森野 嘉光	1961頃
染織	僧侶シリーズ 9 師家	中堂 憲一	1980	陶芸	緑釉窯変「青・黒・赤」花瓶	森野 嘉光	1961
染織	僧侶シリーズ10 只管打座	中堂 憲一	1980	陶芸	塩釉三足花瓶	森野 嘉光	1962
染織	僧侶シリーズ11 墨衣春風	中堂 憲一	1980	陶芸	緑釉窯変四方花瓶	森野 嘉光	1966頃
染織	僧侶シリーズ12 行脚	中堂 憲一	1980	陶芸	塩釉四方花瓶	森野 嘉光	1966
染織	僧侶シリーズ13 雲・魚・板	中堂 憲一	1980	陶芸	緑釉窯変花瓶	森野 嘉光	1967頃
染織	僧侶シリーズ14 僧正	中堂 憲一	1980	陶芸	塩釉花瓶	森野 嘉光	1969頃
染織	僧侶シリーズ15 庵主さん	中堂 憲一	1980	陶芸	塩釉花瓶	森野 嘉光	1969頃
染織	天上の鏡	内藤 英治	1996	陶芸	紫織釉花器	森野 嘉光	1970頃
染織	残月	西嶋 武司	1991	陶芸	赤絵ぶどう花瓶	森野 嘉光	1970頃
染織	陰陽師	藤野 靖子	1993	陶芸	塩釉線文花瓶	森野 嘉光	1970
染織	WORK'93-2	藤本 哲夫	1993	陶芸	塩釉線文花瓶	森野 嘉光	1971頃
染織	水平思考	三橋 遵	1990	陶芸	塩釉花瓶	森野 嘉光	1971頃
陶芸	大白磁彫文花瓶	森野 嘉光	1933	陶芸	緑釉窯変花瓶	森野 嘉光	1973
陶芸	鶏頭と酸漿の図額皿	森野 嘉光	1937頃	陶芸	塩釉水指	森野 嘉光	1975頃
陶芸	塩釉刷毛目枇杷の図 六角花瓶	森野 嘉光	1941	陶芸	塩釉六角花瓶	森野 嘉光	1983

※作品はすべて京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

◇京都の美術・工芸展 《染めの屏風と創作人形》

概 要：京都を代表する工芸作家が、屏風仕立ての
染織作品と創作人形の分野に創作表現を託

した作品を展示

期 間：1998年11月14日～12月14日

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
染織	彩花	阿部 緑	1989	人形	青衣少女	大林 蘇乃	1963
染織	憧憬	天野 文	1983	人形	茜雲	大林 蘇乃	1965頃
染織	スクリヤービン作曲 「焰に向って」のイメージより	伊砂 利彦	1985	人形	不遜な十六才	大林 蘇乃	1965頃
染織	海に想う	大久保直丸	1981	人形	末広がリ	岡本正太郎	1960頃
染織	上雲	小合友之助	1963	人形	笛	岡本正太郎	1960頃
染織	樹海	春日井秀大	1964	人形	無	岡本正太郎	1970頃
染織	サンクルーの森	春日井秀大	1975	人形	大内山	岡本正太郎	1970頃
染織	篁	春日井秀大	1978	人形	空也	衣裳：片岡光春 岡本正太郎	1970頃
染織	崖	岸田 竹史	1968	人形	桃山	岡本正太郎	1966
染織	トリ	岸田 竹史	1977	人形		衣裳：片岡光春	
染織	かくれ切支丹	来野 月乙	1974	人形	富士丸と桜子	岡本正太郎	1970
染織	風光—95	小林 祥晃	1995	人形	風花	河野 良子	1980頃
染織	潮の譜	佐野 猛夫	1976	人形	海の荒れる日	黒川 和江	1967
染織	游	佐野 猛夫	1979	人形	閑取	黒川 和江	1974
染織	鸛の精	中堂 憲一	1978	人形	双	種田 蝶子	1975
染織	ススキ	寺石 正作	1974	人形	立児	中田 世津	1975
染織	天上の鏡	内藤 英治	1996	人形	夜明け	西井千津子	1976
染織	巨木積雪	中井 貞次	1990	人形	跳ぶ	西村 喜代	1966
染織	双噴煙	中井 貞次	1992	人形	柿の秋	西村 喜代	1987
染織	春風来	西嶋 武司	1980	人形	陽光	西村 喜代	1994
染織	雪山遊戯図	西嶋 武司	1993	人形	看花	林 駒夫	1994
染織	早春	野入 康子	1970	人形	学校がえり	羽山 敬子	1971
染織	潮音	樋上 千哲	1971	人形	雷	平中 歳子	1968
染織	襲(かさね)	福本 繁樹	1984	人形	伊須気余里比賣	平中 歳子	1968
染織	去来	三浦 景生	1967	人形	菜摘み	平中 歳子	1974
染織	はばたん譜	三浦 景生	1974	人形	風神	前田美代子	1972
染織	竜虎幻想	皆川 月華	1975	人形	御大将	面屋 庄三	1965
染織	ペナレスの月	皆川 泰蔵	1979	人形	御局さま参内	面屋 庄三	1977
染織	樹炎	山本唯与志	1987	人形	晴れ姿	面屋 庄三	1987
人形	児戯	尼川みやこ	1982				

※作品はすべて京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

◇京都の美術・工芸展 《画家の家―田能村家と今尾家―》

概 要：南画系脈を伝える田能村家と円山派の流れ

展示

を汲む今尾家から寄附された資料の一部を

期 間：1999年2月19日～3月25日

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
日本画	臨王石谷画十二景	田能村直入		日本画	貝づくし	今尾 景年	1867
日本画	臨下文瑜画小景及無款清人画	田能村直入		日本画	千歳之松之図	今尾 景年	1925
日本画	汲古山泉稿本帖	田能村直入		日本画	仙島雙鶴図	今尾 景祥	
日本画	臨雪庵禅師画十八羅漢図	田能村直入	1884	日本画	大西良慶賛 瑞松図	今尾 景祥	
日本画	臨徐元泰画江山無尽図	田能村直入	1889		養素斎印譜		
日本画	三十六歌仙画帖	田能村直入			落款印材		
日本画	倣古花卉画冊	田能村直入			菓子鉢 四季草花	今尾景年・絵	
日本画	臨董其昌画帖	田能村直入			菓子鉢 寒月野鴨	今尾景年・絵	
日本画	山水画帖	田能村直入	1890		水差 牽牛花	今尾景年・絵	
日本画	山水画帖	田能村直入			白磁菱内水差 群馬	榮 弘入・作	
日本画	佳人観蝶図	田能村直入	1882			今尾景年・絵	
日本画	松泉清聴図	田能村直入	1882			永楽妙全・作	
日本画	米法山水図	田能村直入	1892		白磁水差 真鶴	今尾景年・絵	
日本画	倣古山水図	田能村直入	1890		白磁染付水差 貝尽図	今尾景年・絵	
日本画	紙雛図	田能村直入	1853		孔雀花瓶	今尾景年・絵	
日本画	売茶翁像	田能村直入	1862			中村宗哲・作	
日本画	帰去来辞意図	田能村直入	1871		黒棗 青柳	今尾景年・絵	
日本画	白衣大士図	田能村直入	1881			中村宗哲・作	
日本画	諸家書画貼交屏風	田能村直入ほか			黒平棗 菊	今尾景年・絵	
日本画	寿老図	田能村小齊				中村宗哲・作	
日本画	関羽像	田能村小齊			休々斎好桶水指 秋草	今尾景年・絵	
日本画	十八賢士登瀛図巻	田能村小簞				秋田春慶・作	
日本画	花卉雑画冊	田能村小簞			干菓子盆 貝尽	今尾景年・絵	
日本画	亦復一茶帖	田能村小簞			黒菱形菓子盆 千歳松図	今尾景年・絵	
日本画	水亭待客図	田能村小簞	1893			中村宗哲・作	
日本画	松溪閑居図	田能村小簞	1897		会席具 春慶塗一式 絵変わり	今尾景年・絵	
日本画	釈尊出山図	田能村小簞	1901		竹花生 群蝶	今尾景年・絵	
日本画	田家交友関係合作画帖	田能村小簞ほか			赤楽常茶碗 常夏	今尾景年・絵	
日本画	花卉画冊	田能村直外				榮 弘入・作	
日本画	田家父子孫世濟其美画冊	田能村直外			黒楽茶碗 富士	今尾景年・絵	
日本画	昇龍図	田能村直外				高橋道八・作	
日本画	惺軒豹軒清斎観桜詩図	田能村直外	1949		井戸形白楽茶碗 腹津々美	今尾景年・絵	
日本画	竹田荘図	田能村直外	1975			榮 弘入・作	
日本画	赤目四十八滝図	田能村直外	1990		黄楽茶碗 旭稚松	今尾景年・絵	
日本画	山水図	刈野 桂仙	1881			榮 煌入・作	
日本画	武内宿禰図	鈴木 百年			平型茶碗 加茂川	今尾景年・絵	
日本画	四時花木群蟲図	今尾 景年	1885			永楽善五郎・作	
日本画	安宅の関図	今尾 景年	1901		黒中次茶器 芒鶉	今尾景年・絵	
日本画	桜楓の図(裏面 月)扇	今尾 景年				三木表悦・作	
日本画	菊水の図(裏面 蝶)扇	今尾 景年			千切群虫 蓋置	今尾景年・絵	
日本画	傘の図団扇	今尾 景年				永楽妙全・作	
日本画	扇面牡丹図	今尾 景年			四季の花 蓋置	今尾景年・絵	
日本画	寒月双鴨図	今尾 景年			松竹梅 蓋置	今尾景年・絵	
日本画	宝船図	今尾 景年			青華磁香合 むら雀	今尾景年・絵	
日本画	蟬の句図団扇	今尾 景年				三浦竹泉・作	
日本画	野々宮図	今尾 景年			竹根香合 芙蓉	今尾景年・絵	
日本画	秋野群鶉	今尾 景年			茶杓 ほたる	今尾景年・絵	
日本画	江邨春色図	今尾 景年			茶杓 新年	今尾景年・絵	

※作品はすべて京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

②1999年度

◇京都の美術・工芸展 《京都府所蔵品にみる昭和の美術と工芸》

概 要：京都府所蔵品の中から、昭和期に制作され
た作品を幅広く展示

期 間：1999年7月3日～9月29日

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
日本画	雲母坂	麻田 辨白	1979	染 織	萌黄勝見菱地蝶文二倍織物袷	喜多川平朗	1981
日本画	山の灯	池田 遥邨	1975	染 織	忍冬華文羅着物	北村 武資	1980
日本画	縞白鷺	上村 松篁	1966	染 織	潮の譜	佐野 猛夫	1976
日本画	鴨川の夕立	宇田 荻邨	1954	染 織	游	佐野 猛夫	1979
日本画	白鷺	岡村宇太郎	1930	染 織	紬織着物 月輪	志村ふくみ	1983
日本画	はざまの路	小野 竹喬	1933	染 織	貌	高木 敏子	1976
日本画	赤富士図	小松 均	1980	染 織	鷺の精	中堂 憲一	1978
日本画	時の秘鍵	堂本 印象	1965	染 織	ススキ	寺石 正作	1974
日本画	暮れなずむ蘇州	堂本 元次	1981	染 織	友禅訪問着 流文	羽田登喜男	1971
日本画	さい果て	西山 英雄	1971	染 織	去来	三浦 景生	1967
日本画	おとめたち	三谷十糸子	1931	染 織	花菖蒲島の虹	三浦 景生	1988
日本画	木屋町	三輪 晃勢	1956	染 織	双鶏	皆川 月華	1963
日本画	白鷺	山口 華楊	1956	染 織	波	皆川 月華	1987
日本画	雪霽	山本 倉丘	1932	染 織	ベナレスの月	皆川 泰蔵	1969
洋 画	太秦広隆寺牛祭	井沢 元一	1980	染 織	友禅訪問着 光と影	森口 華弘	1961
洋 画	ブレインカの城塞都市	伊谷 賢蔵	1964	染 織	法隆寺弦月	山鹿 清華	1956
洋 画	ボンネット	今井 憲一	1970	陶 芸	染付豆陽筒花生	浅見 隆三	1954
洋 画	一隅	今井 憲一	1986	陶 芸	鉄絵大皿「麦」	石黒 宗麿	1955～64
洋 画	ひな	小牧源太郎	1954	陶 芸	「静韻」花瓶	伊東 慶	1977
洋 画	また逢う日まで	小牧源太郎	1960	陶 芸	水明釉輪花刻花瓶	伊東 翠壺	1950～54
洋 画	化	斎藤 真成	1978	陶 芸	「朝暾」花瓶	三代伊東陶山	1967
洋 画	収穫賛歌	芝田 米三	1973	陶 芸	白磁花瓶	井上 治男	1974
洋 画	戸外静物	須田国太郎	1941	陶 芸	象嵌彩窯変螭螭壺	今井 政之	1988
洋 画	辺土の風景	田中佐一郎	1938	陶 芸	流し釉壺	宇野 三吾	1970
洋 画	よろこびの声をあげよ	津田 周平	1976	陶 芸	青磁鳳凰耳花瓶	宇野 宗麿	1964
洋 画	鏡の中の少女たち	津田 周平	1978	陶 芸	懸垂方瓶	叶 光夫	1967
洋 画	街路樹の女	中村 善種	1986	陶 芸	牡丹に蝶文色絵飾壺	河合卯之助	1938～39
洋 画	校倉と瓦と柿	福井 勇	1967	陶 芸	遥	河合 誓徳	1988
洋 画	二つの箱	三尾 公三	1973	陶 芸	朱錦水指	五代清水六兵衛	1943
洋 画	八ヶ岳快晴	向井 潤吉	1969	陶 芸	芒花瓶	六代清水六兵衛	1954
洋 画	筑後柳川の春	向井 潤吉	1969	陶 芸	彩斑静暁飾皿	楠部 彌弌	1983
洋 画	洛北暮雪	向井 潤吉	1970	陶 芸	山噴煙染付花瓶	近藤 悠三	1964
洋 画	山ふところの早春	向井 潤吉	1987	陶 芸	青磁大鉢	清水 卯一	1974
洋 画	魚市場	安田 謙	1952	陶 芸	錦輝花瓶	新開 寛山	1977
洋 画	荒野を走る	安田 謙	1973	陶 芸	猫	高山 泰造	1938
彫 刻	SUB WAY	井田 彪	1975	陶 芸	緑釉二重壺	瀧 一夫	1962
彫 刻	物化	小山 由寿	1973	陶 芸	花梨釉 樹海	谷口 良三	1986
彫 刻	無理に押さないでください	佐野 賢	1971	陶 芸	釉彩茄子文壺	徳力孫三郎	1979
彫 刻	EARTH DRAWING	田村 蘊	1981	陶 芸	色絵薔薇蝶絵花瓶	中島 清	1947
彫 刻	空にかける階段 '76Ⅷ	富樫 実	1976	陶 芸	織部刻印華魚文扁壺	西川 實	1985
彫 刻	魔術師の変貌-Ⅱ	藤庭 賢一	1975	陶 芸	陶彫某氏像額	沼田 一雅	不詳
彫 刻	ある蜚族の碑75-3	村上 泰造	1975	陶 芸	方円壺(油滴)	福田力三郎	1977
染 織	山ぐにの春	稲垣稔次郎	1954	陶 芸	五緯連望	藤平 伸	1984
染 織	上雲	小合友之助	1963	陶 芸	洋犬	船津 英治	1945～49
染 織	樹海	春日井秀大	1964	陶 芸	色絵象香炉	道林 俊正	1945～49
染 織	篁	春日井秀大	1978	陶 芸	花瓶「梅」	宮下 善寿	1958
染 織	崖	岸田 竹史	1968	陶 芸	塩釉三足花瓶	森野 嘉光	1962
染 織	トリ	岸田 竹史	1977	陶 芸	オブジェ赤い脱衣	八木 一夫	1977
染 織	連翔	岸本 景春	1971	陶 芸	塔	山田 光	1964

※作品はすべて京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)

◇京都の美術・工芸展 《第17回京都府文化賞受賞者展》

概 要：平成10年度の第17回京都府文化賞受賞者

期 間：1999年10月1日～10月24日

の中から、9名の造形作家の作品を展示

部門	作 品 名	作 者	制作年	備 考	部門	作 品 名	作 者	制作年	備考
日本画	砂上	秋野 不矩	1936	京都市美術館蔵	彫 刻	傘の木の石の色の	小清水 漸	1995	
日本画	ガンジス河畔の少女	秋野 不矩	1964	京都市美術館蔵	彫 刻	レリーフ(ウィリアム	小清水 漸	1998	
日本画	池のほとり	秋野 不矩	1983	京都国立近代美 術館蔵	彫 刻	ズの花)			
日本画	七母神	秋野 不矩	1984	京都市美術館蔵	彫 刻	レリーフ(結紐紋大皿)	小清水 漸	1998	
日本画	ビシュヌプール寺院	秋野 不矩	1992	※	彫 刻	水浮器(垂平)	小清水 漸	1999	
日本画	雨雲	秋野 不矩	1998		竹 工	菱文花籃	田中 耕司	1977	
陶 芸	羽化	鈴木 治	1990		竹 工	網代編菓子器銘々皿	田中 耕司	1979	
陶 芸	夏山の風景―考える猿―	鈴木 治	1994		竹 工	亀甲文重編盛籃	田中 耕司	1983	
陶 芸	夏山の風景―巣箱の山鳩―	鈴木 治	1994		竹 工	流文花籃	田中 耕司	1985	
陶 芸	夏山の風景―空を見る蛙―	鈴木 治	1994		竹 工	亀甲編斜線文花籃	田中 耕司	1986	
陶 芸	夏山の風景―迷子のチャボー	鈴木 治	1994		竹 工	矢筈文花籃	田中 耕司	1987	
陶 芸	夏山の風景―巻き毛の山羊―	鈴木 治	1994		竹 工	水玉文花籃	田中 耕司	1988	
陶 芸	夏山の風景―物見の狐―	鈴木 治	1994		竹 工	亀甲透花籃	田中 耕司	1991	
陶 芸	入日影(馬二十五種ノ内)	鈴木 治	1996		竹 工	条文花籃	田中 耕司	1994	
陶 芸	祝祭のとき(馬二十五種ノ内)	鈴木 治	1996		竹 工	千筋条文花籃	田中 耕司	1998	
陶 芸	ハニワ(馬二十五種ノ内)	鈴木 治	1996		竹 工	菱文花籃	田中 耕司	1999	
陶 芸	泥象馬 母と子Ⅱ	鈴木 治	1997		日本画	DRAPÉ'96 I.Ⅱ	堀 泰明	1996	
陶 芸	年輪のみえる木	鈴木 治	1998		日本画	DRAPÉ'99 I.Ⅱ	堀 泰明	1999	
織 物	経錦裂地「若松」	北村 武資	1987		日本画	ASIA舞楽東漸 蘭陵王	堀 泰明	1999	
織 物	文羅コート「小菱格子」	北村 武資	1989		日本画	ASIA舞楽東漸 納曾利	堀 泰明	1999	
織 物	羅金裂地「菊菱」	北村 武資	1995		絵 画	黄の水路	児玉 靖枝	1996	
織 物	経錦裂地「七宝山吹」	北村 武資	1997		絵 画	黄の水路	児玉 靖枝	1996	
織 物	文羅着物「九ツ菱」	北村 武資	1997		絵 画	黄の水路	児玉 靖枝	1996	
織 物	羅金裂地「梅花」	北村 武資	1997		絵 画	黄の水路	児玉 靖枝	1996	
織 物	経錦着物「亀甲連珠」	北村 武資	1998		絵 画	緑の地図	児玉 靖枝	1997	
織 物	経錦着物「亀甲つなぎ」	北村 武資	1999		絵 画	Landscape	児玉 靖枝	1998	
版 画	闇のコンポジションA	黒崎 彰	1971		絵 画	Landscape	児玉 靖枝	1998	
版 画	闇のコンポジションB	黒崎 彰	1971		陶 芸	夜の生産	西川 勝	1995	
版 画	迷彩譜9	黒崎 彰	1978		陶 芸	夜の生産	西川 勝	1995	
版 画	黒のアラベスク	黒崎 彰	1980		陶 芸	宙の生産	西川 勝	1996	
版 画	黒の軌跡	黒崎 彰	1981		陶 芸	宙の生産	西川 勝	1996	
版 画	虚の軌跡	黒崎 彰	1982		陶 芸	夜と昼	西川 勝	1996	
版 画	沙の軌跡	黒崎 彰	1982		陶 芸	夜の生産	西川 勝	1996	
版 画	二つの時間の間に5	黒崎 彰	1987		陶 芸	Sound of midnight	西川 勝	1997	
版 画	白い石	黒崎 彰	1993		陶 芸	夜の気管	西川 勝	1997	
版 画	運命の女神	黒崎 彰	1995		陶 芸	月を喰う	西川 勝	1999	
版 画	はこぶね	黒崎 彰	1995		陶 芸	陶彩祭牛蓋物	西川 勝	1999	
彫 刻	水浮器(舟の月)	小清水 漸	1988		陶 芸	鶏の記憶	西川 勝	1999	
彫 刻	水の長持	小清水 漸	1992		陶 芸	百本足	西川 勝	1999	

※の作品は京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

◇京都の美術・工芸展 《京都府所蔵品から》

概 要：京都府所蔵品の中から、美術、工芸各分野

期 間：2000年2月17日～5月16日

の作品を展示

部門	作 品 名	作 者	制作年	部門	作 品 名	作 者	制作年
日本画	堤	池田 逢邨	1969	日本画	定家	中野 弘彦	1978
日本画	曇り日の海	小野 竹喬	1959	日本画	家	八田 哲	1985
日本画	道成寺	勝田 哲	1966	日本画	朝の庭	濱田 観	1968
日本画	大威徳明王	金島 桂華	1942	日本画	北山杉	福田 翠光	1965
日本画	竹生島	下保 昭	1975	日本画	黄衣の女	堀井 香坡	1955
日本画	閑	中路 融人	1977	日本画	飛瀧	曲子 光男	1981

日本画	沢渡	正井 和行	1972	染 織	葡萄の図	三浦 景生	1977
日本画	猫と娘	三谷十糸子	1947	染 織	早春	森口 華弘	1973
日本画	聖域	山本 知克	1975	陶 芸	白瓷「條」	市川 廣三	1973
日本画	庵	山岸 純	1987	陶 芸	象嵌彩輪壺	今井 政之	1968
洋 画	平	伊藤久三郎	1971	陶 芸	流映花瓶	浮田 武司	1974
洋 画	壬生狂言 道成寺	猪田 七郎	1975	陶 芸	黒地掛分白裂釉壺	木村 盛伸	1992
洋 画	印相婆藪	小牧源太郎	1965	陶 芸	染付ぶどう花瓶	近藤 潤	1992
洋 画	山河あり	芝田 米三	1978	陶 芸	油滴天目釉皿	清水 卯一	不詳
洋 画	ターバンの女	霜鳥 之彦	1923	陶 芸	碧彩花瓶	谷口 良三	1977
洋 画	霧氷	津田 周平	1983	陶 芸	練込鶉手飴釉「鳥」	辻 勘之	1979
洋 画	中仙道番場宿	向井 潤吉	1964	陶 芸	花瓶「牛」	寺池 静人	1969
洋 画	段丘と湖	向井 潤吉	1967	陶 芸	輪映華花瓶	西川 實	1971
洋 画	アトリエ静物	安田 謙	1991	陶 芸	燦光花瓶	森野 泰明	1977
洋 画	青いジュポン	山田 新一	1985	陶 芸	鳥壺	山崎 昭	1974
彫 刻	16トン人生の重み	今宮 整	1971	漆 芸	日月山水 宙	伊藤 裕司	1989
彫 刻	はだか	鎌田 泰知	1972	漆 芸	透胎 華の函	鈴木 雅也	1991
彫 刻	習作	辻 晋堂	1975	金 工	心華	加藤 忠雄	1972
染 織	木挽と西瓜ひととき	来野 月乙	1987	木 竹	菱透文様華籠	早川尚古斎	1987
染 織	夜の森	佐野 猛夫	1969	人 形	青衣少女	大林 蘇乃	1963
染 織	開花	鈴鹿雄次郎	1975	人 形	茜雲	大林 蘇乃	1965頃
染 織	七転八起の碑	中堂 憲一	1969	人 形	看花	林 駒夫	1994
染 織	舊跡	福本 三木	1974	人 形	浮世の又平	福島 秀子	1985

※作品はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

▽併催 《文人の憧れ・池大雅—京都府蔵池大雅美術館コレクションより—》

期 間：2000年3月16日～4月18日

部門	作 品 名	作 者	制作年	備 考	部門	作 品 名	作 者	制作年	備 考
書	金山	池大雅	1725	人見少華印・旧蔵	日本画	寿老人図	池大雅	18世紀	篠崎三島賛、平尾竹霞箱書
書	杲堂之偈	杲堂元昶	1729	人見少華旧蔵	日本画	秋江邨図	池大雅	18世紀	平尾竹霞箱書
書	獨楽園之記	池大雅	1734		日本画	墨竹図	池大雅	18世紀	
書	蘭亭之詩	池大雅	18世紀		日本画	風竹図	池大雅	18世紀	人見少華箱書
日本画	巫峡山水図	池大雅	18世紀		日本画	王羲之書扇図	池大雅	18世紀	大雅堂伝来、
日本画	雲龍図	池大雅	18世紀	人見少華箱書、 伝高久隆古旧蔵	日本画	柳下童子図屏風 (重要文化財)	池大雅	18世紀	青木夙夜・月峰印 田能村直入旧蔵、 人見少華箱書
日本画	蕙石図	池大雅	18世紀	龍草廬賛、谷文麟箱書					

※作品はすべて京都府蔵池大雅美術館コレクション（京都府京都文化博物館管理）



1999年2月 美術・工芸常設展示（3階展示室）
京都の美術工芸展《画家の家—田能村家と今尾家—》

(3) 別館展示

① 東 室

ア. 1998年度

◇第34回 1998年6月18日～9月15日 計63点 (前期：6/18～7/7、中期：7/9～8/18、後期：8/20～9/15)

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期間
前掛・手甲・脚絆類	前掛(舞鶴市田井)／前掛(京都市上賀茂)／手甲(京都市久多)／手甲(京都市上賀茂)／脛巾(京都市久多)／脛巾(京都市花背別所)／脛巾編み(京都市久多)／脚絆(福知山市小牧)／甲掛(京都市久多)／甲掛(京都府京北町)／足袋(京都市上京区)	
獅子頭	堤土人形獅子頭(仙台市)／仙台張子獅子頭(仙台市)／酒田の獅子頭(酒田市)／庄内の板獅子(鶴岡市)／鴻巣練り物獅子舞(鴻巣市)／富山の獅子頭(富山市)／大阪張子獅子頭(大阪市)／鳥取のキリン獅子(鳥取市)／徳島張子獅子頭(徳島市)／松山張子獅子頭(松山市)／博多の獅子頭(福岡市)／久留米の獅子頭(久留米市)／英彦山の獅子頭(福岡県添田町)／大川張子獅子頭(大川市)／人吉張子獅子頭(人吉市)／宇土張子獅子頭ほか(宇土市)	
近世絵画『平安人物志』の画家たち	楠公父子図(土佐光孚)／還城楽図(原在明)／貴妃文楽図(源琦)／雨中山水図(東洋)／菖蒲図(吉江文雄)／双鯉図(岸竹堂)	前期
	菅原道真像(土佐光武)／竹図(鶴沢探泉)／蝶々踊り図(島田雅喬)／山中行人図(紀樸亭)／平等院図(長谷川玉峰)／四条河原納涼図(横山華溪)	中期
	瀧見女房図(浮田一蕙)／大原女図(円山応震)／秋山水図(岸連山)／菊花図(池玉瀾)／雪月花図(岡嶋清曠)／常盤御前図(塩川文麟)	後期

◇第35回 1998年9月17日～12月15日 計100点

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期間
信仰の民具	千社札／小絵馬／夷大黒像／山の神祭祀具／亥の子の餅搗／居籠祭神供農道具	
持ち物	煙草入れ／煙管筒／箱迫／細工袋物／紙入れ／財布	
猫の郷土玩具	弘前土人形鯛持ち猫(弘前市)／花巻土人形猫(花巻市)／堤土人形毬猫(仙台市)／気仙沼土人形招き猫(気仙沼市)／日光の眠り猫(日光市)／富岡張子招き猫(高崎市)／今戸土人形子持ち猫ほか(東京都)／金沢張子小判猫(金沢市)／金沢練り人形毬猫(金沢市)／富山土人形毬猫(富山市)／住吉土人形初辰猫(大阪市)／津屋崎土人形招き猫(福岡県津屋崎町)／古賀土人形猫・黒猫(長崎市)／四日市土人形(宇佐市)	
伏見人形	牛乗り天神／成田屋人形／五人子供／徳須ちよろ／おぼこ／俵持ち力士／扇持ち狐／駒乗り神馬／車曳き牛／布袋／まんじゅう喰い／船遊び／鯛乗り子供／子守り／羽織相撲／対狐／俵牛／飾り犬ほか	

◇第36回 1999年3月18日～6月15日 計56点 (前期：3/18～4/20、中期：4/22～5/18、後期：5/20～6/15)

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期間
裁縫・洗濯用具	火熨斗／鋏／炭火アイロン／火熨斗盤／盥／砧	
伏見人形	天神／福助／お福ちよろ／太鼓持ち童子／座り童子／船遊び／鯛抱き童子／俵持ち／おぼこ／子守り／餅つき兎／撫牛／袈裟／対狐／米俵と蔵／俵牛／人形原型／人形型 ほか	
近世絵画流派別シリーズ 〈四条派〉	梅に鶯図(松村景文)／漁夫図(横山清暉)／平等院図(長谷川玉峰)／鷺に白鷺図(大原春舟)／芙蓉に水鳥図(八木奇峰)／群鳥図(田中日華)	前期
	達磨見立て美人図(岡本豊彦)／源義家像(柴田義重)／宋太祖蹴鞠図(国分文友)／春雨山水図(吉江文雄)／雛相撲図(早藤春英)／牛若と弁慶(岡本茂彦)	中期
	閻魔大王図(紀広成)／観桜美人図(三島上龍)／舞子納涼図(吉原貞龍)／山水人物図(熊谷直彦)／猛猪図(塩川文麟)／山桜に群鳥図(幸野樸嶺)	後期

イ. 1999年度

◇第37回 1999年6月17日～9月15日 計75点（前期：6/17～7/13、後期：7/15～9/15）

テーマ	資料名・作品名（作者）	期間
結髪・化粧用具	櫛／簪／笄／手鏡／姫鏡台／お歯黒道具／耳盥／木手桶	
お細工もの	小袋／お細工袋／小箱／箸入れ／迷子札／お細工人形	
小紋のきもの	藍麻地割小菱小紋袷（江戸時代）／黒縮緬地槍松小紋小袖（江戸時代）／染分縮緬地重菊小紋垣に菊枝文様友禅染下着（明治時代）／黒羽二重地網に松千鳥小紋竹に雀文様小袖（明治時代／以上吉川コレクション）／藍縮緬斜取り小紋合せ染小袖（大正14年／小糸啓介氏寄贈）／薄緋縮緬地三重鯨小紋切取唐草散し訪問着（昭和47年／小糸啓介）	前期
大田垣蓮月の陶芸	秋篠小急須（70歳代）／万世急須（80歳代）／万世茶碗（84歳）／亀絵大香炉（60歳頃）／藤娘徳利（75歳頃）／鬼念仏徳利（75歳頃）／蓋物（70歳頃）／筆洗（70歳頃）／刷毛目蓋付向付（70歳頃）／皿（80歳）／自筆和歌（山家松風／81歳）／自筆和歌（80歳）	後期

◇第38回 1999年9月17日～12月14日 計121点

テーマ	資料名・作品名（作者）	期間
硯箱	秋草蒔絵硯箱／撫子菊蒔絵硯箱／源氏蒔絵柳箱形硯箱／源氏蒔絵硯蓋／重硯箱／人形硯（舞妓、猿、天神）／矢立	
教材・教具	小学高等読本（明治21年）／女学入門／女児私用文例（明治11年）／明治玉篇大全（明治23年）／節用集／絵手本／千代紙	
京の郷土玩具	伏見人形 天神・布袋・俵牛・でんぼ・菊座でんぼ／清水人形 豆人形・箱庭人形（都おどり）・箱庭人形（忠臣蔵）・毛たたき人形／祇園祭の長刀鉾・船鉾・神輿／壬生寺の起き上がり・長刀・撞木・振り棒・松明・壬生面／北野神社の牛車・万灯牛・堂内牛／真如堂の牛車／千本釈迦堂の面守・お多福面／吉田神社の節分面／京都のおやまさん／三宅八幡の麦わら細工・土鳩／鞍馬の首人形・ひねり土虎・阿吽の虎・竹虎・火祭りの松明／広隆寺の牛祭面／嵯峨面／嵯峨の人形硯 天神・小野小町・小野道風・人麻呂／山科毘沙門天の虎面・子持ち虎／伏見稲荷の狐の鉢巻・狐面／山崎の猪／石清水八幡の楠鳩・紙鯉／宇治の茶の木人形	

◇第39回 2000年3月16日～6月20日 計48点（前期：3/16～4/18、中期：4/20～5/16、後期：5/18～6/20）

テーマ	資料名・作品名（作者）	期間
食の貯蔵用具	唐櫃／桶／樽／壺／弁慶	
伏見人形	牛乗り天神／成田屋人形／徳須ちよろ／鯛乗り子供／対狐／駒乗り神馬／車曳き牛／米蔵にねずみ／神輿／布袋／まんじゅう喰い／船遊び／俵持ち力士／子守り／俵牛／飾り犬／淀川蒸気船／土鈴ほか	
近世絵画流派別シリーズ 〈原派・復古大和絵派〉	西湖図屏風（原在中）／還城楽図（原在明）／中井延清像（田中訥言）／御影祭図（冷泉為恭）	前期
	玉図（原在中・在正・在明）／新嘗祭図（原在明）／飾甲冑図（田中訥言）／年中行事絵巻模本（冷泉為恭）／月下合奏図（浮田一蕙）	中期
	三十六峯洛外景観図（原在中）／蹴鞠図（松）（原在明）／関羽將軍像（原在照）／柿本人麿像（冷泉為恭）／滝見女房図（浮田一蕙）	後期

※第34回～第39回の展示資料はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

②西 室

a. 世界の石器

- ・猿人の石器－5点・原人の石器－5点
- ・旧人の石器－8点
- ・北ヨーロッパ新石器時代の石器－17点
- ・大分県宮地前遺跡出土の石器－24点

b. 青森県石亀遺跡の縄文土器

土器－24点・石製品－7点

c. 平安京跡出土瓦－93点

＊詳細については『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

4-2 特別展示

(1) 自主企画展

① 1998年度

◇開館10周年記念特別展

京の江戸時代—町人の社会と文化—

会 期：1998年4月17日～5月17日（30日間）

休 室：5月6日

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：4月16日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・KBS京都・エフエム京都

担当者：大塚活美・山田邦和

概 要：江戸時代の京都について町人に焦点をあて、政治・経済・文化の繁栄の姿を紹介した。江戸時代の京都は経済が着実に発展し、生活が向上し、文化が栄えた時代で、京都は

江戸・大坂とともに三都の一つに数えられた。政治的には幕府の直轄都市に位置づけられ、所司代、後には町奉行が置かれ、住民レベルから見ると町を単位とする自治の仕組みが出来上がっていた。経済的には四



図録『京の江戸時代』表紙

十万の人口を抱える生産・消費都市としての面と、全国の経済を支える問屋や手工業者の集まる地であった。文化的には伝統文化を基盤にした町人文化の発達がみられた。このような江戸時代の京都の姿を、文書、記録、文献、木札、扁額、屏風、絵巻物、掛幅、版画、絵馬、工芸品、歴史資料、民具、考古資料、模型など多彩な資料によ

り展観した。

展示構成：第一部 幕府の直轄地・京都一公儀支配と町一

第二部 経済の繁栄—商いと手工業—

第三部 町人文化の開花—学術と諸芸—

第四部 エピローグ—近代への胎動—

作 品：福井家京枳座関係資料、東海道分間延絵図（以上、重文）、神家京秤座関係資料、今宮神社沢瀉鉾吹散（以上、京都市指定文化財）、京都絵図屏風、洛中洛外図屏風（歴博E本、鶴澤探索本）、町代改義提灯行列絵巻、千切屋治兵衛家訓・家定、三条油小路町西側・東側町並絵巻、大丸江戸店図絵馬、京都市内遺跡出土ヨーロッパ陶器片、糠唐箕、明親館扁額、古義堂文庫資料、山崎闇斎関係資料、明倫舎記扁額、池坊永代門弟帳、京中一目細見図、都百景、天保踊図屏風、下上加茂行幸図下絵など145件。

入場者：23,090人（1日平均770人）

講演会：別館講義室

4月18日 「近世京都の成立」

横田冬彦（京都橘女子大学教授）

4月25日 「近世における京文化の形成」

鎌田道隆（奈良大学教授）

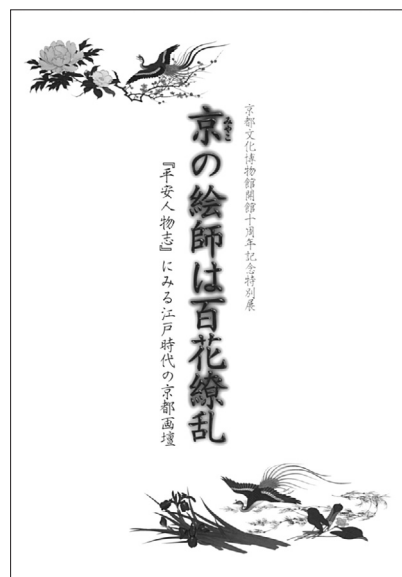
列品解説：4階会場

4月24日

大塚活美（当館学芸員）

5月8日

山田邦和（当館学芸員）



図録『京の絵師は百花繚乱』表紙

◇開館10周年記念特別展 京の絵師は百花繚乱

ー『平安人物志』にみる江戸時代の京都画壇ー

会 期：1998年10月2日～11月10日（39日間）

休 室：10月21日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：一般1,200円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：10月1日

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・歴史街道推進協議会・KBS京都・エフエム京都

特別協賛：京都文化財団賛助会・平安建都1200年記念協会

担当者：野口 剛・大西基子・長舟洋司

概 要：江戸時代の京都が、円山応挙や池大雅、伊藤若冲、与謝蕪村、曾我蕭白、呉春など日本絵画史上に名高い優れた画家を輩出したことはよく知られている。また、そうした著名な画家に関する研究、あるいは展覧会は数多くなされてきた。しかしその反面、それ以外の画家となると、調査・研究ともに大幅に遅れており、その作品が展覧される機会も少ない。本展は、江戸時代後半の京都で発行された人名録『平安人物志』を手がかりに、当時京都で活躍していた画家を悉皆的に調査し、また、そうした調査をベースに、可能な限り多くの画家の作品を展示して、当時の京都画壇の全貌を示すことを試みたものである。

展示構成：プロローグ『平安人物志』以前の京の絵師

第1部 新時代の幕開けー巨匠たちとその周辺ー

第2部 京都の長崎派

第3部 流派の形成・画壇の成熟

第4部 寄合描きの時代

第5部 メディアの中の京の絵師

第6部 文人画の世界

第7部 御所と桂宮邸の障壁画

第8部 幕末の情景・近代への架け橋

作 品：尾形光琳「太公望図屏風」、円山応挙「牡丹

に孔雀図」、「保津川図屏風」、池大雅「柳下童子図屏風」、曾我蕭白「月夜山水図屏風」、長沢芦雪「群猿図襖」、呉春「白梅図屏風」、円山応瑞「双鶏図衝立」（以上、重文）、与謝蕪村「草廬三顧・蕭何追韓信図屏風」、長沢芦雪「月夜山水図」（以上、重美）、長沢芦洲「虎に岩浪図襖」（府指定文化財）、京都御所ならびに二条城の障壁画、『平安人物志』原本を含む269点。

入場者：33,156人（1日平均850人）

講演会：3階映像ホール

・10月10日「幕末の京都画壇」

冷泉為人（大手前女子大学教授）

・10月17日「『平安人物志』にみる京都画壇」

佐々木丞平（京都大学教授）

シンポジウム：3階映像ホール

・10月24日「京都の絵師 いま・むかし」

上村淳之（日本画家）

太田垣實（京都新聞社美術記者）

小林丈宏（京都市歴史資料館研究員）

榊原吉郎（京都市立芸術大学教授）

田島達也（北海道大学助教授）

列品解説：4・3階会場

・10月31日／11月7日

野口 剛（当館学芸員）

実行委員会：全体会合は1997年3月24日、9月24日と1998年4月27日の3回行った。委員は研究者と主催各機関の関係者で構成した。研究者の委員は次の通りである。

委員長ー佐々木丞平（京都大学教授）

委員ー伊藤 太（京都府立丹後郷土資料館技師）、岩佐新一（岐阜県博物館学芸員）、小嵯善通（京都市文化財保護課技師）、黒川修一（京都造形芸術大学助教授）、鈴木幸人（大阪市立美術館学芸員）、田島達也（北海道大学助教授）、中部義隆（大和文華館学芸員）、松尾芳樹（京都市立芸術大学芸術資料館学芸員）、横谷賢一郎（大津市歴史博物館学芸員）、冷泉為人（大手前女子大学教授）

② 1999年度

◇開館10周年記念特別展

京の雅・和歌のこころ 冷泉家の至宝展

会 期：1999年4月3日～5月16日（38日間）

休 室：4月7日・14日・21日・28日、5月6日・12日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：一般 1,200円 大高生 800円 中小生 500円

特別鑑賞日：4月2日

主 催：京都府・京都文化博物館・冷泉家時雨亭文庫・NHK 京都放送局・NHK きんきメディアプラン

共 催：朝日新聞社

後 援：文化庁・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都商工会議所・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

協 賛：京セラ株式会社・日動火災海上保険株式会社

制作協力：NHK プロモーション

担当者：藤本孝一・片岡 肇・土橋 誠

概 要：冷泉家は、平安・鎌倉時代の歌人の藤原俊成・定家を祖に持つ「和歌の家」として、今日までほぼ八百年にわたってその伝統を守り続けてきた。冷泉家で「御文庫」と言われる蔵には、膨大な数の貴重な典籍類が納められており、「御影」と呼ばれる冷泉家歴代の画像や柿本人麻呂などの和歌神の画像などとともに、大切に保管されてきた。また、冷泉家には公家の日常生活を彩ってきた年中行事の多くが、調度類とともに伝えられ、四季の移り変わりの中で「生きた文化財」として今日まで継承されている。この展覧会は、現存する最古の公家住宅として重要文化財に指定されている冷泉家住宅の解体修理を機会に、典籍類をはじめとして、衣装・調度品、そしてこれまで門外不出とされてきた「御影」などによって、冷泉家に受け継がれてきた公家文化の全貌を、紹介したものである。

展示構成：第1部 冷泉家の年中行事



「冷泉家の至宝展」ちらし

第2部 冷泉家の古典籍

第3部 冷泉家の歴史

作 品：古来風躰抄、古今和歌集、後撰和歌集、(以上、国宝)、正中二年七夕御会和歌懐紙、元徳二年七夕御会三首和歌懐紙、周防内侍集、明月記、公卿補任、拾遺愚草、為家讓状、和歌初学抄、続後撰和歌集、文保百首、後拾遺和歌集、新古今和歌集、素性集、時明集、宗于集、遍照集、高光集、小町集、兼輔集、貫之集、散木奇歌集、伊勢物語(以上、重文)、正月の床飾り、雛飾り、端午の節句飾り、俊成定家為家図など254件。

入場者：128,026人（一日平均3,369人）

講演会：別館ホール

・4月10日「冷泉家の伝統と文化」

冷泉貴実子（冷泉家当主夫人）

・4月17日「冷泉家の和歌披露」

冷泉為人と時雨亭文庫のみなさん

解説 冷泉貴実子

・4月24日「冷泉家の調査 18年―古典籍を中心に―」

藤本孝一（文化庁主任文化財調査官・前当館主任学芸員）

・5月1日 「冷泉家の歴史と文化」

冷泉為人（冷泉家当主・池坊短期大学学長）

◇京都洋画のあけぼの

会 期：1999年9月25日～10月24日（29日間）

休 室：10月20日

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：9月24日

主 催：京都府・京都文化博物館・朝日新聞社

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局

担当者：長舟洋司・大西基子・野口剛

概 要：日本の近代美術の展開をふりかえるとき、京都は各方面に実に多彩な美術家を輩出していることにあらためて驚かされる。近代美術の大きな一翼を担ってきた京都にあっても、とりわけ洋画界は、すぐれて個性的な作家を数多く生み出してきている。しかし、京都の洋画がその成果を得るまでの道程は、必ずしも平坦ではない。京都には長い美術の伝統があるものの、洋画に対する一般の無理解、受容素地の欠如、また一方で洋画家自身には技術の正確な取得など、近代の初期の先駆者は、様々な場面で困難な課題に直面しなければならなかった。その困難は、洋画が身近なものとして認知される今日では、容易に実感しがたい。洋画が社会に定着し、京都が傑出した数々の才能を送り出すまでには、それらのひとつひとつが克服されてゆかなければならなかった。本展覧会は、京都の初期洋画の先人が取り組んだ試行錯誤の刻苦を経て、京都に正則の洋画教育機関が設置されるまでの道のりを、これまで一般にはほとんど目にふれる機会のなかった貴重な作品と資料でたどり、近代の新しい文化である洋画が、京都でどのように描かれ、受け入れられ、根付いていったのか、その過程を跡づける試みであった。

展示構成：第1部 田村宗立と京都府画学校

第2部 京都府画学校西宗廃止から関西美術院まで

第3部 関西美術院の設置

作 品：小山三造「老人像」、田村宗立「弁慶曳鐘図」、疋田敬蔵「溪流」、原撫松「横向婦人」、森屋熊夫「新撰小学習画帖」、田中九衛「日正大聖人像」、中川堅一「中川雪肖像」、三輪大次郎「漁夫捕網」、大八木一郎「風景」、森三美「権藤種能像」、中村勝次郎「川辺の夕暮」、巨勢小石「小学毛筆画帖」、エリザベス・ウエットン「御所御殿内部」、伊藤快彦「百合と果物」、桜井忠剛「能道具図」、印藤真楯「古代応募兵図」、守住勇魚「守住貴魚肖像」、小笠原豊涯「茶摘み」、牧野克次「落葉」、山内愚僊「金屏」、松原三五郎「藤田傳三郎氏像」、浅井忠「安治川風景」、鹿子木孟郎「某末亡人の肖像」、都鳥英喜「籠屋」、寺松国太郎「化粧部屋」、梅原龍三郎「下加茂の森」、安井曾太郎「自画像」、黒田重太郎「江州船木にて」、西川純「人物立像」など、136点。

入場者：7,363人（一日平均254人）

講演会：別館講義室

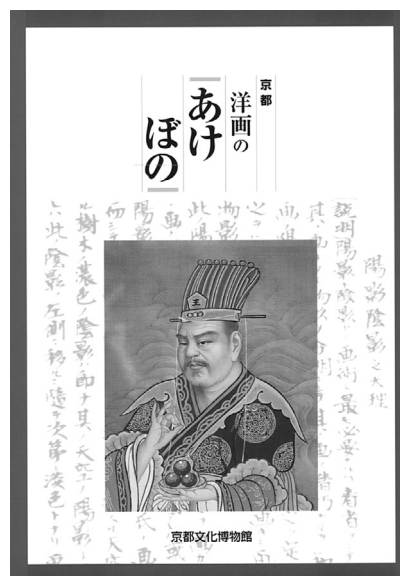
・10月2日「明治の京都洋画界

―浅井忠を中心に―

島田康寛（京都国立近代美術館学芸課長）

・10月9日「田村宗立と近代初期の京都の洋画」

長舟洋司（本館学芸員）



図録『京都洋画のあけぼの』表紙

(2) 共催展等

① 1998年度

◇豊太閤没後400年記念

秀吉と京都—豊国神社社宝展

会 期：1998年5月28日～6月28日（31日間）
休 室：6月17日
入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円
特別鑑賞日：5月27日

主 催：豊太閤四百年祭奉賛会豊国会・豊国神社・
京都文化博物館・読売新聞社大阪本社・読
売テレビ

後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都
市教育委員会・京都商工会議所・京都府観
光連盟・京都市観光協会・平安建都1200
年記念協会・歴史街道推進協議会・エフエ
ム京都

特別協力：妙法院門跡

監 修：森谷尅久

担当者：片岡 肇

概 要：豊臣秀吉の京都改造をプロローグとし、妙
法院門跡の協力を得て復元した旧豊国社の
社宝と現在の豊国神社の社宝のうち太閤ゆ
かりの品々を中心に紹介した豊太閤の没後
400年を記念する展覧会。

出 品：ポルトガル国インド副王信書（国宝）、鉄燈
籠、秋草蒔絵文台、桐鳳凰文蒔絵唐櫃、薄
桐菊紋蒔絵唐櫃、桐唐草紋蒔絵唐櫃、豊国
祭礼図屏風、薙刀直シ刀、黄紗綾地菊桐紋
付胴服（以上、重文）、豊臣秀吉画像、京
都総曲輪御土居絵図、聚楽第行幸図屏風な
ど82点。

入場者：12,866人（1日平均415人）

◇第16回上野の森美術館大賞展・関西展

会 期：1998年7月9日～7月15日（7日間）

会 場：5階展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都文化博物館・日本美術協会・上野の森
美術館・彫刻の森美術館・フジサンケイ
グループ

後 援：文化庁・京都府・関西テレビ放送

協 賛：日本アイ・ピー・エム株式会社

担当者：石沢誠司・野口 剛

概 要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から
関西出身者のものを中心に展示。

作 品：笹田敬子「The Sound」、塚本英一「記憶

の中の残像B」、西宮房子「錯綜する時間が
せまる」、森井宏青「鉄の記憶Ⅱ」、出射
茂「風の吹く日」、橋本美智子「私的風景
Ⅰ」など87点。

入場者：1,475人（1日平均211人）

◇一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査開始30周年・一乗谷朝倉氏遺跡特別史跡指定25周年記念巡回展 越前朝倉氏・一乗谷 一眠りからさめた戦国の城下町一

会 期：1998年7月10日～8月11日（33日間）

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生500円

主 催：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・京都文
化博物館・朝日新聞社

後 援：文化庁・京都府・京都市・福井市・NHK京
都放送局

担当者：植山 茂

概 要：戦国時代の城下町である福井県一乗谷朝倉
氏遺跡の調査成果と関連資料を展示。

作 品：朝倉義景画像（重文）、朝倉孝景画像、朝倉
孝景書状、朝倉孝景免許状、考古資料など
約350点。

入場者：11,512人（1日平均349人）

講演会：別館講義室

・7月12日「戦国城下町の生活と文化」

脇田晴子（滋賀県立大学教授）

朝倉象棋大会：別館ホール

・7月19日「指してみよう朝倉象棋（ショウギ）」

◇源氏おんな物語展

—愛に生き、自分を探し続けた女たち—

会 期：1998年8月21日～9月20日（27日間）

休 室：毎週水曜日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催：京都文化博物館・日本経済新聞社

後 援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都
市教育委員会・京都商工会議所・京都府観
光連盟・京都市観光協会・平安建都1200
年記念協会・NHK京都放送局・テレビ大
阪・エフエム京都

協 賛：凸版印刷

担当者：藤本孝一・片岡 肇・大塚活美

概 要：源氏物語に登場する女性に注目しつつ、そ
れを主題とする絵画、工芸、書などを幅広
く展示し、源氏物語の受容史、源氏絵の魅
力などを展覧した。

作 品：源氏物語奥入、紫式部日記絵詞（以上、国

宝)ほか、源氏物語に関する絵画、工芸、書など73件。

入場者: 26,743人(1日平均990人)

◇封印された南宋陶磁展—なぞのタイムカプセル—

会 期: 1998年11月20日～12月20日(30日間)

休 室: 12月16日

入場料: 大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催: 京都文化博物館・朝日新聞社

後 援: 京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都

協 力: 日中文物事業協議会

担当者: 定森秀夫

概 要: 1991年、中国四川省遂寧市郊外の金魚村で、地下1mの穴に整然と埋められていた南宋代(13世紀)の陶磁器や青銅器・石器、計1005点が発見された。それらの中から、超一級品ばかり136点を展示し、併設して平安京跡出土の南宋時代の青磁・青白磁も展示した。

作 品: 龍泉窯青磁酒会壺・香炉、景德鎮青白磁梅瓶・盤・水注、定窯風白磁碗、青銅器など136点。

入場者: 15,084人(1日平均503人)

講演会: 別館ホール

- ・11月21日「南宋の龍泉窯青磁」
出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長)
- ・11月28日「四川省遂寧市南宋陶磁発見の意義」
弓場紀知(出光美術館学芸課長)

◇'99京都美術工芸展

会 期: 公募部門 1999年1月4日
～1月24日(20日間)

選抜部門 1998年12月17日
～1999年2月16日(54日間)

休 室: 1998年12月28日
～1999年1月3日、1月20日

会 場: 4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料: 大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催: 京都府・京都文化博物館

後 援: 京都日本画家協会・京都工芸美術作家協会・京都彫刻家協会・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都

担当者: 古郷彰治・大西基子・洲鎌佐智子・野口 剛
概 要: 明日の美術工芸界を担う気鋭の作家を京都

から発信していく総合的な展覧会。

作 品: (公募部門) 齊藤 和「傍らに」、寺川剛央「紅粉彩線刻文陶」、津村健一「夏の質量」、石井麻貴「森に還る樹木」など102点。

(選抜部門) 河股幸和「時空」、水口裕務「源流」、中川周士「Link-Ring-Link」、藤野靖子「出雲国風土記」、高坂嘉津幸「灰白陶」、生田丹代子「Wave-29」など54点。

入場者: 4,487人(1日平均224人)

◇第6回国際テキスタイルコンペティション'99

—京都— 染織の感性—21世紀へのメッセージ

会 期: 1999年2月1日～2月14日(14日間)

入場料: 大人800円 大高生600円 中小生400円

主 催: 国際テキスタイルフェア(ITF)開催委員会

共 催: 京都府・京都市・京都商工会議所・京都文化博物館・平安建都1200年記念協会ほか
後 援: 通商産業省・中小企業庁・外務省・文化庁・京都新聞社・NHK京都放送局ほか

協 賛: 日本万国博覧会記念協会

担当者: 古郷彰治・洲鎌佐智子

概 要: テキスタイルの国際的な公募展。世界38カ国、568名、790点の応募作品の中から選ばれた、これからの染織の可能性を示唆する斬新な技法やデザインの作品を展示。

作 品: 藤本哲夫「WORK'97-XII」、KLANCIC, Anda「Embraced by Nature」、BIJLENGA, Marian「RED DOTS」など78点。

入場者: 4,956人(1日平均354人)

◇中国河南省八千年の至宝 大黄河文明展

会 期: 1999年2月27日～3月22日(23日間)

休 室: 3月17日

入場料: 大人1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催: 京都文化博物館・日本経済新聞社・日本中国文化交流協会・中国河南省

後 援: 外務省・文化庁・中国大使館・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局

特別協賛: 信越化学工業

協 賛: 日本コロムビア

協 力: 日本航空・ヤマト運輸

担当者: 南 博史

概 要: 中国河南省は、黄河の中流・中原地域に位置し、黄河文明発祥の地といわれている。1985年5月に開館した河南博物院所蔵の

一級文物や最新の出土資料を中心に、中国国外未公開のものを含む約200点を展示。8000年におよぶ黄河文明の軌跡をたどった。

作 品：饕餮文乳釘文方鼎、刻辞卜骨、銅編鐘、「王子午」鼎、金縷玉衣、鍍金銅麒麟、彩絵陶灯、「関中侯印」金印、楽舞文黄釉扁壺、如来立像、白磁象首壺、三彩駱駝、三彩陶舍利塔、青花雲龍文玉壺春瓶など105件。

入場者：23,002人（1日平均1,000人）

講演会：別館ホール

・3月6日「漢墓副葬品の造型」

曾布川 寛（京都大学人文科学研究所教授）

・3月13日「考古学からみた中国文明の成立」

樋口隆康（奈良県立橿原考古学研究所長）

その他：画像データベースによる展覧会案内公開展示（エントランスホール）

②1999年度

◇インド航路発見500周年記念・日葡文化交流特別展 ポルトガル—栄光の500年展

会 期：1999年5月29日～6月27日（29日間）

休 室：6月16日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：大人1,000円 大高生800円 中小生400円

特別観賞日：5月28日

主 催：京都文化博物館・ポルトガル文化省「ポルトガル—栄光の500年展」実行委員会・産経新聞社

後 援：外務省・文化庁・ポルトガル大使館・日本ポルトガル協会・大阪日本ポルトガル協会・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・大阪新聞社・夕刊フジ・サンケイスポーツ・サンケイリビング新聞・関西テレビ放送・ラジオ大阪・KBS京都・エフエム京都

企 画：東京富士美術館

協 力：全日空

担当者：野口 剛・古郷彰治

概 要：ポルトガルの探検家ヴァスコ＝ダ＝ガマによるインド航路発見（1498年）500周年を記念して、大航海時代から現代にいたるポルトガルの歴史を、旧王室コレクション

を含む絵画、彫刻、工芸、歴史資料など約100点によってたどった。

作 品：南蛮屏風、ポルトガル王王冠、ポルトガル国勲章、レオノーレ王妃像など約100点。

入場者：98,979人（1日平均約3,413人）

◇第17回上野の森美術館大賞展・関西展

会 期：1999年6月15日～6月20日（5日間）

休 室：6月16日

会 場：5階展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：日本美術協会・上野の森美術館・彫刻の森美術館・フジサンケイグループ

特別協力：京都文化博物館

後 援：文化庁・京都府・関西テレビ放送

協 賛：日本アイ・ピー・エム株式会社

概 要：上野の森美術館大賞展の入選作品の中から関西出身者のものを中心に展示。

作 品：小林努「ザグレブ」、沖田進「…の女」、小原一子「言葉Ⅱ」、菊池達也「DNA fastenerⅠ」、佐々木正「餐」、伊藤孝「何によって」など77点。

入場者：1,522人（1日平均304人）

◇語りはじめた土の象 鈴木治の陶芸

会 期：1999年7月8日～8月8日（31日間）

休 室：7月14日

入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円

特別鑑賞日：7月7日

主 催：京都文化博物館・日本経済新聞社

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会

協 賛：興亜火災海上保険

担当者：洲鎌佐智子・石沢誠司

概 要：前衛的陶芸家グループ「走泥社」の中心的・主導的な役割を果たしてきた鈴木治の穏やかなフォルムの中に鋭い感性が秘められた詩情あふれる独特の世界を紹介した。

作 品：クリスマス（1949年）、作品（1954年）、泥像（1965年）、馬（1982年）、山の上にかかる雲（1983年）、夕照佳人（1994年）、春の木・萌芽（1998年）など136点。

入場者：8,179人（1日平均264人）

講演会：京都商工会議所3Fホール

・7月10日

鈴木 治

◇没後50年記念 美の精華 上村松園展

会 期：1999年8月15日～9月15日（31日間）
入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円
特別鑑賞日：8月14日

主 催：京都文化博物館・朝日新聞社

後 援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局・朝日放送

協 賛：同和火災

協 力：松柏美術館

担当者：大西基子・野口 剛

概 要：京都に生まれ育ち、女性画家の先駆けとして活躍した松園の、上品でたおやかな女性を描いた名品を展示。

作 品：「娘深雪」（1914年）、「待月」（1926年）、「鴛鴦髻」（1926年）など、本画77点、下絵13点、愛用品を展示。

入場者：53,532人（1日1,727人）

講演会：別館講義室

・8月28日「象徴表現の中の人物」

上村淳之（日本画家・京都市立芸術大学副学長）

◇茶の湯一にほんの心

表千家・裏千家・武者小路千家・藪内家

会 期：1999年11月3日～12月5日（32日間）

休 室：11月17日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：大人1,200円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：11月2日

主 催：京都文化博物館・京都新聞社

後 援：文化庁・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・NHK京都放送局

協 賛：JR東海・東京海上火災保険・東芝・ミサワホーム

特別協力：表千家・裏千家・武者小路千家・藪内家

担当者：石沢誠司・片岡 肇・洲鎌佐智子

概 要：日本の茶道を代表する表千家・裏千家・武者小路千家・藪内家は、京都に生まれ育ち、400年を経た平成の今に茶の湯の心を伝えている。本展は四家合同の本格的な茶の湯展として、各家秘蔵の茶道具や史料を中心に構成された展覧会である。主な内容は、(1) 千利休関係資料、(2) 4家の成立と近世の歴代関係資料、(3) 宗旦の茶室復元、(4) 各家の行事取り合わせ、(5) 各家近現

代の好み物で、これにより茶の湯の歴史を振り返るとともに、あらためて「にほんの心」を探ろうと試みた。

作 品：長谷川等伯筆・春屋宗園賛「千利休画像」（重要文化財）、燕庵名物 胡銅象耳花入銘「姫瓜」（本歌）、剣仲画像、宗旦筆「道安画像」、与次郎作「利休好 湯の釜」、長入作「如心斎好 嶋台茶碗」、唐物茶壺 銘「傘」、直斎手造「黒楽茶碗 銘熊坂」など250点。

入場者：47,076人（1日1,471人）

◇2000京都美術工芸展

会 期：公募部門 1999年12月18日

～2000年1月16日（23日間）

選抜部門 1999年12月11日

～2000年2月15日（58日間）

休 室：1999年12月28日～2000年1月3日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：大人700円 大高生500円 中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館

後 援：京都日本画家協会・京都工芸美術作家協会・京都彫刻家協会・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都

担当者：大西基子・洲鎌佐智子・野口 剛（公募展）、長舟洋司・古郷彰治（選抜展）

概 要：明日の美術工芸界を担う気鋭の作家を京都から発信していく総合的な展覧会

作 品：（公募部門）米田由実「EX-1999」、阪井義彦「散骨器／SPACE URNS」、埴峰夫「聖地に続く街（ペナレス）」、下出祐太郎「漆屏風『遊 2000』」など101点。
（選抜部門）小池一範「窓のある風景」、児玉靖枝「room with yellow」、津村健一「LIFE」、長谷川直人「plant」、兼先恵子「惑」、田辺由子「Endless Net Way-WAVE」など37点。

入場者：5,099人（1日平均222人）

◇ペルー移民100周年記念

悠久の大インカ展 ー哀しみの美少女フワニーター

会 期：2000年1月29日～2月29日（31日間）

休 室：2月16日

入場料：大人1,200円 大高生900円 中小生600円

主 催：京都文化博物館・京都新聞社・NHK きんきメディアプラン

後 援：外務省・文化庁・在日ペルー共和国大使館・京都府教育委員会・京都市教育委員

会・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・NHK京都放送局
 協力：ペルー国立人類考古学博物館・アンデス聖地博物館・サンタマリアカトリック大学
 担当者：植山 茂
 概要：凍結状態の少女遺体とその副葬品を中心に、インカ文化期とそれ以前のアンデス諸文化期の資料で構成。
 作品：フワニータ（ミイラ）ほか、金属器・土器・染織品など考古資料116点。
 入場者：60,645人（1日平均 1,956人）

◇京都新聞創刊120年記念特別展覧会

異国の風—江戸時代 京都が見たヨーロッパ—
 会期：2000年3月10日～4月9日（30日間）
 休室：3月15日
 入場料：大人1,000円 大高生700円 中小生400円
 主催：京都文化博物館・京都新聞社
 後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・NHK京都放送局・KBS京都

担当者：鈴木忠司・山田邦和

概要：鎖国下の京都は、思いの外さまざまなかたちでヨーロッパの文物がもたらされていた。このような江戸時代京都の「ヨーロッパ」を美術工芸作品を中心に紹介した。

作品：末吉船図絵馬、鶏鉾見送トロイヤの戦争物語図タペストリー（以上、重文）、南蛮屏風、都の南蛮寺図扇面、洛中洛外図屏風、槐記、エレキテル、金唐皮たばこ入れ、阿蘭陀毛氈、洋船図、金平糖製造釜、南蛮菓子復原模型など192件。

入場者：19,065人（1日平均636人）

講演会と対談：別館ホール

・3月18日「京都と異国の風—京菓子をを中心に」
 赤井達郎（奈良教育大学名誉教授）
 「私と南蛮文化」山本容子（版画家）
 対談コーディネーター・
 太田垣 實（京都新聞社美術記者）

*4階特別展示室だけで開催したものは会場の記述を省略した。

1998年度特別展の開催状況一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態	備考
京の江戸時代	1998. 4.17～1998. 5.17	30	23,090	770	自主展	
秀吉と京都 豊国神社社宝展	1998. 5.28～1998. 6.28	31	12,866	415	共催展	
越前朝倉氏・一乗谷	1998. 7.10～1998. 8.11	33	11,512	349	共催展	
源氏おんな物語展	1998. 8.21～1998. 9.20	27	26,743	990	共催展	
京の絵師は百花繚乱	1998.10. 2～1998.11.10	39	33,156	850	自主展	
封印された南宋陶磁展	1998.11.20～1998.12.20	30	15,084	503	共催展	
'99京都美術工芸展	1999. 1. 4～1999. 1.24	20	4,487	224	共催展	
第6回国際テキスタイル コンペティション '99～京都～	1999. 2. 1～1999. 2.14	14	4,956	354	共催展	
大黄河文明展	1999. 2.27～1999. 3.22	23	23,002	1,000	共催展	
計 9件		247	154,896	627		

1999年度特別展の開催状況一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態	備考
冷泉家の至宝展	1999. 4. 3～1999. 5.16	38	128,026	3,369	自主展	
ポルトガル 栄光の500年展	1999. 5.29～1999. 6.27	29	98,979	3,413	共催展	
語りはじめた土の象 鈴木治の陶芸	1999. 7. 8～1999. 8. 8	31	8,179	264	共催展	
美の精華 上村松園展	1999. 8.15～1999. 9.15	31	53,532	1,727	共催展	
京都洋画のあけぼの	1999. 9.25～1999.10.24	29	7,363	254	自主展	
茶の湯～にほんの心	1999.11. 3～1999.12. 5	32	47,076	1,471	共催展	
2000京都美術工芸展	1999.12.18～2000. 1.16	23	5,099	222	共催展	
悠久の大インカ展	2000. 1.29～2000. 2.29	31	60,645	1,956	共催展	
異国の風	2000. 3.10～2000. 4. 9	30	19,065	636	共催展	
計 9件		274	427,964	1,562		

(3) 特別陳列

① 1998年度

◇木の民具と玩具

会 期：1998年12月17日～1999年3月16日（81日間）

会 場：別館1階東室

概 要：木を素材とする民具と郷土玩具97点を展示。

テーマ	資 料 名（収集地）
民 具	弁当箱・角樽・水筒・お櫃・弁当行李・捏ね鉢・盆・芋洗桶・大足・松台・砵・天秤棒（以上、京都市）／・櫛・天鋤・鉤（以上、宮津市）／檜笠・屑簀（亀岡市）／四鴨（宇治市）／反取鎌・唐棹（福知山市）／捻苧（京都府京北町）／船筆筥（丹後）／堺重・棹秤
郷土玩具	人形車・臼（旭川市）／八幡駒（八戸市）／木馬（弘前市）／木下駒（仙台市）／こま・弥次郎のえじこ（白石市）／作並の臼・作並のえじこ（宮城県宮城町）／笹野彫「えびす大黒」「亀」「お鷹ぼっぽ」・「お鷹ぼっぽ」・小野川のこま（以上、米沢市）／三春駒（三春市）／村松の宝船・村松の真弓馬（茨城県東海村）／神輿（館山市）／芝神明の千木筥・亀戸のうそ（東京都）／箱根細工（神奈川県箱根町）／羽子板（中野市）／八日堂の蘇民将来（上田市）／二十村の木牛（新潟県山古志村）／石清水八幡の楠鳩（八幡市）／鞍馬の松明・北野天神の堂内牛・北野天神の牛車・真如堂の牛車（以上、京都市）／米搗車（和歌山市）／鯨船（和歌山県那智勝浦町）／尾道の田面船（尾道市）／キリン獅子（鳥取市）／藍搗きお蔵（徳島市）／神輿（松山市）／鯨船・鯨車（室戸市）／うそ（大宰府市）／博多の板獅子福岡市）／清水観音の雉子車（福岡県瀬高町）／米搗車・谷尾崎の雉子車（熊本市）／日奈久の板相撲・日奈久のべんた人形・日奈久の雉子車（八代市）／北山田の雉子馬（大分県玖珠町）／久峰観音のうずら車（宮崎県佐土原町）／国分八幡の鯛車・国分八幡の化粧箱・国分八幡の羽子板（鹿児島市）／徳之島犬田布の臼と杵（鹿児島県徳之島）／沖永良部和泊のたたきこま（鹿児島県和泊町）／那覇のハーリー船（那覇市）

◇雛人形展

会 期：1999年2月19日～3月25日（34日間）

会 場：3階美術工芸展示室

概 要：時代の流れを追った雛人形など22点を展示。

名 称	時 代	備 考	名 称	時 代	備 考
立 雛	江戸時代	購 入	古今雛	江戸時代	戸祭乗泰氏寄贈
立 雛	江戸時代	吉川観方コレクション	古今雛	江戸時代	松尾賢一郎氏寄贈
立 雛	江戸時代	吉川観方コレクション	五人囃子	江戸時代	吉川観方コレクション
立 雛	江戸時代	堂本元次氏寄贈	五人囃子	江戸時代	吉川観方コレクション
立 雛	江戸時代	堂本元次氏寄贈	雛人形	明治末～大正	取 得
元禄雛	江戸時代	吉川観方コレクション	陶器雛	明治時代	伊藤昭子氏寄贈
元禄雛	江戸時代	購 入	おぼこ雛	大正時代	高須春枝氏寄贈
享保雛	江戸時代	吉川観方コレクション	有職面竹雛	昭和37年	仁田壽子氏寄贈
次郎左衛門雛	江戸時代	吉川観方コレクション	花車	江戸時代	吉川観方コレクション
有職雛	江戸時代	吉川観方コレクション	雛道具「おくどさん」	江戸時代	吉川観方コレクション
有職雛	江戸時代	吉川観方コレクション	雛道具「台所」	大正時代	小林雛子氏寄贈

② 1999年度

◇金属の民具と玩具

概 要：金属を素材とする民具と郷土玩具49件108点を展示。

会 場：別館1階東室

会 期：1999年12月16日～2000年3月14日（81日間）

テーマ	資 料 名（収集地）
民 具	鏡・薬罐・銚子・パン焼器・茶釜・弁当箱・煙草盆・松台・ランプ・燭台・湯湯婆・金扱・大根こじ・叉鋤・穴線・看板・花立等の仏具（以上、京都市）／鏡（京都府南山城村）／ランプ・木挽鋸（宮津市）／熊手（長岡京市）／あんどん・若布鎌・天草突・サザエやす（以上、京都府丹後町）／薬研（守山市）／鋸鎌
郷土玩具	ブリキ玩具「金魚」「亀」「ナイフ」「水鉄砲」「ガラガラ」「笛」「福助太鼓たたき」／針金細工「三輪車」「ピストル」「トンボ」／鉛メッコ／一輪車／ペイゴマ／ブリキゴマ／鉄輪コマ／真鍮コマ／幻灯機／石垣島の三味線
歴史資料	伝俗御門変銃弾／銅銭／東京オリンピック記念メダル（金・銀・銅）／東京オリンピック記念バッジ

◇雛人形と市松人形展

会 場：3階美術工芸展示室

会 期：2000年2月17日～3月14日（27日間）

概 要：江戸から昭和初期までの雛人形と市松人形
27点を展示。

名 称	時 代	備 考	名 称	時 代	備 考
立 雛	江戸時代	購 入	市松人形（童児）	明治時代	吉川観方コレクション
立 雛	江戸時代	堂本元次氏寄贈	市松人形（童児）	明治時代	吉川観方コレクション
立 雛	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童児）	明治時代	吉川観方コレクション
元禄雛	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童児）	明治時代	吉川観方コレクション
享保雛	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童児）	明治時代	吉川観方コレクション
次郎左衛門雛	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童女）	明治時代	吉川観方コレクション
有職雛	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童女）	明治時代	中村智子氏寄贈
古今雛	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童女）	明治時代	種田蝶子氏寄贈
陶器雛	明治時代	伊藤昭子氏寄贈	市松人形（童児）	大正時代	小松きよ氏寄贈
雛人形	昭和初期	津田喜久子氏寄贈	市松人形（童女）	大正時代	小松きよ氏寄贈
市松人形（童女）	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童女）	大正時代	小松きよ氏寄贈
市松人形（童児）	江戸時代	吉川観方コレクション	市松人形（童女）	大正～昭和初期	吉川観方コレクション
市松人形（幼児）	明治時代	吉川観方コレクション	市松人形（少女）	大正～昭和初期	吉川観方コレクション
市松人形（幼児）	明治時代	吉川観方コレクション			

※特別陳列の展示資料はすべて京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）

（4）京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体験できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は（1）展示会場となる文化施設の事前調査、（2）展示作品の選定、（3）会場での展示指導、などにおいて協力している。

年度	主 催 者	期 間	開催場所	展示内容
1998年度	京都府公園緑地課	1998. 4.25～ 5. 5	けいはんなみどりのギャラリー	「いのち賛歌」から13点
	綾部市教育委員会	1998. 5. 1～ 5. 7	綾部市I・Tビル	「京の絵本」原画から50点
	京都府公園緑地課	1998.10. 3～11. 3	けいはんなみどりのギャラリー	「いのち賛歌」から13点
	園部町教育委員会	1998.11. 3～11.29	園部町園部文化博物館	「いのち賛歌」から20点
	(財)やわた市民文化事業団	1998.11.20～11.29	八幡市文化センター	「京の四季」から24点
1999年度	京都府公園緑地課	1999. 4.29～ 5.16	けいはんなみどりのギャラリー	「京の四季」から15点
	木津町教育委員会	1999. 5.21～ 6. 4	木津町中央図書館	「京の絵本」原画から36点
				歴代清水六兵衛作品7点
	園部町教育委員会	1999. 6.12～ 7.11	園部町園部文化博物館	向井潤吉作品19点
	園部町教育委員会	1999. 9.18～10.17	園部町園部文化博物館	歴代清水六兵衛作品40点
	京都府公園緑地課、けいはんな公園公社	1999.10.23～11. 7	けいはんなみどりのギャラリー	「いのち賛歌」から13点
	(財)やわた市民文化事業団	1999.11.11～11.16	八幡市文化センター	「いのち賛歌」から15点

4-3 映画・ハイビジョン

（1）映画常設上映

①1998年度

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
1998. 4. 5～ 4.27	春の新収蔵作品特集	噂の娘／女人哀愁／樋口一葉／お父さんはお人好し／たけくらべ／黄色いからず／竜馬暗殺	14	28	1,677
1998. 5. 1～ 5.23	日本映画の青春 一映画のあけぼの	弥次喜多善光寺詣り／尾上松之助葬儀／路上の靈魂／実録忠臣蔵／祇園小唄絵日傘舞ひの袖／マキノ省三葬儀の実況／関取千両幟／汗／柳生二蓋笠	14	28	878
1998. 5.24～ 6.15	日本映画の青春 一スター・プロダクション	右門一番手柄 南蛮幽霊／臉の母／男達ばかり／瀧の白糸／赤西蛸太／鞍馬天狗 龍攘虎搏の巻／宝の山に入る退屈男	14	28	1,127

1998. 6.19～ 7.20	日本映画の青春 ーキネマの天地・ 松竹蒲田撮影所	不如帰／森の鍛冶屋／若者よなぜ泣くか／落第は したけれど／マダムと女房／夜ごとの夢／金色夜 叉／隣りの八重ちゃん／春琴抄 お琴と佐助／人 生のお荷物／東京の宿	20	40	1,753
1998. 6.29・ 6.30	『ザ・ハリウッド』特別試写会	ザ・ハリウッド	2	2	265
1998. 7.24～ 8.29	日本映画の青春 ー京都、日本のハリウッド	十字路／御詠治郎吉格子／忠臣蔵／雪之丞変化／ 丹下左膳余話 百万両の壺／闇の影法師／剣光桜 吹雪／維新の曲／無法松の一生／手をつなぐ子等 ／大江戸五人男	22	44	2,144
1998. 9. 6～ 9.28	戦後映画ラヴ・シーンの変遷 ー愛して、愛されて	安城家の舞踏会／また逢う日まで／夫婦善哉／濃 東綺譚／祇園祭／忍ぶ川／近松門左衛門 鍵の権三	14	28	2,042
1998.10. 2～10.26	江戸世話物情話の世界を描く ー近松門左衛門と鶴屋南北	近松物語／女殺し油地獄／夜の鼓／東海道四谷怪 談／心中天網島／修羅／曾根崎心中	14	28	1,599
1998.10.23・10.24	追悼 黒澤明監督ブレ上映会	姿三四郎／羅生門／用心棒	2	3	411
1998.10.30～11.14	日本映画の三巨匠生誕100年記念 企画～伊藤大輔監督特集	王将／王将一代／下郎の首／反逆児／この首一万 石	10	20	1,161
1998.11.15	日本映画テレビ技術協会 特別試写会	うなぎ	1	1	84
1998.11.15～12. 5	日本映画の三巨匠生誕100年記念 企画～溝口健二監督特集	残菊物語／お遊さま／山椒大夫／赤線地帯	8	15	885
1998.11.27～11.29	英国祭UK'98 イギリス映画特集	短編集＋アニメーション／Conquest of the South Poul／ウィンター・ゲスト	3	6	261
1998.12. 6～12.21	日本映画の三巨匠生誕100年記念 企画～内田吐夢監督特集	土／暴れん坊街道／浪花の恋の物語／妖刀物語 花の吉原百人斬り／恋や恋なすな恋	10	20	1,214
1999. 1. 8～ 3. 8	追悼黒澤明監督特集	虎の尾を踏む男達／わが青春に悔なし／素晴らし き日曜日／酔いどれ天使／静かなる決闘／野良犬 ／醜聞／生きものの記録／白痴／生きる／どん底 ／蜘蛛巣城／七人の侍／椿三十郎／隠し砦の三悪 人／悪い奴ほどよく眠る／天国と地獄／赤ひげ	36	71	5,888
1999. 3.12 ～ 3.29	京都府フィルムライブラリー所 蔵稀少フィルム上映 ～戦前記録映画特集	東京大震災第一報／京都府の茶業／続・京都府の 茶業／日本の茶／スポーツ／中村鴈治郎舞台の面 影／文楽 伽羅先代萩／疏水 流れに沿って／峠／ 機関車C-57／ある保姆の記録	12	24	514
1999. 3.21・ 3.22	KYOTO映画塾 第8期生卒業製作試写会	冬愁	2	4	187
計			184	362	20,413

②1999年度

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
1999. 4. 2～ 5.31	追悼 木下恵介監督特集	花咲く港／陸軍／大曾根家の朝／わが恋せし乙女 ／破戒／破れ太鼓／お嬢さん乾杯／カルメン故郷 に帰る／カルメン故郷に帰る（モノクロ版）／カ ルメン純情す／二十四の瞳／女の園／野菊の如き 君なりき／遠い雲／太陽とバラ／喜びも悲しみも 幾歳月／樺山節考／永遠の人	36	72	4,978
1999. 6. 4～ 6.28	日本人の涙～1 母の涙	瞼の母（昭和6年）／母と子／おかあさん／日本 の悲劇／噂の女／荷車の歌／瞼の母（昭和37年） ／香華	16	30	2,127
1999. 7. 2～ 8.30	時代をうつす子供の瞳	風の中の子供／綴方教室／風の又三郎／みかへり の塔／馬／蜂の巣の子供たち／忘れられた子等／ 原爆の子／ひめゆりの塔／あすなろ物語／鐘の鳴 る丘 隆太の巻／非常時涙の少年 僕らの弟／鐘の 鳴る丘 修吉の巻／鐘の鳴る丘 クロの巻／キクと	32	64	3,510

		イサム／愛と希望の街／不良少年／非行少女			
1999. 7.16～ 7.19	没後30年 市川雷蔵追悼特集	初春狸御殿／大菩薩峠／大菩薩峠 竜神の巻／大菩薩峠 完結編	4	8	1,512
1999. 9. 3～ 9.27	銀幕艶美 一大映作品を彩った女優たち	私の名は情婦／偽れる盛装／春琴物語／くちづけ／黒い十人の女／私は二歳／清作の妻／赤い天使	16	32	2,252
1999.10. 1～11. 8	清く、正しく、美しく 宝塚出身女優特集	彼岸花／夜の鼓／浪花の恋の物語／武士道残酷物語／麦秋／夫婦善哉／早春／喜劇 駅前旅館／螢火	18	36	3,249
1999.10.15・10.16	英国ウェールズ・アニメーション 作品特集	Comet's Tale	2	4	137
1999.10.29～11. 1	千本、西陣、五番町 一千本通界隈の賑わい	西陣の姉妹／尾上松之助葬儀／五番町夕霧楼	4	8	517
1999.11.12～12.25	追悼～撮影監督 宮川一夫特集	鞍馬天狗角兵衛獅子の巻／闇の影法師／牢獄の花嫁／宮本武蔵 総集編／無法松の一生／近松物語／山椒大夫／鍵／おとうと／用心棒／悪名／越前竹人形／近松門左衛門 鍵の権三	26	51	2,778
1999.11.13	大島渚監督『御法度』試写会	御法度	1	1	115
1999.11.14	日本映画テレビ技術協会 特別試写会	愛を乞うひと	1	1	88
2000. 1. 7～ 1.31	直向不屈映画群 一明日を見つめる主人公たち	若い人／沼津兵学校／維新の曲／戦争と平和／どっこい生きてる／箱根風雲録／にあんちゃん／キューボラのある街	16	32	1,837
2000. 2. 4～ 2.28	日本人の涙～2 日陰に咲く花	折鶴お千／夜の女たち／雁／湖の琴／にっぽん戦後史 マダムおんぼろの生活／サンダカン八番娼館／望郷／大地の子守歌／鬼龍院花子の生涯	16	32	2,294
2000. 3. 3～ 4. 1	俠気？狂気？怯気？ アウトローの生きざま	春秋一刀流／幕末太陽伝／風と女と旅鴉／大江戸の俠児／不知火検校／豚と軍艦／エロ事師たちより人類学入門／893愚連隊／緋牡丹博徒 お竜参上	18	36	1,926
2000. 3.19・ 3.20	KYOTO映画塾 第9期生卒業製作作品上映会	青の時間	2	2	118
計			208	407	27,438

(2) 映画特別上映・共催事業

① 1998年度

◇「日本映画の青春」活弁付き映画上映

期 間：1998年5月8日～7月26日

弁 士：井上陽一

協 力：田中映画社

▽5月8日 『実録忠臣蔵』

(1928年マキノ作品／監督：マキノ省三)

▽5月11日 『祇園小唄絵日傘 舞ひの袖』

(1930年マキノ作品／監督：金森万象)

▽5月24日 『右門一番手柄 南蛮幽霊』

(1929年東亜キネマ作品／監督：橋本松男)

▽5月30日 『臉の母』

(1931年千恵蔵プロ作品／監督：稲垣浩)

▽6月27日 『落第はしたけれど』

(1930年松竹作品／監督：小津安二郎)

▽7月5日 『金色夜叉』

(1932年松竹作品／監督：野村芳亭)

▽7月25日 『十字路』

(1928年衣笠映画連盟／監督：衣笠貞之助)

▽7月26日 『御誂治郎吉格子』

(1931年日活作品／監督：伊藤大輔)

◇特別試写会 『ザ・ハリウッド』

(1998年野村プロ作品／監督：野村恵一)

期 間：1998年6月29日～30日

共 催：野村企画

◇日本映像学会関西支部

夏期ゼミナール「日本映画の中の女性像」

期 間：1998年8月1日～3日

共 催：日本映像学会関西支部、京都府

会 場：京都府立ゼミナールハウス

◇日本映画テレビ技術協会特別試写会 『うなぎ』

(1997年ケイエスエス作品／監督：今村昌平)

期 間：1998年11月15日

共 催：日本映画テレビ技術協会

◇英国祭UK'98イギリス映画特集上映 『ウィンターゲスト』

(1997年英国／監督：アラン・リックマン)

他短編アニメーション作品集
期 間：1998年11月27日～29日
共 催：プリティッシュ・カウンスル京都、京都府
◇KYOTO映画塾第8期生卒業製作上映会
期 間：1999年3月21日～22日

②1999年度

◇没後30年市川雷蔵追悼特集講演会
▽1999年7月17日
「市川雷蔵と大映時代劇」山根貞男（映画評論家）
◇日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール
「木下恵介特集 叙情と感傷と日本人の心情」
期 間：1999年7月31日～8月2日
共 催：日本映像学会関西支部、京都府
会 場：京都府立ゼミナールハウス
◇「時代をうつす子供の瞳」活弁付き映画上映
『非常時涙の少年 僕らの弟』
（1933年日活作品／監督：春原政久）
期 間：1999年8月14日
弁 士：井上陽一
協 力：田中映画社
◇清く、正しく、美しく 宝塚出身女優特集講演会
▽1999年10月3日
「有馬稲子芸能生活50周年記念講演」

有馬稲子（女優）
▽1999年10月17日
「出演作を語る」 淡島千景（女優）
◇ウェールズ地方のアニメーション特集上映
『Comet's Tale』
（1995年英国／監督：ジェラルド・コン）
他短編アニメーション作品集
期 間：1999年10月15日～16日
共 催：プリティッシュ・カウンスル京都
作品解説：「自作とウェールズアニメーションの動向」
講 師：ジェラルド・コン（映像作家）
◇特別試写会 『御法度』
（1999年作品／監督：大島渚）
期 間：1999年11月13日
◇日本映画テレビ技術協会特別試写会『愛を乞うひと』
（1998年東宝・角川書店・サンダンス作品／監督：平山秀幸）
期 間：1999年11月14日
共 催：日本映画テレビ技術協会
◇KYOTO映画塾第9期生卒業製作上映会
期 間：2000年3月19日～20日

※敬称略。映画タイトルは『』で表記。特に会場の記載されていない催しは当館3F映像ホールで開催した。

(3) ハイビジョン上映

①1998年度

タ イ ト ル	期 間	日数	入場者数	タ イ ト ル	期 間	日数	入場者数
日本で見られる 19世紀フランス美術Ⅰ	1998. 4. 1～ 4.29	8	127	日本の美 花鳥風月	1998. 9. 1～ 9.24	11	134
洛中洛外図屏風Ⅰ	1998. 5. 5～ 5.28	7	157	洛中洛外図屏風Ⅰ	1998.10. 1～10.29	12	213
洛中洛外図屏風Ⅱ	1998. 6. 9～ 6.25	7	150	フィレンツェ・ルネサンス	1998.11. 3～11.26	9	221
日本で見られる 19世紀フランス美術Ⅱ	1998. 7. 7～ 7.16	5	61	洛中洛外図屏風Ⅰ	1998.12. 1～12.17	8	97
夏休みこども特集 忍たま乱太郎	1998. 7.28～ 8. 6	6	280	パリで見られる 19世紀フランス美術Ⅰ	1999. 1. 5～ 1.21	8	96
日本で見られる 19世紀フランス美術Ⅲ	1998. 8.11～ 8.27	6	68	パリで見られる 19世紀フランス美術Ⅱ	1999. 2. 2～ 3. 4	12	135
				印象派展覧会	1999. 3. 9～ 3.25	8	150
				計		107	1,889

※諸般の事情により、ハイビジョンの上映は1998年度をもって休止した。

(4) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。映像ホールでの企画上映にあわ

せて、ポスター・スチル・チラシ等の50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。詳細については、『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

(5) 京都府映像文化センター運営委員

年度	氏 名	所 属 等	備 考	年度	氏 名	所 属 等	備 考
1998年度	佐藤 雅夫	東映京都撮影所長	～1998年12月	1999年度	畑 利明	東映京都撮影所長	
	畑 利明	東映京都撮影所長	1998年12月～		多田道太郎	京都大学名誉教授	
	多田道太郎	京都大学名誉教授			内藤 昭	映画美術監督	
	内藤 昭	映画美術監督			中島 貞夫	映画監督	
	中島 貞夫	映画監督			宮川 一夫	映画撮影監督	～1999年8月
	宮川 一夫	映画撮影監督			土田 正義	KYOTO映画塾	
	土田 正義	KYOTO映画塾			森田富士郎	映画撮影監督	2000年1月～
	松本 俊夫	京都造形芸術大学教授	～1998年12月		松本 俊夫	京都造形芸術大学教授	～1999年12月
	貴田 恵三	京都興行協会常任理事	1998年12月～		酒井 政夫	京都興行協会常任理事	～2000年1月
	酒井 政夫	京都興行協会常任理事	～1998年6月		神野 洋志	京都興行協会常任理事	2000年1月～
	梶野 宏	京都府文化芸術室	1998年6月～		中村 彰	京都府文化芸術室	～2000年3月
	中村 彰	京都府文化芸術室			岡本 道雄	内部委員	
	岡本 道雄	内部委員			高見 静治	内部委員	
	高見 静治	内部委員			溝口 勝美	内部委員	
	溝口 勝美	内部委員					



1999年1月 平安京右京二条二坊十六町の発掘調査
(中京区西ノ京西円町)

5. 調査研究活動

5-1 調 査

(1) 埋蔵文化財の発掘と整理

① 1998年度

◇西円町遺跡の発掘調査

遺跡名：平安京右京二条二坊十六町（西円町遺跡）

所在地：京都市中京区西ノ京西円町

発掘期間：1998年12月14日～1999年2月10日

依頼者：京都市

調査原因：JR山陰本線円町駅新設に伴う駅前整備事業

調査面積：300m²

担当者：南 博史・山下秀樹

調査概要：調査地北側には、平安京中御門大路の道路面・南側側溝の検出が推定されたが、明確な遺構は確認できなかった。遺跡の中心は、平安時代前期から中期の遺構・遺物で、とくに井戸からは土馬、墨書土器、土師器、須恵器、瓦などが一括で出土した。

主要遺構：溝状遺構、井戸、土坑（平安時代前期～

中期）

主要出土品：墨書土器、土師器、須恵器、緑釉・灰釉陶器、瓦、土馬、石帯（平安時代前期～中期）

② 1999年度

◇西円町遺跡の整理と報告書の刊行

遺跡名：平安京右京二条二坊十六町（西円町遺跡）

所在地：京都市中京区西ノ京西円町

整理期間：1999年4月1日～2000年3月31日

依頼者：京都市

担当者：南 博史・山下秀樹

作業概要：西円町遺跡発掘調査の遺物整理と報告書の作成

報告書：『平安京右京二条二坊十六町―京都市中京区西ノ京西円町―』（『京都文化博物館調査研究報告』第14集、2000年3月）

5-2 学芸員の活動

(1) 博物館研究費による研究

① 1998年度

石沢誠司 七塔人形の研究

大西基子 近世から近代へ京都画壇の成立について

大塚活美 祇園祭の伝播と展開について

片岡 肇 洛中洛外図屏風の類型の展開（2）

鈴木忠司 黒潮と岩宿文化―南方論への視座―

山下秀樹 岩宿時代遺跡における遺物分布と民族誌

南 博史 歴史系博物館の教育活動において考古学をどう利用していくか

山田邦和 京都都市史の基礎的研究（予備的調査）

② 1999年度

石沢誠司 五節句と節句人形の研究

大西基子 塩川文麟と幕末から明治の京都画壇

大塚活美 祭礼図の残る祭礼についての研究

洲鎌佐智子 日本漆器新聞にみる近代京都の工芸像をさぐる

野口 剛 近世画家資料集成1

鈴木忠司 岩宿文化の食体系再考―敲石類の再検討と礫群の調理実験をとおして―

定森秀夫 日本列島における朝鮮半島系遺物の研究

南 博史 歴史系博物館の教育活動において考古学をどう利用していくか（2）―埋蔵文化財センターと博物館を結ぶ―

土橋 誠 異体字データベースの作成について

(2) 外部研究費・共同研究等による研究

① 1998年度

長舟洋司 ・平成10年度美術館連絡協議会花王・学芸員研究助成「美術展示に使用される照明器具とその光源の特性と効果について」

・平成10年度文部省科学研究費補助金奨励研究（B）「京都府画学校西宗の研究」

野口 剛 ・鹿島美術財団美術に関する調査研究助成「石田幽汀の研究」

定森秀夫 ・平成10年度文部省科学研究費補助金奨励研究（B）「日本出土ヨーロッパ陶器の基礎的研究」

南 博史 ・平成10年度文部省科学研究費補助金海外調査助成「メソアメリカ先住民文化の

総合的研究」(代表：大井邦明) 研究協力者

② 1999年度

- 森脇清隆 ・ 平成11年度文部省科学研究費補助金奨励研究(B)「大映京都撮影所の映画製作実績と担当美術監督の調査」
- 南 博史 ・ 平成11年度文部省科学研究費補助金海外調査助成「エルサルバドルにおける先住民文化の研究」(代表：大井邦明) 研究協力者

(3) 出講・委嘱

① 1998年度

- 石沢誠司 ・ 第10回創工会展委嘱 審査員
・ '99京都美術工芸展 審査員
・ 国立民族学博物館委嘱 資料評価委員
- 古郷彰治 ・ 国際テキスタイルフェア開催委員会 アドバイザー
・ 平成10年度京都府統計グラフコンクール 審査員
- 大西基子 ・ 京都新聞日本画賞展 推薦委員
- 森脇清隆 ・ 大谷大学出講(後期) 「映像論」
- 片岡 肇 ・ 木下美術館委嘱 評議員
・ なら・シルクロード博記念国際交流財団委嘱 (仮称)シルクロード館基本構想策定ワーキンググループ特別メンバー
- 鈴木忠司 ・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 植山 茂 ・ 山城町教育委員会委嘱
上狛遺跡発掘調査指導
- 山下秀樹 ・ 京都府立大学出講(通年)
「博物館実習講義」
- 定森秀夫 ・ 花園大学出講(通年) 「考古学研究」
・ 滋賀大学出講(集中講義)
「博物館情報・経営論」
- 南 博史 ・ 京都外国語大学出講(通年)
「考古学の基礎」
・ 京都外国語大学出講(通年)
「博物館実習 I」
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 山田邦和 ・ 同志社大学出講(通年)
「シルクロード」
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与

- ・ 『同志社大学考古学シリーズⅦ』編集委員会委員
- ・ 日本史研究会 『豊臣秀吉と京都(仮称)』編集委員会委員

② 1999年度

- 石沢誠司 ・ 第11回創工会展委嘱 審査員
・ 2000京都美術工芸展 審査員
・ 国立民族学博物館委嘱 資料評価委員
- 森脇清隆 ・ 大谷大学出講(後期) 「映像論」
- 野口 剛 ・ 京都府立大学出講(通年)「博物館概論」
- 片岡 肇 ・ 木下美術館委嘱 理事
・ なら・シルクロード博記念国際交流財団委嘱 (仮称)シルクロード館基本構想策定ワーキンググループ特別メンバー
- 鈴木忠司 ・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与
- 植山 茂 ・ 山城町教育委員会委嘱
高井出瓦窯跡発掘調査指導
・ 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館委嘱
出土資料取扱指導
- 山下秀樹 ・ 京都府立大学出講(通年)
「博物館実習講義」
- 定森秀夫 ・ 花園大学出講(通年) 「考古学研究」
・ 滋賀大学出講(集中講義)
「博物館情報・経営論」
- 南 博史 ・ 京都外国語大学出講(通年)
「考古学の基礎」
・ 京都外国語大学出講(通年)
「博物館実習 II」
・ 古代学協会委嘱
『古代文化』刊行委員会編集参与

(4) 学芸員の業績

a. 論文・著作

① 1998年度

- 石沢誠司 ・ 「江戸期の史料に見える七夕人形の綱飾り、新潟県糸魚川市根知谷で今も続いていた」(『郷玩文化』第128号所収、郷土玩具文化研究会、1998年9月)
- ・ 「五節句の謎」(『日本人形玩具学会会報』第29号所収、日本人形玩具学会、1998年9月)
- ・ 「三月三日節の研究ノートⅡ」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11集所収、京都文化博物館、1999年3月)

- 古郷彰治 ・「作品解説（分担）」（図録『秀吉と京都一豊国神社社宝展』所収、豊国会・豊国神社、1998年5月）
 ・「展示について」（図録『第6回国際テキスタイルコンペティション99-京都』所収、国際テキスタイルフェア開催委員会、1999年3月）
- 大西基子 ・「作家・作品解説（分担）」（画集『巨匠が描く日本の名山』第2巻所収、郷土出版社、1998年4月）
 ・図録『京の絵師は百花繚乱―「平安人物志」にみる江戸時代の京都画壇』共同編集（京都文化博物館、1998年10月）
 ・「近世から近代へ」「画家解説（分担）」「作品解説（分担）」（図録『京の絵師は百花繚乱』所収）
- 大塚活美 ・図録『京の江戸時代―町人の社会と文化―』共同編集（京都文化博物館、1998年4月）
 ・「京の江戸時代」「作品解説」（図録『京の江戸時代』所収）
 ・「湖東の俳人―「時雨会集成」を中心に―」（『蒲生野』第30号所収、八日市郷土文化研究会、1998年9月）
 ・「村の生活・文化」（共著）（『蒲生町史』第2巻所収、蒲生町、1999年3月）
 ・「全国の「大文字」行事―その概要と相互比較―」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11集所収）
- 長舟洋司 ・図録『京の絵師は百花繚乱』共同編集（前掲）
- 洲鎌佐智子 ・「京都の伝統工芸シリーズ・漆工編 花籠蒔絵螺鈿提重」（『京都教弘通信』第10号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1998年4月）
 ・「作品解説（分担）」（図録『秀吉と京都』所収）
 ・「京都の伝統工芸シリーズ・木工編 桑製蒔絵南鍍金具付飾棚」（『京都教弘通信』第11号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1998年7月）
 ・「京都の伝統工芸シリーズ・截金編 截金波頭文飾篭」（『京都教弘通信』第12号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1998年10月）
- 野口 剛 ・「京都の伝統工芸シリーズ・金工編 青銅鴟鵂卣」（『京都教弘通信』第13号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1999年2月）
 ・「作品解説（分担）」（図録『秀吉と京都』所収）
 ・図録『京の絵師は百花繚乱』共同編集（前掲）
 ・「画家解説（分担）」「作品解説（分担）」（図録『京の絵師は百花繚乱』所収）
 ・「池大雅の指頭画」（『茶道雑誌』第62巻第10号所収、河原書店、1998年10月）
- 片岡 肇 ・図録『秀吉と京都』編集（前掲）
 ・「解説」「作品解説（分担）」（『秀吉と京都』所収）
- 鈴木忠司 ・「茶臼山・愛知県最初の岩宿時代遺跡の調査」（『野帳の会』考古学論集』所収、久永春男先生頌寿記念論集刊行会、1998年5月）
 ・「後期旧石器から縄文文化へ」（『旧石器考古学』58号所収、旧石器文化談話会、1999年6月）
 ・「日本細石刃文化遺跡地名表・補遺」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11集所収）
 ・「フィンランド博物館見てある記」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11集所収）
- 山下秀樹 ・「弥生時代遺跡における微細遺物の動態―岩宿時代遺跡との比較の視点から―」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11集所収）
- 定森秀夫 ・「青の魅惑 封印された南宋陶磁展から4・5」（『朝日新聞』京都版所収、1998年11月27日、28日）
 ・「封印された南宋陶磁展」（『茶道雑誌』第62巻第12号所収、河原書店、1998年12月）
 ・「新羅土偶と楽器」（『歴史九州』第101号所収、九州歴史大学講座、1999年2月）
 ・「韓国江原道溟州下誌洞古墳群出土遺物―東京大学工学部建築史研究室所蔵資料の紹介―」（白井克也氏と共同執筆／京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11

- 集所収)
- 南 博史 ・「博物館教育活動と地域一遺跡博物館と移動博物館の新しいかたち」(西山弥生・加藤幸治両氏と共同執筆／京都文化博物館研究紀要『朱雀』第11集所収)
- 土橋 誠 ・「私印論」(『国立歴史民俗博物館研究報告』第79集「日本古代印の基礎的研究」所収、国立歴史民俗博物館、1999年3月)
- 山田邦和 ・図録『京の江戸時代』共同編集(前掲)
- ・「秀吉の京都改造図」(『秀吉と京都』所収)
- ・「読書アンケート 歴史家・著名人89人に聞く わたしの出会った歴史書」(歴史書懇話会創立30周年記念 歴史書通信別冊『歴史の愉しみー古代から現代へー』所収、1998年5月)
- ・「桓武天皇陵はどこにあったか」(『古代探求一森浩一70の疑問一』所収、中央公論社、1998年7月)
- ・「京都府」(中村浩編『古墳出土須恵器集成』第2巻「近畿編Ⅱ」所収、雄山閣出版、1998年7月)
- ・「中世都市京都の変容」(中世都市研究5『都市をつくる』所収、新人物往来社、1998年9月)
- ・「伏見城とその城下町」(『京都市文化財だより』第30号所収、京都市文化市民局文化部、1998年10月)
- ・「考古学からみた近世京都の墓地」(『関西近世考古学研究』Ⅵ所収、関西近世考古学研究会、1998年12月)
- ・「桓武天皇柏原陵考」(『文化学年報』第48輯所収、同志社大学文化学会、1999年3月)
- ・「元明天皇陵の意義」(同志社大学考古学シリーズⅦ『考古学に学ぶー遺構と遺物一』所収、同志社大学考古学シリーズ刊行会、1999年3月)

② 1999年度

- 石沢誠司 ・「松本市・宮沢家の七夕飾り」(『郷玩文化』第135号所収、郷土玩具文化研究会、1999年10月)
- ・「京都の伝統工芸シリーズ・人形編 伏見人形 餅つき兔」(『京都教弘通信』第

14号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1999年5月)

- ・「京都の伝統工芸シリーズ・人形編 御所人形 馬曳き童子」(『京都教弘通信』第15号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1999年7月)
- ・「京都の伝統工芸シリーズ・人形編 賀茂人形 人形遣い」(『京都教弘通信』第16号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、1999年10月)
- ・「京都の伝統工芸シリーズ・竹工芸編 白竹張手桶水指」(『京都教弘通信』第17号所収、日本教育公務員弘済会京都支部、2000年2月)
- ・「押絵雛を飾る雛祭り」(図録『年中行事に息づく押絵雛』所収、松本市立博物館、2000年3月)
- 古郷彰治 ・「作品解説(分担)」(図録『異国の風ー江戸時代 京都が見たヨーロッパ』所収、京都新聞社、2000年3月)
- 大西基子 ・「作家解説(分担)」(画集『巨匠が描く日本の名山』第6巻所収、郷土出版社、1999年4月)
- ・「上村松園と作品の女性」(図録『上村松園展』所収、朝日新聞社、1999年8月)
- ・「上村松園展作品解説」(5回分)(『朝日新聞』所収、1999年8月～9月)
- 大塚活美 ・「民俗編 郷土の暮らしと伝承」(共著)(『蒲生町史』第3巻所収、蒲生町、2000年2月)
- ・「中世の巡礼札」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第12集所収、京都文化博物館、2000年3月)
- 長舟洋司 ・図録『京都洋画のあけぼの』編集(京都文化博物館、1999年9月)
- ・「京都洋画のあけぼのー近代初期洋画の模索ー」「明治画学館名簿」「田村宗立第二回内国博覧会出品解説書(草稿)」「疋田敬蔵、大山周三、蜷川式胤約定書」(図録『京都洋画のあけぼの』所収)

- 洲鎌佐智子 ・「日本漆器新聞と柴崎風岬一附：日本漆器新聞逐号目録一」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第12集所収)

- 野口 剛 ・「疋田敬蔵宛、高橋由一書簡」(図録『京都洋画のあけぼの』所収)

- ・「直入の中国画学習－京都府立総合資料館蔵田能村家資料の紹介－」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第12集所収）
- ・「土佐光起筆桜花図屏風」（『国華』第1253集所収、国華社、2000年3月）
- ・「作品解説（分担）」（『異国の風』所収）
- 鈴木忠司 ・「細石刃文化の伝播と時代の背景」（『岩宿発掘50年の成果と今後の展望 予稿集』所収、岩宿フォーラム実行委員会、1999年10月）
- ・「朝鮮半島」（『岩宿時代を溯る』所収、笠懸野岩宿文化資料館、1999年11月）
- ・「礫群による石蒸し料理予備実験記録」（礫群調理実験グループと共著／京都文化博物館研究紀要『朱雀』第12集所収）
- ・「遺跡の構造研究と旧石器時代社会の復原」（『岩宿発掘50年』所収、明治大学考古学博物館、2000年3月）
- ・図録『異国の風』共同編集（前掲）
- ・「作品解説（分担）」（『異国の風』所収）
- 植山 茂 ・「平安時代中期の官瓦窯について」（『瓦衣千年 森郁夫先生還暦記念論文集』所収、森郁夫先生還暦記念論文集刊行会、1999年11月）
- ・「平安京土御門烏丸内裏跡出土瓦について」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第12集所収）
- 定森秀夫 ・「陶質土器からみた東日本と朝鮮」（『青丘学術論集』第15集所収、韓国文化研究振興財団、1999年11月）
- 南 博史 ・『博物館学概論』（共著）（鈴木真理編『博物館学シリーズ』1所収、樹村房、1999年9月）
- ・「古代エジプト学を学ぶ」（網干善教編『世界の考古学』所収、関西大学出版部、2000年3月）
- 土橋 誠 ・「京貴官人をめぐる二三の憶説」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第12集所収）
- 座、城陽市立図書館、1999年1月30日）
- 大塚活美 ・「列品解説」（京の江戸時代展、京都文化博物館、1998年4月24日）
- ・「京都の伝統文化」（光華女子短期大学「京都の文化と芸術」、光華女子短期大学、1998年10月23日）
- 野口 剛 ・「列品解説」（京の絵師は百花繚乱展、京都文化博物館、1998年10月31日、11月7日）
- 片岡 肇 ・「博物館における模型の活用について」（国際協力事業団平成9年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、1998年4月6日）
- ・「『京都』の歴史」（光華女子短期大学「京都の文化と芸術」、光華女子短期大学、1998年10月16日）
- 定森秀夫 ・「平安京を掘る」（花園大学考古学研究室月例研究会、花園大学、1998年6月13日）
- ・「新羅土偶と楽器」（九州歴史大学講座、福岡明治生命ホール、1999年3月13日）
- 南 博史 ・「考古学資料の展示への利用について」（国際協力事業団平成9年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、1998年4月7日）
- 山田邦和 ・「日本古代国家の成立」（京都府保健事業協同組合「保事協／春のおもしろ文化サロン」、保事協会館、1998年4月23日）
- ・「京の江戸時代」（京都朱雀ロータリークラブ「京都朱雀ロータリークラブ第246回例会」、リーガロイヤルホテル京都、1998年5月6日）
- ・「列品解説」（京の江戸時代展、京都文化博物館、1998年5月8日）
- ・「『京都の考古学』からみえてくる本当の古代史」（同行講師）（ジェイアール東海ツアーズ「『京都の考古学』からみえてくる本当の古代史」への同行、1998年6月25日～26日）
- ・「南山城の古代発見」（同行講師）（JR東海KYOTO CLUB「南山城の古代発見」への同行、1998年9月19日）。
- ・「平安京・京都の川と橋」（京都新聞文化センター実践考古学入門講座「交通～

b. 発表・講演

① 1998年度

- 石沢誠司 ・「伏見人形」（城陽市図書館講座、城陽市立図書館、1999年1月23日）
- ・「七夕の紙衣と人形」（城陽市図書館講

- 川と橋をめぐって～」、京都新聞文化センター、1998年11月21日)
- ・「平安京内の庶民生活」(京都洛陽ライオンズクラブ第21回洛陽文化講座「平安京を探る」、京都商工会議所講堂、1998年12月12日)
- ・「飛鳥路をゆく 入門編」(特別講師)(JR東海KYOTO CLUB「飛鳥路をゆく入門編」への同行、1999年3月28日)

②1999年度

- 長舟洋司 ・「田村宗立と近代初期の京都洋画」(京都洋画のあけぼの展講演会、京都文化博物館、1999年10月9日)
- ・「美術展示の照明方法—照明器具と光源の特性」(国際協力事業団平成10年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、1999年4月6日)
- 片岡 肇 ・「旧日本銀行京都支店の保存と活用について」(国際協力事業団平成10年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、1999年4月6日)
- ・「冷泉布美子さんとの対談」(「トーク&トーク 『冷泉家の至宝展』を終えて」(冷泉家、1999年6月7日[『KYOのあけぼの21』第31号所収、京都府女性総合センター、1999年8月])
- ・「平安京と三条通」(京都府公立文化施設協議会、アスニー京都、1999年7月29日)
- ・「平常陳列の活性化と調査研究：歴史系」(文化庁第1回指定文化財〔美術工芸品〕企画・展示セミナー、京都国立博物館、1999年11月9日)
- 鈴木忠司 ・「遺跡の構造研究と旧石器時代社会の復原」(報告)(岩宿発掘50周年記念シンポジウム「日本旧石器時代究の原点をふりかえる」、明治大学大学会館、1999年9月4日)
- ・「細石刃文化の伝播と時代の背景」(基調報告)(シンポジウム「岩宿発掘50年の成果と今後の展望」、笠懸町文化ホー

ル、1999年10月24日)

- ・「岩宿時代のイエとムラと暮らし」(安芸のまほろばフォーラム「旧石器時代のムラを探る」、東広島市文化ホール、1999年11月7日)
- 植山 茂 ・「平安京の瓦—出土瓦が語る生産工房の変遷—」(第24回みやこ評議会、京都文化博物館、1999年6月5日)
- ・「京都の歴史」(光華女子短期大学「京都の文化と芸術」、光華女子短期大学、1999年10月29日)
- 定森秀夫 ・「考古学から見た伽耶琴」(滋賀県立大学考古学談話会、滋賀県立大学、1999年5月25日)
- ・「京都の渡来文化」(光華女子短期大学「京都の文化と芸術」、光華女子短期大学、1999年10月22日)
- ・「陶質土器から須恵器へ」(「韓日文化交流の足跡」第6回、関西韓国文化院、1999年11月16日)
- ・「大岩山古墳群とその時代」(平成11年度野洲町文化財教室、野洲町銅鐸博物館、1999年11月27日)
- 南 博史 ・「京都文化博物館常設展示・特別展示の展示技術」(国際協力事業団平成10年度文化財修復整備技術コース研修、京都文化博物館、1999年4月5日)

(5) 研修等

①1998年度

- 鈴木忠司 ・ロータリー財団研究グループ交換(GSE)1997年度研修(1998年5月12日～6月22日/フィンランドにおける博物館・遺跡等の視察研修)
- 大塚活美 ・文化庁第1回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー 第1年度(1998年11月9日～13日/京都国立博物館)

②1999年度

- 大塚活美 ・文化庁第1回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー 第2年度(1999年11月8日～12日/京都国立博物館)

6. 普及活動

6-1 出版物

(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

① 1998年度

◇『朱雀』第11集

発行：京都文化博物館

発行日：1999年3月31日

印刷：中西印刷

体裁：B5判、126ページ

編集担当：野口 剛

所載記事：

【論攷】

南 博史・西山弥生・加藤幸治

博物館教育活動と地域—遺跡博物館と
移動博物館の新しいかたち—

【研究ノート】

山下秀樹 弥生時代遺跡における微細遺物の動態—岩宿時代遺跡との比較の視点から—

石沢誠司 三月三日節の研究ノートⅡ

大塚活美 全国の大文字行事—その概要と相互比較—

【資料紹介】

鈴木忠司 日本細石刃文化遺跡地名表・補遺

定森秀夫・白井克也

韓国江原道溟州下詩洞古墳群出土遺物—東京大学工学部建築史研究室所蔵資料の紹介—

【報告】

鈴木忠司 フィンランド博物館見てある記

② 1999年度

◇『朱雀』第12集

発行：京都文化博物館

発行日：2000年3月31日

印刷：吉川印刷工業所

体裁：B5判、137ページ

編集担当：南 博史

所載記事：

【論攷】

土橋 誠 京貫官人をめぐる二三の憶説

植山 茂 平安京土御門烏丸内裏跡出土瓦について

【研究ノート】

鈴木忠司・礫群調理実験グループ

礫群による石蒸し料理予備実験記録

大塚活美 中世の巡礼札

【資料紹介】

野口 剛 直入の中国画学習—京都府立総合資料館蔵田能村家資料の紹介—

洲鎌佐智子 日本漆器新聞と柴崎風岬—附：日本漆器新聞逐号目録—

(2) 京都文化博物館調査研究報告

① 1999年度

◇第14集『平安京右京二条二坊十六町』

—京都市中京区西ノ京西円町—

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：2000年3月31日

印刷：正美社印刷

体裁：A4判、本文66ページ、図版12ページ

編集担当：南 博史

(3) 展覧会図録

① 1998年度

◇『京の江戸時代—町人の社会と文化—』

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：京都文化博物館

発行日：1998年4月17日

印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：A4判、164ページ

編集担当：大塚活美・山田邦和

◇『秀吉と京都—豊国神社社宝展』

監修：森谷尅久

編集：京都文化博物館学芸第二課

発行：豊太閤四百年祭奉賛会豊国会・豊国神社

発行日：1998年5月28日

印刷：日本写真印刷

体裁：A4判、80ページ

編集担当：片岡 肇

◇『源氏おんな物語』

—愛に生き、自分を探し続けた女たち—

編集：京都文化博物館・日本経済新聞社

発行：日本経済新聞社

発行日：1998年8月21日

印刷：凸版印刷

体 裁：A4判、160ページ

◇『京の絵師は百花繚乱

ー「平安人物志」にみる江戸時代の京都画壇ー』

編 集：京都文化博物館学芸第一課

発 行：京都文化博物館

発行日：1998年10月2日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷

ブックデザイン：辻恵里子

体 裁：A4判、352ページ

編集担当：野口 剛・大西基子・長舟洋司

◇『99京都美術工芸展』

編集・発行：京都府・京都文化博物館

発行日：1999年1月

制作・印刷：写真化学

体 裁：25cm×25cm、63ページ

②1999年度

◇『京の雅・和歌のこころー冷泉家の至宝展』

編 集：冷泉家時雨亭文庫・NHK

発 行：NHK・NHKプロモーション

発行日：1999年4月

制 作：便利堂

体 裁：A4判、234ページ

◇『京都洋画のあけぼの』

編 集：京都文化博物館学芸第一課

発 行：京都文化博物館

発行日：1999年9月25日

印 刷：ニューカラー写真印刷

体 裁：A4判、160ページ

編集担当：長舟洋司

◇『茶の湯ーにほんの心』

編 集：京都文化博物館・京都新聞社

発 行：京都新聞社

発行日：1999年11月3日

印 刷：日本写真印刷

制 作：エヌ・シー・ピー

体 裁：A4判、304ページ

◇『2000京都美術工芸展』

編集・発行：京都府・京都文化博物館

発行日：2000年1月

制作・印刷：写真化学

体 裁：25cm×25cm、63ページ

◇『異国の風ー江戸時代 京都が見たヨーロッパ』

編 集：京都文化博物館・京都新聞社

発 行：京都新聞社

発行日：2000年3月1日

制 作：ニューカラー写真印刷

体 裁：A5判、220ページ

（当館での開催順としたので、発行日が前後することがある。各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の開始月を挙げた）

(4) その他

◇『京都文化博物館10年のあゆみ』

編 集：「京都文化博物館10年のあゆみ」編集委員会

発 行：京都府京都文化博物館

発行日：1999年3月31日

印 刷：正美社印刷株式会社

体 裁：A4判、222ページ

編集担当：片岡 肇・大塚活美

6-2 講演会・音楽会

(1) 講演会など

①1998年度

開催年月日	講 師	所 属 等	演 題	備 考
1998. 4.18	横田 冬彦	京都橘女子大学教授	近世京都の成立	京の江戸時代展講演会
4.24	大塚 活美	当館学芸員	京の江戸時代展列品解説	
4.25	鎌田 道隆	奈良大学教授	近世における京文化の形成	京の江戸時代展講演会
5. 2	佐々木もと子	池大雅美術館館長	池大雅列品解説	
5. 8	山田 邦和	当館学芸員	京の江戸時代展列品解説	
7.12	脇田 晴子	滋賀県立大学教授	戦国城下町の生活と文化	越前朝倉氏・一乗谷展講演会
10.10	冷泉 為人	大手前女子大学教授	幕末の京都画壇	京の絵師は百花繚乱展講演会
10.17	佐々木丞平	京都大学教授	『平安人物志』にみる京都画壇	京の絵師は百花繚乱展講演会
10.24	上村 淳之	日本画家	京の絵師 いま・むかし	京の絵師は百花繚乱展
	太田垣 實	京都新聞社美術記者		シンポジウム
	小林 丈広	京都市歴史資料館研究員		

10.31	榊原 吉郎	京都市立芸術大学教授		
11. 7	田島 達也	北海道大学助教授		
11.21	野口 剛	当館学芸員	京の絵師は百花繚乱展列品解説	
	野口 剛	当館学芸員	京の絵師は百花繚乱展列品解説	
	出川 哲朗	大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長	南宋の龍泉窯青磁	封印された南宋陶磁展講演会
11.28	弓場 紀知	出光美術館学芸課長	四川省遂寧市南宋陶磁発見の意義	封印された南宋陶磁展講演会
1999. 3. 6	曾布川 寛	京都大学人文科学研究所教授	漢墓副葬品の造型	大黄河文明展講演会
3.13	樋口 隆康	奈良県立橿原考古学研究所長	考古学からみた中国文明の成立	大黄河文明展講演会

②1999年度

開催年月日	講 師	所 属 等	演 題	備 考
1999. 4.10	冷泉貴実子	冷泉家当主夫人	冷泉家の伝統と文化	冷泉家の至宝展講演会
4.17	冷泉 為人	冷泉家当主・池坊短期大学学長	冷泉家の和歌披講	冷泉家の至宝展関連
	冷泉家時雨亭	文庫のみなさん		
4.24	冷泉貴実子	冷泉家当主夫人	和歌披講解説	
5. 1	藤本 孝一	文化庁主任文化財調査官	冷泉家の調査18年—古典籍を中心に	冷泉家の至宝展講演会
7.17	冷泉 為人	冷泉家当主・池坊短期大学学長	冷泉家の歴史と文化	冷泉家の至宝展講演会
8.28	山根 貞男	映画評論家	市川雷蔵と大映時代劇	没後30年市川雷蔵追悼特集講演会
	上村 淳之	日本画家・ 京都市立芸術大学副学長	象徴表現の中の人物	上村松園展講演会
10. 2	島田 康寛	京都国立近代美術館学芸課長	明治の京都洋画界—浅井忠を中心に	京都洋画のあけぼの展講演会
10. 3	有馬 稲子	女優	有馬稲子芸能生活50周年記念講演	宝塚出身女優特集記念講演会
10. 9	長舟 洋司	当館学芸員	田村宗立と近代初期の京都の洋画	京都洋画のあけぼの展講演会
10.17	淡島 千景	女優	出演作を語る	宝塚出身女優特集記念講演会
2000. 3.18	赤井 達郎	美術評論家	京都と異国の風—京菓子をを中心に	異国の風展講演会と対談
	山本 容子	版画家	私と南蛮文化	
	太田垣 寛	京都新聞社美術記者	(対談コーディネーター)	

(2) 音楽会

a. 京都文化博物館音楽会シリーズ

「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会

協 賛：吉忠株式会社

協 力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎（京都文化財団理事・京都市立芸術大学名誉教授）

①1998年度

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・Ⅶ 近代市民社会の発展と音楽～その2

～和声法の展開・シューベルト生誕200年を回想して～

第四夜	歌曲集「白鳥の歌」	1998年4月3日	89名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	萩原 次己（バリトン）／武知朋子（ピアノ）		
曲 目	シューベルト：歌曲集「白鳥の歌」「愛の使い」「兵士の憩い」「春の憧れ」「セレナーデ」「仮の宿」ほか		
第五夜	最後の深淵①	1998年 6月22日	113名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	田淵千代子（ピアノ）／尾崎幸子（ヴァイオリン）／上田康雄（チェロ）		
曲 目	シューベルト：ピアノ三重奏 第1番 変ロ長調 Op.99, D.898、ピアノ三重奏 第2番 変ホ長調 Op.100, D.929		
第六夜	最後の深淵②	1998年 8月21日	108名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	伊藤真理子（第1ヴァイオリン）／渡部真美（第2ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／柳瀬順平（第1チェロ） ／香野綾子（第2チェロ）		
曲 目	シューベルト：ピアノ五重奏曲 八長調 Op.163, D.956		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・Ⅶ ローマン主義の中の古典主義

～ブラームス、チャイコフスキー～

第一夜	ブラームスとハンスリック	1998年10月26日	101名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	ブラームス：ピアノソナタ 第1番 ハ長調 Op.1、2つのラプソディー Op.79、6つの小品 Op.118 より		
第二夜	ブラームスの音楽における和声構造とその展開	1998年12月14日	151名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	吉信 博（クラリネット）／伊藤真理子（第1ヴァイオリン）／永井利佳（第2ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／上田康雄（チェロ）		
曲 目	ブラームス：弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 Op.51-1、クラリネット 五重奏曲 ロ短調 Op.115		
第三夜	ブラームス音楽の完結	1999年 2月18日	138名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	尾崎幸子（ヴィオラ）／伊藤真理子（ヴァイオリン）／田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	ブラームス：ヴィオラとピアノのためのソナタ 第2番 変ホ長調 Op.120-2、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 イ長調 Op.100、ハンガリア・ダンス		

②1999年度

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・Ⅷ ローマン主義の中の古典主義

～ブラームス、チャイコフスキー～

第四夜	チャイコフスキーの音楽的・社会的背景	1999年 4月20日	113名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	日比浩一（第1ヴァイオリン）／黒江郁子（第2ヴァイオリン）／小倉幸子（ヴィオラ）／日野俊介（チェロ）／右近恭子（ピアノ）		
曲 目	チャイコフスキー：弦楽四重奏曲 第1番 ニ長調 Op.11、ピアノ三重奏曲 イ短調 Op.50「偉大な芸術家の思い出に」		
第五夜	チャイコフスキーの音楽における和声構造とその展開	1999年 6月18日	111名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	寺尾 正（バリトン／大阪教育大学助教授）／藤井智文（ピアノ）／内尾恵美（ピアノ）		
曲 目	チャイコフスキー：「騒がしい舞踏会の中で…」「ドン・ファンのセレナード」「窓を開けたら」ほか		
第六夜	チャイコフスキー音楽のローマン的效果	1999年 8月19日	124名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	伊藤真理子（第1ヴァイオリン）／渡部真美（第2ヴァイオリン）／尾崎幸子（第1ヴィオラ）／永井利佳（第2ヴィオラ）／上田康雄（第1チェロ）／安野英之（第2チェロ）		
曲 目	チャイコフスキー：弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」 ニ短調 Op.70		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・Ⅸ 近代から現代へのフランス音楽の輝き

第一夜	ドビュッシーとフランス印象主義	1999年10月15日	88名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	田辺良子（ヴァイオリン）／斎藤建寛（チェロ）／田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	ドビュッシー：ヴァイオリンとピアノのソナタ、チェロとピアノのソナタ、ピアノ三重奏曲 ト長調		
第二夜	フォーレ 生粋のフランス風とワグネルリズム	1999年12月 9日	95名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	伊藤真理子（ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／安野英之（チェロ）／田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	フォーレ：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 イ長調 Op.13、ピアノ四重奏曲 第1番 ハ短調 Op.15 ほか		
第三夜	二つの大戦の間の創造と円熟ルーセルとフロラン・シュミット	2000年 2月18日	80名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）		
演 奏	早瀬文子（フルート）／高野ちか子（ヴァイオリン）／尾崎幸子（ヴィオラ）／安野英之（チェロ）／内田奈織（ハープ）／吉信 博（クラリネット）		
曲 目	ルーセル：セレナード Op.30／フロラン・シュミット：三重奏のソナティナ Op.85、ロカイユ趣味の組曲 Op.84		

b. 祇園祭の宵山に箏曲を聴く夕べ

＊祇園祭協賛事業として開催し、別館を午後6時から7時30分まで無料公開した。

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ店舗博和会

協 賛：(株)千總・(株)川島織物

会 場：京都文化博物館別館ホール

演奏者：生田流宮城会麗調会社中

(代表者 浅野愛子)

① 1998年度

6-3 博物館実習

① 1998年度

＊第1組

実施期間：1998年7月21日～24日

実習生：京都府立大学6名・立命館大学5名

＊第2組

実施期間：1998年8月25日～28日

実習生：京都外国語大学5名・京都造形芸術大学3名

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学―石沢・鈴木・山下
- ・美術資料について 一大西・長舟・野口
- ・工芸資料について 一古郷
- ・民俗資料について 一石沢・大塚
- ・文書資料について 一大塚
- ・考古資料について 一植山・山下
- ・映像資料について 一森脇
- ・まとめと反省会 一全担当学芸員

② 1999年度

◇第9回

日 時：1998年7月15日、16日

演 目：六段の調べ、唐砧、新娘道成寺、なつかしいメロディー ほか

入場者：538人

② 1999年度

◇第10回

日 時：1999年7月15日、16日

演 目：六段の調べ、千鳥の曲、虫の武蔵野、編曲 松竹梅、もののけ姫、だんご三兄弟 ほか

入場者：733人

＊第1組

実施期間：1999年7月27日～30日

実習生：京都府立大学3人、立命館大学4人、池坊短期大学2人

＊第2組

実施期間：1999年8月24日～27日

実習生：京都外国語大学1人、京都造形芸術大学4人、沖縄県立芸術大学1人、滋賀県立大学1人

実習内容・担当者：

- ・博物館の概要・館内見学―石沢・鈴木・野口
- ・美術資料について 一大西・長舟・野口
- ・工芸資料について 一古郷・洲鎌
- ・民俗資料について 一石沢・大塚
- ・文書資料について 一土橋
- ・考古資料について 一南・定森
- ・映像資料について 一森脇
- ・まとめと反省会 一全担当学芸員

6-4 その他の活動

(1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約5万冊、逐次刊行物約1万タイトル（4万冊）を収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約17,000冊、展覧会図録が約6,500冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対してだけ公開している。なお、書籍の受け入れ数は、1998年度が4,628件、1999年度が5,136件で

あった。

(2) 文化情報コーナー

文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにしている。また、京都の見どころなどを検索できる「京のオススメ」と、近畿の歴史文化についてのCDによる動画情報の「歴史街道―ロマンへの扉」を設置し、来館者に情報を提供している。

(3) 生涯学習ボランティア

京都府長寿社会政策室の呼びかけに応じて発足させた生涯学習ボランティアは、常設展示の英語によるガイドとして、外国人の入館者に対するサービスを行ってきた。ボランティア・グループは「MOKの会」を結成して、総会・例会・研修会など独自の活動を実施している。

① 1998年度の活動（会員数40名）

- 4月18日 1998年度総会
- 6月13日 6月例会
- 9月12日 9月例会
- 11月7日 見学研修会（角屋もてなしの文化美術館、千本釈迦堂、広隆寺）
- 1月9日 1月例会
- 3月13日 3月例会
- 1999年度役員選出（1班ー二宮朋子、2班ー安原貞子、3班ー今井嘉夫）

② 1999年度の活動（会員数35名）

- 4月10日 1999年度総会
- 6月12日 6月例会
- 9月4・5日 SKYふれあいフェスティバル'99に参加（パネルによる活動の参加）
- 9月11日 9月例会
- 10月23日 見学研修会（二条陣屋、西陣織物会館、茶道資料館、京都市考古資料館）
- 1月22日 1月例会（引きつづき、京都府立植物園ボランティア「なからぎの会」との交流会開催）
- 3月11日 3月例会
- 2000年度役員選出（1班ー田村洋子、2班ー大槻久美子、3班ー志賀 博）



1999年10月 英語で常設展示のガイドをする
ボランティア「MOKの会」メンバー
（2階展示室）

(4) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術・工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的として、1990年4月に発足した。

◇会員の特典

- ・会員証で常設展（映画鑑賞を含む）・特別展の無料での観覧
- ・会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・博物館発行出版物の割引

◇会費

- 一般会員（個人）年会費 6,000円
- グループ会員（2名以上）年会費 5,000円（1人）

① 1998年度

会員総数 938名（一般661名、グループ277名）
見学会

見学日：1998年5月25日

見学先：冷泉家住宅修理現場

説明者：塚原十三雄京都府文化財保護課専門員
熊本達哉京都府文化財保護課技師

参加者：57名

② 1999年度

会員総数 1,019名（一般674名、グループ345名）
見学会

見学日：1999年5月25日

見学先：清水寺経堂修理現場

説明者：白石悦二京都府文化財保護課専門員
参加者：51名



1998年5月 京都文化博物館友の会見学会
（冷泉家住宅修理現場）

7. 国際交流

7-1 陝西歴史博物館友好交流事業

1991年6月に中国陝西省西安市に開館した陝西歴史博物館と当館とは、1994年の「大唐長安展」開催を契機に、同年12月に友好提携の調印を行い、①学術研究の成果の交流、②文物の保護技術の交流、③人材の育成・交流、を通じて両館の友好関係を確立し、推進することとした。その結果、人的な交流については、1年おきにそれぞれの職員2名を2週間派遣することになり、1995年に当館の職員を陝西省に派遣することから両館の交流の第一歩を踏み出した。

① 1998年度

第4回友好交流事業として、1998年11月5日から18日までの2週間、陝西歴史博物館職員の2回目の招聘を行った。今回同館から派遣された職員は、何賢昌氏（基建弁公室主任、建築技師）と李爽氏（図書資料室館員、司書）の2名で、何氏は博物館の建築物の管理・修繕等について、また李氏は博物館・美術館における図書資料室のあり方等についての研修を目的とする来日であった。

両氏は、当館ならびに京都府文化芸術室と京都文化財団関連施設（京都府立文化芸術会館、京都府立府民ホール、京都府立堂本印象美術館）を表敬訪問した後、京都府及び近隣府県の博物館・美術館施設等（京都府

立総合資料館、京都国立近代美術館、京都国立博物館、兵庫県立歴史博物館、神戸市立博物館、奈良国立博物館など）を視察した。

また京都市内では、文化財修復現場（清水寺経堂）や埋蔵文化財の発掘現場（京都御苑内迎賓館用地）を視察するとともに、秋たけなわの京都の社寺や史跡も訪れた。京都滞在の最終日には、当館職員との懇談会を開いて、博物館の管理運営や学術成果などについて相互の意見や情報の交換を行った。

その後両氏は、東京で東京都江戸東京博物館や東京国立博物館などを視察して、11月18日に帰国の途についた。短い期間ではあったものの、両館の友好交流をさらに推進し、大きな成果をあげることであった2週間であった。

② 1999年度

1995年度から始まった当館と陝西歴史博物館との友好交流事業は、京都府からの補助事業という形で進められてきたが、長引く経済不況の下で、京都府も財政再建に取り組むこととなった。

そのため、第5回友好交流事業として予定されていた当館職員の3回目の陝西省派遣は、やむなく中止することになった。

7-2 その他の交流事業

国際協力事業団では、主として開発途上国を対象に、文化財の保存と整備の推進に貢献することを目的として、1992年度から「文化財修復整備技術コース」を

設けて、京都の関連諸機関の協力を得て、研修を実施してきた。当館では、1993年度から「展示技術」に関する研修を受け入れてきた。

年度	研修 月日	研 修 内 容		研 修 員	
		研 修 名	担 当 者	人数	国 名
1998年度	4月6日	京都文化博物館の概要・館内見学	鈴木忠司学芸第二課主幹	7	カンボディア・中国・ミャンマー・パキスタン・スリランカ・タイ・ベリーズ
	4月7日	博物館における模型の活用について 考古学資料の展示への利用について 「旧日本銀行京都支店」の保存と利用について	片岡 肇学芸第二課長 南 博史学芸第二課学芸員 東條 壽前副館長		
1999年度	4月5日	京都文化博物館の概要・館内見学	鈴木忠司学芸第二課主幹	9	ブータン・カンボディア・ミャンマー・パキスタン・タイ・パレスティナ・トルコ・ブルガリア・スロヴァキア
	4月6日	京都文化博物館 常設展示・特別展示の展示技術 美術展示の照明方法―照明器具と光源の特性 「旧日本銀行京都支店」の保存と利用について	南 博史学芸第二課学芸員 長舟洋司学芸第一課学芸員 片岡 肇学芸第二課長		

8. ギャラリー事業

8-1 5・6階展示室

(1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は、学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から

理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は、学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家等の作品について審議している。1998年度及び1999年度の委員会は以下のとおり開催した。

年度	委員会開催日	審議対象期間	件数	年度	委員会開催日	審議対象期間	件数
1998年度	1998年6月18日	1998年12月～1999年3月	16	1999年度	1999年6月17日	1999年12月～2000年3月	19
	10月29日	1999年4月～1999年7月	18		10月28日	2000年4月～2000年7月	19
	1999年2月18日	1999年8月～1999年11月	19		2000年2月24日	2000年8月～2000年11月	18

(2) 美術・工芸作家の利用

京都府工芸美術陳列所（京都府ギャラリー）の機能を引き継いで、当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を毎月21日から月末の前日までと定め、原則として府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内

容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。利用件数は、1998年度が50件、1999年度が53件であった。なお、1999年7月にピクチャーレールを設置したことにより、6階展示室においても美術・工芸作家の利用が可能となった。

①作家利用一覧

・1998年度

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
1998. 4.22～26	日本画光玄展	日本画	1998.10.22～25	書の会「躍」展	書
22～26	中村光江能面展	諸工芸	22～25	白土会洋画作品展	洋 画
22～26	第21回新日美京都巡回展	美術総合	22～25	絵更紗画林展	染 織
5.21～25	京都書作家協会会員展	書	22～26	面法会能面展	諸工芸
27～31	佐藤壽郎写真展	写 真	27～30	萌葱会染色作品展	染 織
27～31	筍々会展	日本画	27～30	井上希美枝手描染作品展	染 織
27～31	加藤輝雄作陶展	陶 芸	27～30	京焼・清水焼伝統工芸士作陶展	陶 芸
27～31	新美 '98会員展	美術総合	11.19～23	京の名工展	工芸総合
6.19～23	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	19～29	松野真理個展	洋 画
25～29	藤波晃作品展	洋 画	25～29	創工会展	工芸総合
25～29	なな・なな展	洋 画	12.23～27	蒼龍展	書
25～29	日本画四人展	日本画	23～27	帆の会展	洋 画
25～29	明是栄蔵作品展	洋 画	1999. 1.21～28	京都美術文化賞受賞記念展	総 合
7.17～21	成安造形短期大学専攻科展	総 合	30～31	第3回水明選抜書展	書
23～27	高台寺円徳院襖絵展	日本画	2.19～21	京都橘女子大学国文科書道コース卒業制作展	書
8.20～24	示現会京都作家展	洋 画	23～26	成安造形短期大学服飾文化学科卒業作品展	工芸総合
20～24	六轡会篆刻作品展	書	28～3.3	あまがつ人形展	諸工芸
20～24	ファインド アイ展	写 真	28～3.3	99新象関西春季展	洋 画
26～30	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	28～3.3	京都現代書芸展	書
26～30	台湾五榕画会水墨画展	日本画	3.18～21	土岐妍子書作展	書
9.23～27	北沢一念展	諸工芸	19～21	小校会織物展	染 織
23～27	橋本健次写真展	写 真	24～28	染織作家グループ「異風」展	染 織
23～27	黒川豊子染織展	染 織	24～28	面風会展	諸工芸
23～27	京都ユネスコ協会美術工芸展	美術総合	24～28	汎具象会友と受賞作家展	洋 画
10.22～25	平安書道会聚英展	書	24～28	辻本洋太郎スケッチ展	洋 画

計 50件（104日間） 46,632人

・1999年度

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
1999. 4.22～25	日本画光玄展	日本画	1999.10.21～28	森伸子水彩画小品展	洋 画
22～25	面匡会京都能面展	諸工芸	21～25	北沢一念展－能面と作陶－	諸工芸
22～25	第22回新日美京都巡回展	美術総合	21～25	湯浅三郎展－墨彩画・和紙コラージュ－	日本画
27～30	日本画四人展	日本画	21～25	駒池慶祥・弟子真祥展	日本画
27～30	大塚亮治の能面展	諸工芸	21～25	一澤宗弘作品展	写 真
27～30	四月の会展	書	27～30	平安書道会聚英展	書
5.20～24	京都書作家協会会員展	書	27～30	萌葱会染色作品展	染 織
26～30	岩崎狂雲能面・狂言面展	諸工芸	27～30	書の会「躍」展	書
26～30	筍々会展	日本画	28～30	絵更紗画林展	染 織
26～30	種々展	日本画	11.18～22	創工会展	工芸総合
26～30	創作人形三人展	諸工芸	25～29	京の名工展	工芸総合
6. 23～27	宋繁樹・福本繁樹染織二人展	染 織	12.22～26	帆の会展	洋 画
23～27	安田虚心喜寿作品展	日本画	22～26	蒼龍展	書
7.7～13	JAPAN STYLE 帰国展	染 織	22～26	白土会洋画作品展	洋 画
15～19	成安造形短期大学専攻科展	美術総合	2000. 1.20～27	京都美術文化賞受賞記念展	総 合
22～26	京都日本画家協会新鋭選抜展	日本画	29～30	第4回水明選抜書展	書
28～8.1	出原修子重ね絞り染展	染 織	2.17～20	成安造形短期大学服飾文化学科卒業作品展	工芸総合
28～8.1	渡辺やすゑ作品展	洋 画	22～24	京都橘女子大学国文科書道コース卒業制作展	書
28～8.1	新美 '99 会員展	総 合	26～3.1	あまがつ会人形展	諸工芸
8.21～24	絵更紗美術協会会員作品展	染 織	26～3.1	なな・なな展Ⅳ	洋 画
26～30	示現会京都作家展	洋 画	26～29	京都現代書芸展	書
26～30	欄の会能面展	諸工芸	3.22～26	散任天	総 合
26～30	ファインド アイ展	写 真	22～26	汎具象会友と受賞作家展	洋 画
9.22～23	橘書道会自詠歌書展	書	22～26	出口育子作品展－源－origin	洋 画
25～29	光勲能面会展	諸工芸	24～26	辛酉会書展	書
25～29	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	28～31	京都教育大学創立50周年記念美術展	総 合
25～28	京都ユネスコ協会美術工芸展	総 合			
計53件 (116日間) 47,781人					

②作家利用分野別入場者状況

・1998年度

	美 術						工 芸				美 術	総 計
	日本画	洋 画	書	写 真	その他	美術総合	染 織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸総合	工 芸 総 合	
使用件数	6	10	9	3	0	2	7	2	5	3	3	50
割合 (%)	12	20	18	6	0	4	14	4	10	6	6	100
日 数	30	53	36	15	0	10	29	9	24	15	18	—
人 数	7,163	7,411	7,891	3,349	0	1,901	3,651	1,584	4,600	5,588	3,494	46,632

・1999年度

	美 術						工 芸				美 術	総 計
	日本画	洋 画	書	写 真	その他	美術総合	染 織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸総合	工 芸 総 合	
用 件 数	8	8	10	2	0	2	6	0	8	4	5	53
割合 (%)	15	15	19	4	0	4	11	0	15	8	9	100
日 数	38	42	36	10	0	9	29	0	38	19	26	—
人 数	8,169	5,034	7,262	1,910	0	1,966	3,874	0	8,621	6,925	4,020	47,781

(3) 生涯学習的発表の利用

1998年度より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承

者の指導するグループの発表の場として設けたものである。

①生涯学習的発表の利用一覧

・1998年度

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
5 階	1998. 4.16～ 4.20	木馬館日本画展	日本画	1,058
	4.16～ 4.20	ふしぎな押花作品展	諸工芸	1,226
	4.16～ 4.20	彩素会絵更紗展	染 色	1,354
	6.10～ 6.16	松尾弘子写真展	写 真	1,229
	7. 3～ 7. 7	第7回アメリカン・ニードルクラフト パッチワークキルト作品展	諸工芸	1,649
	7. 8～ 7.15	第16回上野の森美術館大賞展関西展	洋 画	1,475
	9.16～ 9.20	小出哲夫水彩画遺作展	洋 画	1,740
	9.16～ 9.20	第12回ボビンレース展	諸工芸	879
	9.16～ 9.20	C.F.K. 木彫りの鳥作品展	彫 刻	1,189
	10. 9～10.14	第7回光熱能面會展	諸工芸	917
	10. 9～10.14	山下幸雄個展	日本画	571
	10.10～10.13	第8回虹の会絵画展	日本画	567
	10.15～10.19	第8回都々良会作品展	美術総合	728
	11. 6～11.10	キルトハウスあんだんて 第5回パッチワークキルト作品展	諸工芸	3,461
	12.16～12.20	布花とシャドーボックス展	諸工芸	983
計15件 使用日数：81日				19,026人
6 階	1998. 4.17～ 4.19	第21回日本染織作家展	染 織	1,008
	7.11～ 7.12	綱吉を聴く会 [浄瑠璃弾き語り]	その他	135
	7.31～ 8. 3	(財)片山家能楽保存財団所蔵 第二回能装束・能面展	工芸総合	1,481
	1999. 2. 3～ 2.11	ITF併催展 [国際テキスタイルフェア展]	染 織	803
	3. 4～ 3. 7	'99都の花	華 道	1,080
	3.17～ 3.22	「現代の名工」山口安次郎能装束展	染 織	2,543
計6件 使用日数：28日				7,050人

・1999年度

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
5 階	1999. 5. 6～ 5.10	ふしぎな押花作品展	諸工芸	1,282
	5. 6～ 5.13	三代宮永東山襲名記念 東山三代展	陶 芸	1,858
	6.14～ 6.20	第17回上野の森美術館大賞展関西展	洋 画	1,522
	(6.16 休館)			
	10. 7～10.11	京都とっておきの芸術祭	美術総合	1,450
	10.31～11. 4	1999北欧の刺繍展	諸工芸	1,491
	10.31～11. 4	第2回菩提樹の会写真展	写 真	810
	10.31～11. 4	荒木武 吉祥文様展	染 色	710
	11. 1～11. 4	彩素会絵更紗展	染 色	928
	12. 6～12.14	于右任書展	書	702
計9件 使用日数：52日				10,753人
6 階	1999. 4.15～ 4.20	玉村咏展	染 色	804
	4.23～ 4.25	第22回日本染織作家展	染 織	1,159
	4.29～ 5. 3	黄八丈二人展	染 織	645
	5. 8～ 5.10	遠州春のいけばな展	華 道	800
	7.31～ 8. 3	(財)片山家能楽保存財団所蔵 第三回能装束・能面展	工芸総合	1,511
	10. 7～10.11	第二回山崎準造几帳芸術展	染 織	835
	11.20～11.24	傳益瑤「水墨和情」展	日本画	1,368
計7件 使用日数：31日				7,122人

②生涯学習の発表の利用分野別入場者状況

・1998年度

		和 装 呉 服	美 術							工 芸					美 術 工 芸 総 合	総 計
			日本画	洋 画	書	写 真	その他	美 術 総 合	小 計	染 織	陶芸・金 竹・ 漆	諸工芸	工 芸 総 合	小 計		
5 階	件数	-	3	2	-	1	1	1	8	1	-	6	-	7	-	15
	日数	-	15	13	-	7	5	5	45	5	-	31	-	36	-	81
	人数	-	2,196	3,215	-	1,229	1,189	728	8,557	1,354	-	9,115	-	10,469	-	19,026
6 階	件数	-	-	-	-	-	2	-	2	3	-	-	1	4	-	6
	日数	-	-	-	-	-	6	-	6	18	-	-	4	22	-	28
	人数	-	-	-	-	-	1,215	-	1,215	4,354	-	-	1,481	5,835	-	7,050

・1999年度

		和 装 呉 服	美 術							工 芸					美 術 工 芸 総 合	総 計
			日本画	洋 画	書	写 真	その他	美 術 総 合	小 計	染 織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工 芸 総 合	小 計		
5 階	件数	-	-	1	1	1	-	1	4	2	1	2	-	5	-	9
	日数	-	-	6	9	5	-	5	25	9	8	10	-	27	-	52
	人数	-	-	1,522	702	810	-	4,484	2,962	1,638	1,858	2,773	-	6,269	-	10,753
6 階	件数	-	1	-	-	-	1	-	2	4	-	-	1	5	-	7
	日数	-	5	-	-	-	3	-	8	19	-	-	4	23	-	31
	人数	-	1,368	-	-	-	800	-	2,168	3,443	-	-	1,511	4,954	-	7,122

(4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会等の他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介

することを目的とした展示会、内見会、見本市等の会場としても利用されている。

①分野別利用状況

・1998年度

		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5 階	件数	7	1	14	4	2	28
	日数	20	5	47	17	16	105
6 階	件数	26	0	0	0	2	28
	日数	70	0	0	0	2	72

・1999年度

		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5 階	件数	6	0	12	1	2	21
	日数	18	0	45	5	12	80
6 階	件数	18	0	0	0	2	20
	日数	54	0	0	0	4	58

8-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館のホールは、通常は常設展示の一環として公開しており、明治時代の代表的な洋風近代建築の内部が鑑賞できるが、一方で多目的ホールとしての機能も

持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使うとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

①利用状況

・1998年度

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
1998. 7.13	イタリア音楽を聴く夕べ	9.13	加藤ますえカンツォーネコンサート
8. 1	葉月の歌コンサート	9.19～20	スパークフラワーアカデミーフラワーアレンジメント展
8.22	京都シティーフィル ヨハネ受難曲セミナー	10. 1	五竜太鼓 京都コンサート
9. 6	京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会		

10. 4	ハーブをあなたに イリスハーブコンサート	12.1～11	ユネスコ世界遺産写真展
10.23	茶木みやこ・永井龍雲アコースティックコンサート	12.13	あいのまちはうすオーケストラ演奏会
10.24	茶木みやこ・青山浩志アコースティックコンサート	12.20	京都室内合奏団クリスマスコンサート
10.25	茶木みやこ・クニ河内アコースティックコンサート	12.23	LA萌DIEクリスマスコンサート
11.15	京都放送劇団ラジオシアター	1999. 2.25	如月 春待ちわびて 歌曲コンサート
11.22	NHK大阪放送局BS2ケラー弦楽四重奏団演奏会	3.18～21	京都建築学生之会卒業設計展
11.23	湯川美杉ピアノリサイタル		
入場者数 計 6,423人			

・1999年度

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
1999. 4. 4	ライアーコンサート	11. 5～ 7	アトリエTim 刺された薔薇展
5. 5	あいのまちはうす子どもの日コンサート	11.13～14	アトリエM ステンドグラス展
7.11	京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会	11.21	ヴォーカルアンサンブル アウローラムジカレ演奏会
8.21	京都シティーフィル セミナー	11.27	あんさんぶるやしよめ演奏会
8.29	アストロリコ タンゴコンサート	11.30～12.1	マルセ太郎 スクリーンのない映画館
9. 4	蚕玉と木霊のコンチェルト ファッションショー	12.12	同志社混声合唱団シャンテクリスマスコンサート
9.12	ジョイントコンサート	12.19	京都室内合奏団クリスマスコンサート
9.13	加藤ますえカンツォーネコンサート	12.23	LA萌DIEクリスマスコンサート
9.27～30	京都橘女子大学歴史文化講座 都の成立 第1部	12.26	あいのまちはうす冬のコンサート
10.12	バイオリンとピアノの夕	2000. 2.14	京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会
10.17	京都フィルハーモニー室内合奏団 定期演奏会	2.26～27	フローリストショッププーゼ フラワーアレンジメント作品展
10.18～22	京都橘女子大学歴史文化講座 都の成立 第2部	3.5	多川響子ピアノリサイタル
10.24	京都C・モンテベルディ合唱団 演奏会		
10.30～31	西陣の町を考える会 千本中立売文化祭		
入場者数 計 8,321人			



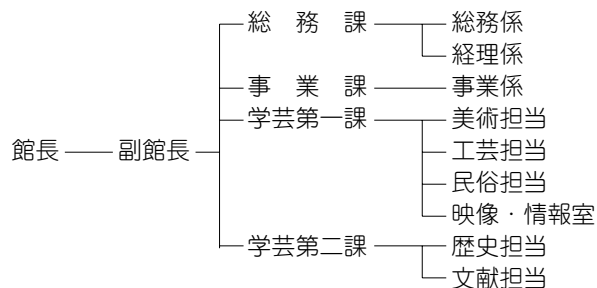
1999年8月 (財)片山家能楽保存会所蔵 第3回能装束・能面展
(6階展示室)



1998年10月 五竜太鼓 京都コンサート
(別館ホール)

9-1 組織と職員

- 京都府京都文化博物館
- 京都府立文化芸術会館
- 京都府立府民ホール
- 京都府立堂本印象美術館
- 文化財保護基金室（1999年度から）



(2) 京都文化財団役員

註 ①1998年4月1日就任 ②1998年7月2日退任 ③1998年7月2日就任 ④1999年3月31日退任
⑤1999年4月1日就任 ⑥1999年7月5日退任 ⑦1999年7月5日就任 ⑧2000年3月31日退任

①1998年度

—55—

	主事 主事 主事 嘱託 嘱託	磯野真知子 森 雅樹 海老名和孝 門脇 郁男 苅谷 恭平	事業係 事業係 事業係 事業係 友の会・別館	非常勤 非常勤
学芸第一課	課長・主任学芸員 映像・情報室長 主任学芸員 主査・学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 嘱託 嘱託	石沢 誠司 井上 寧 古郷 彰治 大西 基子 大塚 活美 長舟 洋司 洲鎌佐智子 森脇 清隆 野口 剛 溝口 勝美 有田 幸男	課総括 映像・情報担当 工芸担当 美術担当 民俗担当 美術担当 工芸担当 映像・情報担当 美術担当 映像担当 映像担当	1998.6～ 学芸第二課兼務／1998.6～ 非常勤／1998.4～ 非常勤
学芸第二課	課長・主任学芸員 主幹・主任学芸員 課長補佐・主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員	片岡 肇 鈴木 忠司 藤本 孝一 植山 茂 山下 秀樹 定森 秀夫 南 博史 土橋 誠 山田 邦和	課総括 歴史担当 歴史・文献担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史・文献担当 歴史担当	～1998.5 1998.6～ ～1999.3

②1999年度

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長 副館長	岡本 道雄 高見 静治	館総括 館業務総括	財団理事長兼務 財団常務理事・事務局長兼務
総務課	課長 参事・総務係長事務取扱 課長補佐兼経理係長 主任 主事 嘱託 参事 室長	古田五十春 金田 暁 生島 宏次 森木 礼子 佐藤 幸央 中越 活朗 新井 協一 伊藤 顯	課総括 総務係 経理係 経理係 総務係 総務係 総務課兼務 総務課兼務	1999.4～／財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 1999.4～／財団本部事務局文化財保護基金室 1999.4～／財団本部事務局文化財保護基金室
事業課	課長 主幹・事業係長事務取扱 主事 主事 主事 嘱託 嘱託	新井田郁雄 藤岡研二郎 磯野真知子 森 雅樹 海老名和孝 門脇 郁男 苅谷 恭平	課総括 事業係 事業係 事業係 事業係 事業係 友の会・別館	非常勤 非常勤
学芸第一課	課長・主任学芸員 映像・情報室長 主任学芸員 主査・学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 嘱託	石沢 誠司 井上 寧 古郷 彰治 大西 基子 大塚 活美 長舟 洋司 洲鎌佐智子 森脇 清隆 野口 剛 溝口 勝美	課総括 映像・情報担当 工芸担当 美術担当 民俗担当 美術担当 工芸担当 映像・情報担当 美術担当 映像担当	～2000.3 ～2000.3 学芸第二課兼務 非常勤

	嘱託	有田 幸男	映像担当	非常勤
学芸第二課	課長・主任学芸員 主幹・主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 学芸員 学芸員	片岡 肇 鈴木 忠司 植山 茂 山下 秀樹 定森 秀夫 南 博史 土橋 誠	課総括 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史担当 歴史・文献担当	

(4) 職員表彰等

① 1998年度

- ・ 京都文化財団永年勤続表彰
藤本孝一学芸第二課課長補佐（5月29日表彰）
和田央子総務課嘱託（9月30日表彰）
- ・ 京都市内博物館施設連絡協議会永年勤続表彰
新井田郁雄事業課長・金田 暁総務課参事
（6月23日表彰）

② 1999年度

- ・ 京都文化財団永年勤続表彰
植山 茂学芸第二課主任学芸員・南 博史同課学芸員（10月1日表彰）
- ・ 京都市内博物館施設連絡協議会永年勤続表彰
植山 茂学芸第二課主任学芸員・南 博史同課学芸員（6月29日表彰）

9-2 施設

(1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
設 計：京都府土木建築部営繕課・（財）久米設計事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35m²（別館を含む）

建築面積：2,267.99m²

延床面積：13,565.86m²

本館床面積内訳：

地階 2,242.42m²／1階 2,265.29m²

2階 1,853.39m²／3階 1,908.79m²

4階 1,442.19m²／5階 1,442.19m²

6階 1,218.28m²／7階 1,010.43m²

塔屋 182.88m²

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

(2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設 計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903（明治36）年9月

～1906（明治39）年6月

延床面積：2,261.56m²

別館構造：建築面積－819.67m²

煉瓦造、2階建一部地下1階、
スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積－187.10m²

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指 定：重要文化財

指定名称－旧日本銀行京都支店

指定年月日－1969年3月12日

指定書番号－建第1,708号



フィルム収蔵庫平面図（縮尺：1/200）

(3) 主な改修・増設工事

① 6階展示室ピクチャーレール設置工事（1999年7月）

多様な文化催事に供することができるように、6階展示室内にピクチャーレールを設置することとし、工事を実施した。

② フィルム収蔵庫の設置

京都府では、1971年度から京都にゆかりのある映画フィルムの収集を行っており、現在749作品を所蔵している。当館では開館以来、京都府からの委託を受けて、その保管・管理、研究及び公開等を行ってきたが、専用のフィルム収蔵庫を持っていないこともあって、その保管条件は必ずしも適切とは言えない状況で

あった。そこで収蔵している映画フィルムの褪色や劣化の進行を防ぐため、保管に適した温湿度の管理できる映画フィルム専用の収蔵庫を館内に設置することとし、1999年度にその工事を実施した。

設置場所：京都文化博物館地階図書資料室内

工事期間：2000年1月7日～3月24日

施工：山下組・春日設備工業

面積：約56m²（収蔵庫：50m²、前室：6m²）

構造：二重構造（耐火壁、木質系調湿繊維板）、耐火扉、移動棚

温湿度設定：収蔵庫 5℃±2℃、40%±5%

前室 15℃、50%

収蔵可能数：フィルム3,000巻（約1,000作品）

9-3 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は当館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものであり、高倉通側には京料理などの飲食店、内側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は、当館の協力会として、開館記念日をはじめとする当館の催しに合わせて、積極的に多彩な催しを開催している。

ろうじ店舗の利用者は、1998年度が167,930人、1999年度が223,627人であった。

① ろうじ店舗一覧

◇紙の店ー楽紙館

◇京しゅみー菰軒

◇京のエッセンス19舗 名店会（順不同）

薫香ー松栄堂 京の雅ー古澤仙壽堂

京麩ー半兵衛麩 京小間物ー光悦

数珠ー福永念珠堂 京栗菓匠ー若菜屋

京菓子ー鼓月 風雅便箋ー表現社

京佃煮ー野村 化粧小物ー左り馬

宇治茶ー福寿園 縮緬小物ーくろちく

京扇子ーとくの 京つけものー西利

京象嵌ー川人象嵌 京・清水焼ー朝日堂

竹の匠ー高野竹工 なま八つ橋ー井筒八ツ橋

京菓子ー甘春堂本舗（2000年1月まで）

京菓子ー七條甘春堂本舗（2000年2月より）

◇織屋直販店 ショップ西陣

（1998年4月29日開店／順不同）

風呂敷ー上羽機業 絹のれんー渡文

バッグー小森織物 マフラーー塩野屋

（1998年10月まで）

シャツーすぎむら ネクタイー段下二郎

小物入れー辻梅 綴れグッズー本つづれ勝山

テーブルクロスー瀬川工芸織物

◇もち料理ーきた村

◇手打そば・蕎麦料理ー有喜屋

◇甘党茶寮ーあけぼの

◇エスプレッソコーヒーの店ーコロラド

◇珈琲サロン（別館）ー阿蘭陀館

◇ミュージアムショップ（3階）ー便利堂

② 博和会行事

・1998年度

1998年10月2日～4日 ろうじの古本市

10月4日 福引き会

10月14日 餅つき（きた村）

10月31日 紙漉き体験学習（楽紙館）

11月1日 「きもの」ー京の町散策

プレゼント（ショップ西陣）

1999年1月4日 餅つき（きた村）

・1999年度

1999年4月9日～11日 ろうじの古本市

5月7日～9日 ろうじの呉美の市

10月3日 福引き会

11月5日～7日 ろうじの呉美の市

11月21日～23日

ろうじの古本市

2000年1月4日 餅つき（きた村）

10. 1998年度のあゆみ

*事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の省略

月日	事 項	月日	事 項
4. 1	別館三条通側入口の閉鎖	10. 1	開館 10 周年記念式典、館協力者へ感謝状贈呈
4. 3	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽・その2＞第4夜 (AH)	10. 2	「京の絵師は百花繚乱」展開催 (4階・3階／～11.10)
4. 5	「京都府フィルムライブラリー新収蔵品特集」映画上映 (MH／～4.27)	／	開館 10 周年記念協賛イベントろうじ店舗博和会 「ろうじの古本市」開催 (～10.4)
4. 6	国際交流事業団文化財修復整備技術コース研修 (～4.7)	／	「江戸世話物情話の世界を描く」映画上映 (MH／～10.26)
4.16	「池大雅の人と作品」展開催 (3階／～5.19)	10. 4	ろうじ店舗博和会「福引き会」
4.17	「京の江戸時代」展開催 (4階／～5.17)	10.10	「京の絵師は百花繚乱」展講演会 (冷泉氏／MH)
4.18	「京の江戸時代」展講演会 (横田氏／AL)	10.14	ろうじ店舗きた村「お餅つき」
／	生涯学習ボランティア「MOKの会」1998年度総会	10.17	「京の絵師は百花繚乱」展講演会 (佐々木氏／MH)
4.21	修学旅行生体験学習 (友禅染／6階)	10.23	「追悼黒澤明監督特集」開催 (MH／～10.24)
4.24	「京の江戸時代」展列品解説 (大塚)	10.24	「京の絵師は百花繚乱」展シンポジウム (MH)
4.25	「京の江戸時代」展講演会 (鎌田氏／AL)	10.26	音楽会＜ローマン主義の中の古典主義＞第1夜 (AH)
4.27	「京の絵師は百花繚乱」展調査委員会・実行委員会 (AL)	10.30	「日本映画の三大巨匠生誕百年記念－伊藤大輔・溝口健 二・内田吐夢監督特集」開催 (MH／～12.21)
4.29	ろうじ店舗「ショップ西陣」開店	10.31	「京の絵師は百花繚乱」展列品解説 (野口)
／	KBSかたつむり大作戦に協力	／	ろうじ店舗染紙館「紙漉き体験学習」
5. 1	「日本映画の青春」開催 (MH／～8.29)	11. 1	ろうじ店舗ショップ西陣 「きもの一京の町散策プレゼント」開催
5. 2	「池大雅の人と作品」展ギャラリートーク (佐々木氏／3階)	11. 5	陝西歴史博物館友好交流研修員来日 (～11.18)
5. 8	「京の江戸時代」展列品解説 (山田)	11. 7	「京の絵師は百花繚乱」展列品解説 (野口)
5.10	修学旅行夜の体験学習「けまり」 (AH)	／	生涯学習ボランティア「MOKの会」見学研修会 (京都市内)
5.12	ロータリークラブ研修でフィンランドへ (鈴木／～6.22)	11.14	「京都の美術・工芸展－染めの屏風と創作人形」開催 (3階／～12.14)
5.17	インターネットのホームページの開設	11.20	「封印された南宋陶磁展」開催 (4階／～12.20)
5.21	「京都の美術・工芸展－第16回京都府文化賞受賞者展」 開催 (3階／～7.7)	11.21	「封印された南宋陶磁展」講演会 (出川氏／AH)
5.25	博物館友の会見学会 (冷泉家住宅修理現場)	11.27	「UK98 イギリス映画特集」映画上映 (MH／～11.29)
5.28	「秀吉と京都－豊国神社社宝展」開催 (4階／～6.28)	11.28	「封印された南宋陶磁展」講演会 (弓場氏／AH)
5.29	京都文化財団職員表彰 (永年勤続－藤本)	12.10	学芸合同会議
5.31	修学旅行生体験学習「京舞鑑賞」開始 (6階)	12.14	西円町遺跡埋蔵文化財発掘調査 (～1999.2.10)
6. 1	人事異動	／	音楽会＜ローマン主義の中の古典主義＞第2夜 (AH)
6.13	生涯学習ボランティア「MOKの会」6月例会	12.17	「'99 京都美術工芸展」選抜部門開催 (3階／～1999.2.16)
6.18	展示室運営委員会	／	「木の民具と玩具」開催 (AE／～1999.3.16)
6.22	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽・その2＞第5夜 (AH)	1999.	
6.23	京都市内博物館施設連絡協議会表彰 (永年勤続－新井田・金田)	1. 4	「'99 京都美術工芸展」公募部門開催 (4階／～1.24)
6.26	学芸合同会議	／	ろうじ店舗きた村「お餅つき」
7. 2	第26回京都文化財団役員会	1. 8	「追悼 黒澤明監督特集」開催 (MH／～3.8)
7. 8	7月の休館日を第2水曜日に変更	1. 9	生涯学習ボランティア「MOKの会」1月例会
7. 9	「京都の美術・工芸展－京都府所蔵品から」開催 (3階／～9.22)	1.14	「'99 京都美術工芸展」授賞式 (MH)
／	「第16回上野の森美術館大賞展・関西展」 (5階／～7.15)	2. 1	「第6回国際テキスタイルコンペティション'99－京 都－」展開催 (4階／～2.14)
7.10	「越前朝倉氏・一乗谷」展開催 (4階／～8.11)	2. 4	第27回京都文化財団役員会
7.12	「越前朝倉氏・一乗谷」展講演会 (脇田氏／AL)	2.18	音楽会＜ローマン主義の中の古典主義＞第3夜 (AH)
7.13	韓国文化振興財団研究費韓国調査 (定森／～7.19)	2.19	「京都の美術・工芸展－画家の家・田能村家と今尾家-」 開催 (3階／～3.25)
7.15	＜祇園祭の宵山に箏曲を聞く夕べ＞開催 (AH／～7.16)	／	「雛人形展」開催 (3階／～3.25)
7.19	「越前朝倉氏・一乗谷」展象棋大会 (AH)	2.27	「大黄河文明展」開催 (4階／～3.22)
7.21	博物館実習第1組 (～7.24)	3. 6	「大黄河文明展」講演会 (曾布川氏／AH)
7.28	ハイビジョン夏休み子供特集「忍たま乱太郎」開催 (MH／～8.6)	3.12	「所蔵稀少フィルム上映－戦前記録映画特集」映画上映 (MH／～3.29)
8.17	エルサルバドル海外学術調査協力 (南／～9.6)	3.13	「大黄河文明展」講演会 (樋口氏／AH)
8.21	「源氏おんな物語展」開催 (4階／～9.20)	／	生涯学習ボランティア「MOKの会」3月例会
／	音楽会＜近代市民社会の発展と音楽・その2＞第6夜 (AH)	3.24	第28回京都文化財団役員会
8.25	博物館実習第2組 (～8.28)	3.29	「誓願寺門前図屏風」補修完了
9. 6	「戦後映画ラブ・シーンの変遷」映画上映 (MH／～9.28)	3.31	研究紀要『朱雀』第11集刊行
9.12	生涯学習ボランティア「MOKの会」9月例会	／	『京都文化博物館 10年のあゆみ』刊行
9.30	京都文化財団職員表彰 (永年勤続－和田)		

11. 1999年度のあゆみ

*事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の省略

月日	事 項	月日	事 項
4. 1	人事異動	10. 1	京都文化財団職員表彰（永年勤続一植山・南）
4. 2	「追悼木下恵介監督特集」映面上映（MH／～5.31）	10. 2	「京都洋画のあけぼの」展講演会（島田氏／AL）
4. 3	「冷泉家の至宝展」開催（4階・3階／～5.16）	10. 3	ろうじ店舗博和会「福引き会」
4. 5	国際協力事業団文化財修復整備技術コース研修（～4.6）	〃	「宝塚出身女優特集」講演会（有馬氏／AH）
4. 9	「ろうじの古本市」開催（～4.11）	10. 9	「京都洋画のあけぼの」展講演会（長舟／AL）
4.10	「冷泉家の至宝展」講演会（冷泉貴実子氏／AH）	10.15	「英国ウェールズ・アニメーション作品特集」映面上映（MH／～10.16）
〃	生涯学習ボランティア「MOKの会」1999年度総会	〃	音楽会＜近代から現代へのフランス音楽の輝き＞第1夜（AH）
4.17	「冷泉家の至宝展」和歌披露（冷泉家／AH）	10.17	「清く、正しく、美しくー宝塚出身女優特集2ー」
4.20	音楽会＜ローマン主義の中の古典主義＞第4夜（AH）	〃	淡島千景特集映面上映（MH／～11.8）
4.24	「冷泉家の至宝展」講演会（藤本氏／AH）	〃	「宝塚出身女優特集」講演会（淡島氏／AH）
4.29	KBSかたつむり大作戦に協力	10.18	京都橘女子大学歴史文化ゼミナール（AH／～10.22）
5. 1	「冷泉家の至宝展」講演会（冷泉為人氏／AH）	10.23	生涯学習ボランティア「MOKの会」見学研修会（京都市内）
5. 7	「ろうじの呉美の市」開催（～5.9）	10.28	展示室運営委員会
5.25	エルサルバドル海外学術調査協力（南／～6.14）	10.29	「千本、西陣、五番町ー千本通界隈の賑わい」映面上映（MH／～11.1）
〃	博物館友の会見学会（清水寺経堂修理現場）	〃	「茶の湯ーにほんの心」展開催（4階・3階／～12.5）
5.29	「ポルトガルー栄光の500年展」開催（4階・3階／～6.27）	11. 3	「ろうじの呉美の市」開催（～11.7）
6. 4	「日本人の涙1ー母の涙」映面上映（MH／～6.28）	11. 5	京都府議会決算特別委員会現地調査（AL）
6.12	生涯学習ボランティア「MOKの会」6月例会	11.11	天皇陛下在位10年記念無料公開（常設展）
6.15	「第17回上野の森美術館大賞展・関西展」開催（5階／～6.20）	11.12	「追悼 撮影監督宮川一夫特集」映面上映（MH／～12.25）
〃	展示室運営委員会	〃	「ろうじの古本市」開催（～11.23）
6.17	展示室運営委員会	11.21	音楽会＜近代から現代へのフランス音楽の輝き＞第2夜（AH）
6.18	音楽会＜ローマン主義の中の古典主義＞第5夜（AH）	12. 9	「2000京都美術工芸展」選抜部門開催
6.29	京都市内博物館施設連絡協議会表彰（永年勤続一植山・南）	12.11	（3階／～2000.2.15）
7. 2	夏休み特別企画「時代をうつす子供の瞳」映面上映（MH／～8.30）	12.16	「金属の民具と玩具」開催（AE／～2000.3.14）
〃	「京都の美術・工芸展ー京都府所蔵品に見る昭和の美術と工芸」開催（3階／～9.29）	12.18	「2000京都美術工芸展」公募部門開催（4階／～2000.1.16）
7. 3	「京都の美術・工芸展ー京都府所蔵品に見る昭和の美術と工芸」開催（3階／～9.29）	12.22	「2000京都美術工芸展」授賞式（MH）
7. 5	第29回京都文化財団役員会	2000.	
7. 8	「鈴木治の陶芸」展開催（4階／～8.8）	1. 4	ろうじ店舗きた村「お餅つき」
〃	全国埋蔵文化財法人協議会近畿ブロック主担者会議（AL）	1. 7	「京の匠」展示室検討委員会
7.12	消防訓練	〃	「直向不屈映画群ー明日を見つめる主人公たちー」映面上映（MH／～1.31）
7.14	歴史常設展「洛中洛外岡町田家本」写真貼り替え	〃	フィルム収蔵庫設置工事（～3.24）
7.15	＜祇園祭の宵山に箏曲を聞く夕べ＞開催（AH／～7.16）	1.22	ペルー・ボリビア調査（南／～2.9）
7.16	「没後30年 市川雷蔵追悼特集」映面上映（MH／～7.19）	〃	生涯学習ボランティア「MOKの会」1月例会
7.17	同特集講演会（山根氏／MH）	1.29	「悠久の大インカ展」開催（4階／～2.29）
7.21	6階展示室ピックアップ設置工事（～7.27）	2. 4	「日本人の涙2ー日陰に咲く花」映面上映（MH／～2.28）
7.27	博物館実習第1組（～7.30）	2.17	「悠久の大インカ展」入場者3万人突破記念セレモニー
8. 5	自治大学校国際研修生来館	〃	「京都の美術・工芸展ー京都府所蔵品から」開催（3階／～5.16）
8.15	「美の精華ー上村松園展」開催（4階／～9.15）	〃	「雛人形と市松人形展」開催（3階／～3.14）
8.19	音楽会＜ローマン主義の中の古典主義＞第6夜（AH）	2.18	音楽会＜近代から現代へのフランス音楽の輝き＞第3夜（AH）
8.24	博物館実習第2組（～8.27）	2.25	映像運営委員会
8.28	「上村松園展」講演会（上村淳之氏／AH）	3. 3	「俠気？狂気？怯気？ーアウトローの生きざま」映面上映（MH／～4.1）
9. 3	「銀幕艶美ー大映作品を彩った女優たち」映面上映（MH／～9.27）	〃	
9. 6	「朝鮮通信使展」出品交渉のため韓国出張（片岡・定森／～9.10）	3.10	「異国の風」展開催（4階／～4.9）
〃	エルサルバドル海外学術調査協力（南／～9.22）	3.11	生涯学習ボランティア「MOKの会」3月例会
9.11	生涯学習ボランティア「MOKの会」9月例会	3.16	国際協力事業団文化財修復整備技術コース研修（～3.17）
9.25	「京都洋画のあけぼの」展開催（4階／～10.24）	〃	「文人画の憧れ・池大雅」展開催（3階／～4.18）
9.27	京都橘女子大学歴史文化ゼミナール（AH／～9.30）	3.18	「異国の風」展講演会（赤井氏・山本氏／AH）
10. 1	「京都の美術・工芸展ー第17回京都府文化賞受賞者展」開催（3階／～10.24）	3.23	教育・普及プロジェクト会議
〃	「清く、正しく、美しくー宝塚出身女優特集1ー」有馬稲子特集映面上映（MH／～10.11）	3.28	第30回京都文化財団役員会
〃		3.31	研究紀要『朱雀』第12集刊行
〃		〃	『調査研究報告』第14集刊行

京都文化博物館 1998・1999 年度年報

発行日 2001年3月31日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL 075-222-0888
FAX 075-222-0889
印刷 (株)吉川印刷工業所